

令和7年度視覚障害者、聴覚障害者、肢体不自由者又は病弱者である生徒に対する教育を行う特別支援学校の中学部において使用する中学校用教科用図書

選 定 資 料

令和6年6月

広島県教育委員会

はじめに

広島県教育委員会は、視覚障害者、聴覚障害者、肢体不自由者又は病弱者である生徒に対する教育を行う特別支援学校の中学部において使用する中学校用教科用図書を選定資料について、広島県教科用図書選定審議会に対して諮問し、このたび答申が提出されました。

この答申に基づき選定資料を作成しましたので、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第10条の規定により送付します。

各県立特別支援学校においては、この資料を参考とし、教科用図書の調査研究を十分に行い、適正かつ公正な選定を行ってください。

令和6年6月

広島県教育委員会

目 次

選定資料について	1
調査研究上の観点等	2
調査研究種目一覧	3
国語	4
書写	10
社会（地理的分野）	20
社会（歴史的分野）	30
社会（公民的分野）	40
地図	53
数学	61
理科	68
音楽（一般）	76
音楽（器楽合奏）	82
美術	87
保健体育	98
技術・家庭（技術分野）	106
技術・家庭（家庭分野）	111
英語	120
道徳	128

選定資料について

この資料は、「中学校用教科書目録（令和7年度使用）」に登載された教科用図書について、種目別に、2ページに示す観点に基づいて調査研究を行い、特徴を一覧表にしたものである。

なお、記載の順序は、教科書目録に登載されている発行者順とし、発行者名は次のとおり略称で表した。

番号	略称	発行者	番号	略称	発行者
2	東書	東京書籍株式会社	61	啓林館	株式会社新興出版社啓林館
4	大日本	大日本図書株式会社	81	山川	株式会社山川出版社
6	教図	教育図書株式会社	104	数研	数研出版株式会社
9	開隆堂	開隆堂出版株式会社	116	日文	日本文教出版株式会社
11	学図	学校図書株式会社	224	学研	株式会社Gakken
15	三省堂	株式会社三省堂	225	自由社	株式会社自由社
17	教出	教育出版株式会社	227	育鵬社	株式会社育鵬社
27	教芸	株式会社教育芸術社	229	学び舎	株式会社学び舎
38	光村	光村図書出版株式会社	232	あか図	あかつき教育図書株式会社
46	帝国	株式会社帝国書院	233	日科	日本教科書株式会社
50	大修館	株式会社大修館書店	236	令書	令和書籍株式会社

調査研究上の観点等

障害種別		視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	病弱
生徒の美態		<ul style="list-style-type: none"> ・視力、視野、まぶしさ等、視機能に障害があるため、細部を捉えたり、図などの全体像を捉えたりすることに困難がある。 ・大型の視覚教材の認知、器具・道具等の使用や観察、採集、実験、計測・計量等の学習が困難であるため、学習環境の整備、視覚情報の聴覚情報化、教材・教具の工夫、視覚補助具等の指導等の配慮・工夫が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障害のため、聴覚を通じた情報の獲得やコミュニケーションの成立に困難がある。 ・音声情報の不足のため、言語習得や言語概念の形成等に困難があり、言語の指導に配慮・工夫が必要である。 ・学習において、視覚情報による情報補完が有効である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・上肢、下肢又は体幹の運動・動作の障害のため、起立、歩行、書写、食事、衣服の着脱等、日常生活の運動・動作に困難がある。 ・随伴する障害として、言語障害、視覚障害、聴覚障害等がみられることがある。 ・移動に困難があるため、生活経験が不足している生徒も多く、指導上の配慮・工夫が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・病気が長期にわたっており、その間継続して医療又は生活規制が必要である。 ・原因となる疾患は、心身症、神経疾患、悪性新生物、呼吸器疾患等多岐にわたっている。 ・随伴する障害として、肢体不自由、言語障害等がみられることがある。 ・入院のため、生活経験が不足している生徒も多く、指導上の配慮・工夫が必要である。
調査研究の観点	内容の取扱い等	<ul style="list-style-type: none"> ○視覚障害等の障害の理解に関する内容がある。 ○情報機器の活用等に関する内容がある。 ○触覚や聴覚等を活用した学習内容がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○聴覚障害等の障害の理解に関する内容がある。 ○情報機器の活用等に関する内容がある。 ○実験・観察等の手順及び用具の扱い方が写真やイラストとともに説明された内容がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○肢体不自由等の障害の理解に関する内容がある。 ○情報機器の活用等に関する内容がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○病弱等の障害の理解に関する内容がある。 ○情報機器の活用等に関する内容がある。 ○健康・医療・病気に関する内容がある。
	表記・表現及び使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮について ・本の大きさ ・総ページ数 ・写真・図表・グラフ・絵の掲載数 	<p style="text-align: center;">記載上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮については、各発行者が作成した編修趣意書から該当箇所を抜粋して掲載した。 ・本の大きさ、総ページ数は、令和7年度使用中学校用教科書目録に基づき掲載した。 ・写真、図表、グラフ、絵の掲載数は、ページを絞って比較を行った場合、比較箇所を明示する。 		

調 査 研 究 種 目 一 覧

障害種別 調査研究種目		視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	病弱
国語		/	○	○	○
書写		○	○	○	○
社会	地理的分野	/	○	○	○
	歴史的分野	/	○	○	○
	公民的分野	/	○	○	○
地図		○	○	○	○
数学		/	○	○	○
理科		/	○	○	○
音楽	一般	/	○	○	○
	器楽合奏	/	○	○	○
美術		○	○	○	○
保健体育		/	○	○	○
技術・家庭	技術分野	/	○	○	○
	家庭分野	/	○	○	○
英語		/	○	○	○
道徳		/	○	○	○

国語

表記・表現及び使用上の便宜（各障害種共通）

観点 略称	特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮について	判型 総ページ数	図・表等 の掲載数
2 東書	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の専門家の校閲を受け、全ての生徒にとって読みやすく使いやすい教科書となるように配慮している。 ・「読むこと」の文章では、生徒が行を数えやすいように、各行の下に数字と点を付している。 ・色覚の多様性に配慮し、カラーユニバーサルデザインの観点から、配色およびデザインについて、全ページにわたって 専門家による検証を行っている。色だけでなく模様や記号で識別できるように工夫している。 ・脚注欄などの小さな文字や色文字の振り仮名にはゴシック体を用い、読みやすさに配慮している。 ・生徒が情報を捉えやすく学習に集中できるように配慮している。文字と図版などの区別や、活動の区切りを明確にし、文字の大きさや書体、罫線や囲みの使い方、色遣いなどを工夫している。 ・本文書体に、小学校教科書で使用されている教科書体に筆遣いや字形を合わせた、特別な明朝体を使用している。 	B 5 ・ 938	151
15 三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科の冒頭に学習のねらいを提示し、学習活動の手順を丁寧に示しました。 ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材では、学習手順を上段に、学習のポイントや参考となる情報を下段に示すなど情報を整理し分かりやすく、スムーズな学習指導に資するレイアウトとなるよう工夫しました。 ・情報のまとまりを線で囲んだり太字にしたり、重要な情報を大きく示したり、図版と図版の間を空けたりすることで、分かりやすく、見やすくしています。 ・挿絵・図版を適所に配置し、学習者の学習意欲を喚起し、内容の理解を支えています。各学年の「読み方を学ぼう」や「思考の方法」では、文章での解説は簡潔に示し、分かりやすい図解を用いることで、内容を視覚的に捉えられるように工夫しました。 ・色覚の特性を考慮し、誰にでも見やすく、学びやすい配色となるよう工夫しました。 ・識別しにくい配色は避け、色だけの違いに頼らず、形の違いや、記号・番号・説明文などの補助的な手がかりを設けました。 ・色の濃淡や罫線の使い分けなどで違いが明確になるようにしました。 ・識別しやすい色を追究し、古典教材の現代語訳では、色覚の特性による見え方の差が少ない青色を用いました。 	B 5 ・ 1098	132
17 教出	<ul style="list-style-type: none"> ・文字と、イラストや図表、模様などとの空きや重なり注意到意したり、マークやデザインの使用を統一的に整理したりするなど、教材の重点に集中でき、内容が把握しやすいレイアウトを工夫しています。 ・各領域等の教材で、学習の見通しや授業過程、重点をおさえた教材化を図り、学習のユニバーサル化に対応しています。 ・学年の基本色を設定し、統一的で落ち着いた色づかいとデザインを採用しています。 ・イラストや図版は、内容が区別できるような色づかいと色彩のバランスを考え、形のうえでも区別しやすいようにしたり、色による指示を含んだ設問や色に基づく活動を避けたりして、生徒の負担感をなくす工夫をしています。 	B 5 ・ 1087	241
38 光村	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザイン・カラーユニバーサルデザインの観点から、全ての生徒が使いやすい教科書を目指しました。全ページ、専門家の校閲を受けています。 ・図表は、色に頼ることなく線の種類や濃淡、地紋でも識別できること、色覚特性によって判別しにくくなる色の組み合わせは行わないことなどを基本に作成しました。 ・本文には、教科書のために自社開発した明朝体・ゴシック体を用いています。手書き文字との差が学習上の支障にならないよう画数や点画の付き方を調整しました。 ・新出漢字欄や漢字教材では、手書き文字に近い自社開発の教科書体を用いました。 ・漢字の読み仮名や読書案内などの小さな文字は、UD書体で視認性を高めました。 ・情報のまとまりが認識しやすいように、各領域の教材名や重要な知識などはアイコン・マークを付して示す。また、グラフの中の領域を線で分けたり、図書の周りを線で囲んだりして明確に区別できるようにする。 	B 5 ・ 1028	237

※1 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮：各発行者の第1学年編修趣意書より抜粋。

※2 図・表等の掲載数：各発行者の第1学年教科書から、内容理解を補完するための図及びグラフ・表を計上。

【国語】聴覚障害

観点	○学習の流れが分かりやすく示されている。(ナンバリング、写真、イラスト)
対象・方法	単元数、学習の流れの示し方、題材の内容

	単元数	学習の流れの示し方	題材の内容
東書	○単元数…3 ・意見と根拠の聞き方 ・プレゼンテーション ・リンクマップによる話し合い	○「見通す(目標)」「学習の流れ(ナンバリング)」「振り返る」が2段で表記 ○二次元コードあり:2単元(字幕、速度変更なし)	・プラスチックごみを減らす ・地域のスポーツイベントの提案 ・救急車の有料化
三省堂	○単元数…3 ・互いの考えを尊重しながら話し合いを深める ・資料や機器を活用して効果的に発表する ・地域の魅力を振り返って	○「目標」「学習の流れ(ナンバリング、矢印で表示)」「学びを振り返る」が2段で表記 ○二次元コードあり:1単元(字幕、速度変更あり)	・おいしいチャーハンの作り方を知る ・日本の観光地 ・ふるさとの味
教出	○単元数…3 ・いろいろな立場や考えを踏まえる ・課題を設定して伝える ・相違点を明確にして聞く	○「目標」「学習活動の流れ(ナンバリング、線図)」「振り返り」が2段で表記 ○二次元コードなし	・最近のニュースの紹介 ・わが家の災害対策 ・救急車の有料化
光村	○単元数…6 ・意見を聞き、整理して検討する ・魅力的な提案をしよう ・聞き上手になろう ・話し合いの流れを整理しよう ・立場を尊重して話し合おう ・国語の学びを振り返ろう	○「目標」「学習の流れ(ナンバリング)」が3段で表記 ○導入に二次元コードあり:5単元(字幕、速度変更あり)	・図書館利用者を増やすために雑誌を置くべきか ・他の人の文章を「コピペ」したことがあるか ・今、夢中になっていること ・大掃除でどこを重点的に掃除するか ・オンライン授業を増やすべきである ・語い力は大事

【国語】聴覚障害

観点	○説明的文章の構成、展開の仕方の説明が視覚的に分かりやすく示されている。
対象・方法	対象：第1学年「読むこと」説明文の構造を学ぶ単元 方法：文章の構成の解説、説明文の提示の仕方（図、イラスト、写真等）

	文章の構成の解説の仕方	題材と視覚的な情報 (図、イラスト、写真等)
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○半頁で「段落の役割・段落どうしの関係」について文章と図を用いて提示している。 ○具体例 なし ○使用されている言葉 <ul style="list-style-type: none"> ・文章全体における段落の役割の例 (話題提示、問題提起、説明、例示、結論、主張) ・段落どうしの関係の例 (問いと答え、対比、原因と結果、意見と根拠、中心的な内容と補足、詳しい説明とまとめ) 	<p>「オオカミを見る目」 (6頁)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラスト2 ・写真1
三 省 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○見開き1頁(折込含む3頁分)の説明文を用いて、文章の基本構造を提示し、短文で解説している。 ○具体例 「ペンギンの防寒着」(文・写真) ○使用されている言葉 <ul style="list-style-type: none"> ・序論、本論、結論(色分けあり) ・問いをつかむ(問題提起) ・順序を表す言葉 ・予想される疑問 ・具体的な数字や名前 ・問いと答え 	<p>「クジラの飲み水」(5頁)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真1 ・図(グラフ)2 ※イラスト付
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○見開き1頁に文章と図を用いて提示している。 ○具体例 「七色の虹」(文) ○使用されている言葉 <ul style="list-style-type: none"> ・序論、本論、結論(色分けなし) ・話題の提示 ・疑問(問題提起) ・読者を説得するための事実(事例)や説明、根拠 ・論のまとめ ・筆者の考え方や意見、主張 ・文章の中心的な部分 ・文章の付加的な部分 	<p>「自分の脳を知っていますか」(6頁)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラスト1
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○二種類の説明文の最後に、「段落の役割」と「文章の構成」について文章と図で提示している。 ○具体例 なし ○使用されている言葉 <ul style="list-style-type: none"> ・初め、中、終わり ・序論、本論、結論(色分けあり) ・導入(話題提示・問題提起) ・具体的な説明(事例・理由・仮説→検証) ・まとめ、筆者の主張 	<p>「ダイコンは大きな根？」(3頁)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラスト1 <p>「ちょっと立ち止まって」(4頁)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラスト3

【国語】 肢体不自由・病弱

観点	○情報機器の活用等に関わる内容がある。
対象・方法	第1学年及び第3学年における、障害による学習上の困難さを軽減するような情報機器の活用例

	第1学年	第3学年
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○「食文化」のレポート <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット上で集めた情報のまとめ方を記載 ○図書館の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・本の検索機器の使用方法を二次元コードで紹介 ○矛盾 <ul style="list-style-type: none"> ・他の故事成語について二次元コードで紹介 ○ニュースの見方を考えよう <ul style="list-style-type: none"> ・ニュースの比較や編集の仕方 ○著作権と引用 <ul style="list-style-type: none"> ・著作権についてと引用の仕方について記載 	<ul style="list-style-type: none"> ○情報の信頼性の確かめ方 <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット上の書き込みの情報源や信頼性の確認に関する記述 ○「環境」の新聞 編集して伝えよう <ul style="list-style-type: none"> ・手書きのほかに、パソコンを使って新聞紙面を制作することの記述 ○読書案内 <ul style="list-style-type: none"> ・分身ロボット「OriHime」の開発者である、吉藤オリィの著作を紹介
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ○調べたことを整理してわかりやすくまとめる <ul style="list-style-type: none"> ・ウェブページ等から情報を集めて、整理する方法を紹介 ○情報を関係づける <ul style="list-style-type: none"> ・エクセル等を使ったデータやアンケートの比較の仕方を記述 ○必要な情報をわかりやすく伝える <ul style="list-style-type: none"> ・文書作成ソフトを使い、相手に伝えるために効果的な案内リーフレットの書き方を記述 ○一年間の自分とクラスを振り返って <ul style="list-style-type: none"> ・文書作成ソフトで作成したレイアウトを例に集めた情報を新聞等で発信する仕方を記述 ○著作権と引用 <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット上での著作権の注意事項やウェブページから引用するときの注意点を記載 ○手紙・はがき・メールの書き方 <ul style="list-style-type: none"> ・メール文の書き方を記載 ○五十音図とローマ字 <ul style="list-style-type: none"> ・キーボードの配列図を記載 	<ul style="list-style-type: none"> ○条件に応じて説得力のある文章を書く <ul style="list-style-type: none"> ・メモや作文の例として、タブレット型端末で作成した文章を紹介 ○状況に応じて話す力を養う <ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じて話すポイントとして、マイクなどの機器を使用することを記述 ○情報を関係づける <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットのロコミやSNS等の情報について信頼性を考えさせる活動 ○中学校生活を振り返って <ul style="list-style-type: none"> ・文集作成時に、手書きかデジタルか選択させる記述 ・出典などの情報の提示の仕方に留意させる記述 ○読書の広場 <ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードを読み取ることで、紹介書籍の一部が電子書籍として読める ○さまざまな古典 <ul style="list-style-type: none"> ・辞書やインターネットを活用して読みを深めるとい記述 ○著作権と引用 <ul style="list-style-type: none"> ・著作物の例や、著作権に関する記述 ・ウェブページから写真や文章等を引用する時の注意点を記述

<p style="text-align: center;">教 出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ベンチ <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットのホームページから引用する場合の注意点を記載 ○広告の情報を考える <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット上に掲載されている広告の効果と工夫を記載 	<ul style="list-style-type: none"> ○情報を確かめてスピーチをする <ul style="list-style-type: none"> ・最近のニュースを新聞やインターネットで調べる活動 ・調べた情報の信頼性を確かめる活動 ○メディア・リテラシーはなぜ必要か？ 森 達也 <ul style="list-style-type: none"> ・メディア・リテラシーに関する教材文 ・情報の信頼性の確かめ方について考えさせる記述 ○AI は哲学できるか <ul style="list-style-type: none"> ・人工知能の進歩や哲学的思考に関する教材文 ○客観性や信頼性のある記事を書く <ul style="list-style-type: none"> ・情報の信頼性の確かめ方や活用の仕方に関する記述 ・ウェブサイトから情報を引用する場合の留意点に関する記述 ○対話力とは何か <ul style="list-style-type: none"> ・テレビやラジオの報道や新聞記事、書籍やインターネット等により、地球環境を抱えている問題を知る活動
<p style="text-align: center;">光 村</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○話の構成を工夫しよう <ul style="list-style-type: none"> ・ICT 機器を活用して自分のスピーチの振り返り方を紹介 ○情報収集の達人になろう <ul style="list-style-type: none"> ・ウェブサイトの情報収集の仕方を紹介 ・著作権について記載 ○根拠を明確にして書こう <ul style="list-style-type: none"> ・ICT 機器を活用してレポートの作成の仕方を記載 ○1年間の学びを振り返ろう <ul style="list-style-type: none"> ・スライド等で効果的な発表の仕方を記載 	<ul style="list-style-type: none"> ○説得力のある構成を考えよう スピーチで心を動かす <ul style="list-style-type: none"> ・自分のスピーチを録画して振り返る活動を設定 ・情報の信頼性を確かめるという記述 ○論理の展開を意識して書こう <ul style="list-style-type: none"> ・課題例として、電子書籍の活用が挙げられている ○実用的な文章を読もう <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ分別に関するウェブページから情報を読み取る学習活動 ○情報整理のレッスン 情報の信頼性 <ul style="list-style-type: none"> ・(インターネットを含む) 情報の信頼性を確かめるチェックポイントの紹介

【国語】 肢体不自由・病弱

観点	☆ 上半肢の動きや身体表現、発声等を必要とする内容がある。
対象・方法	第1学年及び第3学年の「話すこと・聞くこと」の内容における、発話の仕方や伝え方、話の聞き方等に関する学習課題の事例

	第1学年	第3学年
東書	<ul style="list-style-type: none"> ☆ インタビュー <ul style="list-style-type: none"> ・ 話の大事なところのメモをとる工夫を記載 ☆ 「似ている言葉」スピーチ <ul style="list-style-type: none"> ・ はっきりした発音と声の大きさ、間のとり方を紹介 ☆ グループディスカッション <ul style="list-style-type: none"> ・ 話し合いの仕方を掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 提案や主張の聞き方 <ul style="list-style-type: none"> ・ 話し方に関する評価の記述 ☆ 条件スピーチ 場に応じて話そう <ul style="list-style-type: none"> ・ 声の大きさの工夫に関する記述
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 話題や展開にそって話し合いをつなげる <ul style="list-style-type: none"> ・ うなづく、相づちをうつ、顔を向けるなど、相手が話しやすい聞き方の記述 ☆ 構成を工夫して魅力を伝える <ul style="list-style-type: none"> ・ スピーチ時の話す速度や声の大きさ、間のとり方、身振りや表情、視線の記述 ☆ 質問の仕方 <ul style="list-style-type: none"> ・ 選択肢から答えを求める聞き方や話しを広げる問いの記述 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 合意形成に向けて話し合いを計画的に進める <ul style="list-style-type: none"> ・ うなづく、相づちをうつ、顔を向けるなど話の聞き方に関する記述 ☆ 状況に応じて話す力を養う <ul style="list-style-type: none"> ・ 声の大きさや話す速度、視線の動かし方等に関する記述
教出	<ul style="list-style-type: none"> ☆ お気に入りの一品を紹介する <ul style="list-style-type: none"> ・ 聞く側は、インタビューの仕方を工夫と記載 ☆ 構成を考えて話す <ul style="list-style-type: none"> ・ 声の大きさや速度、間の空け方などの工夫と記載 ☆ 発言を結びつけて話し合おう <ul style="list-style-type: none"> ・ 話し合いの進め方について記載 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 評価しながらスピーチを聞く <ul style="list-style-type: none"> ・ 話し方に関する評価項目の記載 ・ 評価のポイントとして、声や身振りに関する記述
光村	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 情報を聞き取り、要点を伝える <ul style="list-style-type: none"> ・ 聞き取れなかったり、分かりにくかったりしたところは質問すると記載 ☆ 話の構成を工夫しよう <ul style="list-style-type: none"> ・ 声の大きさや速さ、間の取り方などを意識して話す記載 ・ 聞き手の反応を見ながら間をとったり、視線や表情、身振りを工夫したりすると記載 ☆ 聞き上手になろう <ul style="list-style-type: none"> ・ 声の大きさや間の取り方を意識して質問と記載 ・ 相づちやうなづき、表情で反応と記載 ☆ 進め方について考えよう <ul style="list-style-type: none"> ・ うなづき、相づちをしながら聞くと記載 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 説得力のある構成を考えよう スピーチで心を動かす <ul style="list-style-type: none"> ・ 話の内容によって間の長さや声の調子を変える記述

書写

表記・表現及び使用上の便宜（各障害種共通）

観点 略称	特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮について	判型 総ページ数	図・表等 の掲載数
2 東書	<ul style="list-style-type: none"> 文章を理解しやすいように、原則として文節で改行している。 学習の流れや情報の軽重が分かりやすいレイアウトにし、イラストやキャラクターに使う色の数や分量を抑制することで、生徒の集中を妨げないよう配慮している。 左利きの生徒の学習しやすさを配慮して、原則として教材文字を上、書き込み欄を下に配置し、利き手によらず教材文字が見やすいよう工夫している。 振り仮名などの小さい文字でも読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用している。 色覚の多様性に配慮し、カラーユニバーサルデザインの観点から、配色およびデザインについて検証を行っている。 	B 5 変型 ・ 146	229
15 三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインに配慮しています。特別支援教育ならびにカラーユニバーサルデザインの専門家の指導と校閲のもと、識別しにくい配色は避け、形や記号・番号、説明文などの補助的な手がかりを設けました。また、色の濃淡や罫線の使い分けなどで違いが明確になるようにすることで、誰もが使いやすい教科書となるよう工夫しました。 	B 5 ・ 122	87
17 教出	<ul style="list-style-type: none"> 色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウトを工夫しています。 書写的な観点から見て、手書き文字と近い形で学習できるユニバーサルデザインフォントを使用しています。 基本点画の名称と書き方を確認できるページによって、基礎的な書き方を習得できます。 	A B ・ 146	256
38 光村	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育の専門家による全ページの校閲を受け、情報を精選し、大切なことがひと目で分かる、すっきりとしたレイアウトを実現しました。特別に支援が必要な生徒にとっても、混乱が生じにくく学びやすい紙面です。 カラーユニバーサルデザインの専門家による厳しい校閲を受け、文字や図表などに複数の色を用いるときは、だれもが明確に識別できる色の組み合わせになるよう配慮しました。 読みやすさを考慮して独自に開発したオリジナルの教科書体を使用しています。 単元名や目次には読みやすさと見やすさを追求したユニバーサルデザイン書体を用いました。 	B 5 変型 ・ 166	135

※1 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮：各発行者の編修趣意書より抜粋。

※2 図・表等の掲載数：各発行者の教科書から、内容理解を補完するための図及びグラフ・表を計上。

【書写】 視覚障害

観点	○触覚や聴覚等を活用した学習内容がある。
対象・方法	触覚や聴覚等を活用した学習活動を工夫できる学習課題の具体例

	具体例
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○「姿勢と筆記具の持ち方」で、書きやすい鉛筆の持ち方を「卵を握るように指と手のひらの間をあける」等の具体的な表現で示している ○「基本の点画の書き方」で、始筆、送筆、終筆の動きを「とん」「すう」「ぴたっ」等の擬音語で表現しながら書き方を確認する活動が掲載されている。 ○「読みやすく速く書くための動き」では、楷書と行書を指でたどって、動きの違いを感じる学習活動を提示している。 ○「行書の動きのパターン」として、「二」「十」「口」「人」を用いて、運筆を確認する活動が掲載されている。 ○学習に役立つ学習コンテンツとして、「基本の点画の書き方（横画）」では、「穂先を折り紙半分の向きにして」などの、運筆のポイントについて音声解説がある。毛筆の運筆動画 楷書「大志」では、点画の筆の動きや文字の大きさのバランスについての音声解説がある。
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ○「点画の種類と筆使い」では、穂先の向きについて、「左上（左払い）」「左側から上側を通り、はねの左側へ（曲がり）」など、方向を示す語句を具体的に示している。 ○学習に役立つ学習コンテンツとして、「点画の種類と筆使い（横画）」の動画では、「穂先の向きは45°」など、運筆のポイントについて音声解説がある。毛筆の運筆動画 楷書「天地」では、音声解説はない。
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○「筆使いー基本点画ー」では、「筆を一度止めて、穂先をまとめながら、右へゆっくり払う」など、筆の動かし方のポイントを示している。 ○「行書学習のはじめに」で、「楷書 立つ」「行書 歩く」「草書 走る」と書体を身体動作に例えて表現している。 ○「行書の筆使い「大」」で、手を筆先に見立てて書く活動が掲載されている。 ○「多様な表現による文字」で、橋銘や城跡資料など触って感じられる文字文化の紹介がある。 ○学習に役立つコンテンツとして、「筆使いー基本点画ー」の動画では、音声解説はあるが、横画は「同じ筆圧で」のみで、穂先の向きなどについての説明はない。毛筆の運筆動画 楷書「天地」では、音声解説はない。
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○「点画の種類」では、「反り」を「大きな円の一部を描くように」という例えで表現している。 ○「漢字の筆使い」で、始筆、送筆、終筆の動きを「トン」「スー」「トン」という擬音語で表現しながら書き方を確認する活動が掲載されている。 ○「点画の変化」では、行書の筆の動きを「ぴょん」「ぴたっ」という擬音語で表現しながら書き方を確認する活動が掲載されている。 ○「行書に調和する仮名」で、筆圧の変化を笹の葉を例示してイメージさせる活動が掲載されている。 ○学習に役立つ学習コンテンツとして、「点画の種類」の動画では、ナレーションはあるが、音声による解説はない。毛筆の運筆動画 楷書「天地」では、音声解説はない。正面からの映像が途中で、カメラワークが変わり、斜めからの映像になる。

【書写】視覚障害

観点	☆文字の色やコントラスト等により、視覚障害への配慮を要する内容がある。
対象・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学年「学習のはじめに」「楷書」におけるレイアウトや配色 ・文字の大きさ等及び硬筆による行書の練習マス、毛筆の手本

	具体例
東書	<p>☆配色は赤系と青系で、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。</p> <p>☆文字の大きさ（本文）：通常 10～12pt、最小 9pt</p> <p>☆フォント：UD書体使用（明朝、ゴシック、教科書体）</p> <p>☆硬筆用練習マス、罫線</p> <p>マスの大きさ：15 mm×15 mm 線の太さ：0.75pt 線の色：グレー グリッド線：なし</p> <p>硬筆練習用罫線 横罫幅：15 mm幅 線の太さ：0.75pt 線の色：グレー グリッド線：なし</p> <p>手本の配置：練習マスの上側のマスに配置。</p> <p>なぞり書き用の文字（字形と配列を整える書き方）：濃い</p> <p>☆毛筆の手本：すべて1頁の大きさで半紙と縦横比が同じ（例 p 15）。半紙範囲内に手本以外の情報の記載あり。（中央印、見出し番号、二次元コード）</p> <p>☆書初め用紙（p 89～）は原寸大</p>
三省堂	<p>☆配色は赤系と緑系で、明度に差がある色の配色で、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。</p> <p>☆文字の大きさ（本文）：通常 11pt、最小 8pt</p> <p>☆フォント：読みやすさ、学びやすさを追及して開発した独自フォント使用（ゴシック、明朝）</p> <p>☆硬筆用練習マス、罫線</p> <p>マスの大きさ：15 mm×15 mm 線の太さ：0.25pt 線の色：黒</p> <p>グリッド線：点線があるものとないものあり。</p> <p>硬筆練習用罫線 横罫幅：16 mm幅 線の太さ：0.25pt 線の色：黒 グリッド線：あるものとないものがある。</p> <p>手本の配置：主に練習マスの上側のマスに配置。</p> <p>なぞり書き用の文字（字形の整え方）：薄い</p> <p>☆毛筆の手本：見開き2頁（p 16～17）は半紙原寸大。半紙範囲内に手本以外の情報の記載あり。（中央印、手本近くに二次元コード記載）</p> <p>その他は1頁の大きさで半紙範囲と背景の区別が分かりづらい。（例 p 35）</p> <p>書初め用紙（p 105～）は原寸大</p>
教出	<p>☆配色は赤系と緑系、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。</p> <p>☆文字の大きさ（本文）：通常 10.5～12pt、最小 10pt</p> <p>☆フォント：UDフォント使用（ゴシック、明朝）</p> <p>☆硬筆用練習マス、罫線</p> <p>マスの大きさ：17 mm×17 mm、15 mm×15 mm 線の太さ：0.25pt 線の色：黒</p> <p>グリッド線：点線があるものとないものがある</p> <p>硬筆練習用罫線 横罫幅：17 mm幅 線の太さ：0.25pt 線の色：グレー グリッド線：点線あり</p> <p>手本の配置：主に練習マスの上側のマスに配置。</p> <p>なぞり書き用の文字（学習を生かして一字形、筆順一）：濃い</p> <p>☆毛筆の手本：見開き2頁（p 18～19）は半紙原寸大、その他は1頁の大きさで半紙と縦横比がほぼ同じ（例 p 44）。半紙範囲内に手本以外の情報（中心線、文字バランスを示すガイド線のあるものあり。二次元コード等の情報は半紙範囲外にあり。）</p> <p>書初め用紙（p 57～）は原寸大。</p>

光 村	<p>☆配色は赤系と青系、又は緑系と赤系の配色で、カラーユニバーサルデザイン に配慮されている。</p> <p>☆文字の大きさ（本文）：通常 13pt、最小 9pt</p> <p>☆フォント： UD書体使用（ゴシック）</p> <p>☆硬筆用練習マス、罫線</p> <p>マスの大きさ：17 mm×17 mm 線の太さ：0.25pt 線の色：黒 グリッド線：なし</p> <p>硬筆練習用罫線 横罫幅：15 mm幅 線の太さ：0.25pt 線の色：黒 グリッド線：中心点線あり</p> <p>手本の配置：主に練習マス上側に配置。</p> <p>なぞり書き用の文字（「字形の整え方」）：薄い</p> <p>☆毛筆の手本：見開き 2 頁（p 42～43、56～57、60～61、68～69、72～73）は半紙原寸大、その他は 1 頁の大きさで半紙と縦横比がほぼ同じ（例 p47）。</p> <p>半紙範囲内に手本以外の情報の記載あり。（中心印、穂先の動き見本、二次元コード）</p> <p>書初め用紙（p149～）は原寸大</p> <p>背景と半紙の明確な境界線がない手本がある。</p>
--------	--

【書写】聴覚障害

観点	○学習内容、点画の筆順、運筆の仕方等のポイントが写真や図版、イラスト等とともに分かりやすく示されている。
対象・方法	第1学年、第2学年の「行書」の基本についての単元における学習内容、行書の点画の筆順、運筆のポイントの理解を補う視覚情報の提示の仕方と数を調査する。

	学習内容（単元名）	写真・図版・イラスト	その他
東書	第1学年 ・読みやすく速く書くための動き ・点画の連続 ・点画の変化 ・行書のまとめ① 第2学年 ・点画の省略 ・筆順の変化 ・行書と仮名の調和 ・行書に調和する仮名 ・文字の大きさと配列 ・行書のまとめ②	p24～25 行書の文字に合わせて、運筆の仕方、筆順が示されている。 ・写真0 ・図版5 ・イラスト6 ※動画（運筆）	・該当なし
三省堂	第1学年 ・行書の特徴 ・点画の丸み ・点画の連続 ・点画の形や方向の変化 第2学年 ・点画の省略 ・筆順の変化 ・行書と仮名の調和 ・行書に調和する仮名 ・楷書と行書の使い分け	p32～33 行書の文字に合わせて、行書の特徴が示されている。 ・写真0 ・図版1 ・イラスト0 ※動画（解説）	・該当なし
教出	第1学年 ・行書学習のはじめに ・楷書と行書の違い「和」 ・行書の筆使い「大」 ・点画の連続と変化1「大洋」 ・点画と連続の変化2「栄光」 ・点画の連続と省略「平和」 第2学年 ・点画の省略「白雲」 ・筆順の変化「深緑」 ・学習を生かして書く ・行書と仮名の調和「広がる夢」 ・行書に調和する仮名「いろは歌」 ・文字の大きさと配列 ・書く速さを意識して書く ・学習を生かして書く	p40～41 楷書・行書の文字に合わせて、筆脈・筆順と行書の特徴が示されている。 ・写真0 ・図版2 ・イラスト1	・左利きで書く場合の毛筆用具の置き方を掲載

<p style="text-align: center;">光 村</p>	<p>第1学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行書の特徴 ・行書スイッチを入れよう ・点画の変化 ・点画の連続 <p>第2学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点画の省略 ・筆順の変化 ・行書に調和する仮名 ・行書と仮名の調和 ・楷書と行書の使い分け 	<p>p50～51</p> <p>行書の特徴（筆使い）が文字とは別に下段にまとめて示されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真（運筆）2 ・イラスト1 ・図版2 <p>※動画（運筆の比較）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・左利きで書く場合の毛筆用具の置き方を掲載
--	---	---	---

【書写】聴覚障害

観点	☆学習の進め方や学習のめあて（目標）が長文で示された内容がある。
対象・方法	学習のめあて（目標）の文節数、学習の進め方等

	学習のめあて（目標）の文節数	学習の進め方
東 書	<p>読みやすく書く一楷書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点画の書き方と字形の整え方（6） ・仮名の書き方と字形（6） ・文字の大きさと配列（6） <p>生活に広げよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手紙を書こう（5） <p>読みやすく速く書く①一行書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読みやすく速く書くための動き（7） ・点画の連続（10） ・点画の変化（10） <p>生活に広げよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年賀状を書こう（6） 	<p>目標</p> <p>学ぶこと</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 見つけよう 2. 確かめよう 3. 生かそう <p>振り返ろう</p> <p>見開き1ページで収まっている。 見本は、見開き左ページに掲載されていることが多い。</p>
三 省 堂	<p>楷書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・字形の整え方と筆遣い（9） <p>楷書と仮名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮名の字形と筆使い（7） ・文字の大きさと配列（8） <p>行書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行書の特徴（4） ・点画の丸み（6） ・点画の連続（6） ・点画の形や方向の変化（8） <p>グループ新聞を作ろう（8）</p>	<p>目標</p> <p>書き方を学ぼう</p> <p>振り返り</p> <p>見開き1ページで収まっている。 見本は、見開き1ページに渡り掲載されている。</p>
教 出	<p>楷書で書こう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を効果的にノートに書こう（6） ・筆使い—基本点画—（5） ・筆使いと字形「天地」（6） ・学習を生かして書く—字形、筆順—（6） <p>楷書と仮名を調和させて書こう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楷書に調和する仮名「いろは歌」（5） ・学習を生かして書く—配列—（7） ・学校生活に生かして書く（8） <p>行書で書いてみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楷書と行書の違い「和」（4） ・行書の筆使い「大」（なし） ・点画の連続と変化1「大洋」（6） ・点画の連続と変化2「栄光」（6） ・点画の連続と省略「平和」（5） ・学習を生かして書く—一行書の特徴—（6） 	<p>目標</p> <p>考えよう</p> <p>生かそう</p> <p>振り返ろう</p> <p>見開き1ページで収まっている。 見本は、見開き右1ページに掲載されている。</p>
光 村	<p>読みやすく書くための楷書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の筆使い（8） ・楷書に調和する仮名（5） ・文字の大きさと配列（7） <p>読みやすく速く書くための行書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点画の変化（5） ・点画の連続（5） 	<p>目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 考えよう 2. 確かめよう 3. 生かそう <p>見開き1ページで収まっている。 それに加えて見本が次ページに掲載されている。</p>

【書写】 肢体不自由・病弱

観点	○上肢の複雑な動きを必要としない内容がある。
対象・方法	とめ・はね・はらい等の字形やバランス、筆遣い等の書字技術ではない学習内容・活動事例

東書	<p>【1年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な書体やその特徴の紹介 ・ポスターやレポートの形で学習したことを報告する活動 <p>【2年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの文字の目的や工夫を考える活動 <p>【3年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字の歴史や役割 <p>【さまざまな書式】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時候の挨拶の例 ・ポスターや新聞等の表現の特徴 ・返信ハガキや複写用紙の書き方
三省堂	<p>【1年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な活字体と手書き文字のデザインの違いについて ・文字の歴史的な変遷、様々な字体について ・レイアウトや記事内容を決めて新聞を作る活動 <p>【2年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楷書と行書の使い分けについて ・レイアウトや記事内容を決め、地域の魅力をまとめた情報誌を作る活動 <p>【3年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な活字の特徴や、情報の伝え方の変遷（手書き～パソコン等）について ・看板職人やタイプデザイナー等の職業紹介 ・中学校生活で出会ったお気に入りの言葉を集めて名言集を作る活動 <p>【資料編】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手紙の構成（※パソコン等で手紙を書くときにもという記載あり） ・往復はがきのマナーやのし袋の書き方 ・筆記具の紹介（芯が折れないシャープペンシル・タッチペン等）
教出	<p>【1年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おすすめの本の帯やポップを作る、ポスターを書く ・文字の歴史的な変遷、様々な活字体について <p>【2年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常にある行書 ・文字の大きさや見出しの色を工夫して新聞を書く ・掲示物や案内状を書く <p>【3年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な活字の印象や表現効果 ・中学校の魅力をもとめる、または、これまで出会った名言を書く、または、感謝や決意を書いて人に伝える ・手紙やはがきの構成、往復はがきや包み紙の書き方

光 村	<p>【1年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字の歴史的な変遷 <p>【2年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な地域で使われているフォント ・様々な職業に関する新聞づくり <p>【3年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な活字の書体について ・ユニバーサルデザインフォントについて ・印象に残った本について、冊子にまとめる ・防災について情報を集めてポスターや看板などにまとめる <p>【日常に役立つ書式】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手紙やはがきの構成 ・通信文の書き方、タッチペンでの書名 ・プレゼンやデジタル付箋の使い方
--------	--

【書写】 肢体不自由・病弱

観点	☆学校内では学習できない内容がある。
対象・方法	学校内では学習できない活動の具体例

	具体例
東書	<p>☆1年「職場訪問をしよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書写で学習してきたことを生かすために、「1 訪問先に依頼する」「2 職場訪問する」「3 訪問先にお礼を伝える」「4 学習したことを報告する」という活動を掲載 <p>☆2年「伝統的な用具・用材」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書写をする際の道具の作り方を掲載 <p>☆2年「地域の活動に参加しよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書写で学習してきたことを生かすために、「1 準備の打合せをする」「2 多くの人に案内をする」「3 当日の準備をする」「4 学んだことをまとめる」という活動を掲載 <p>☆3年「身の回りの文字の目的と工夫」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街や動物園、行楽地での文字の工夫を紹介
三省堂	<p>☆2年「四十七都道府県名」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・47 都道府県名の漢字と名産物を紹介 <p>☆3年「身のまわりの文字」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看板職人やタイプデザイナーの文字を紹介
教出	<p>☆1年「筆、墨、硯、紙について知ろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書写をする際の道具の作られ方を掲載 <p>☆1年「行書学習のはじめに」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地の名所で行書が使われている看板や掲示を紹介 <p>☆2年「日本建築と「書」」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地の歴史的建造物を紹介 <p>☆3年「多様な表現による文字」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地の看板や標識、石碑を掲載
光村	<p>☆2年「全国フォント見つけ隊」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東西南北津々浦々の観光地での文字のフォントを紹介 <p>☆2年「職業ガイドを作ろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業ガイド新聞を紹介 <p>☆3年「全国文字マップ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国の看板や石に彫られて文字を紹介 <p>☆3年「防災フェスタを開こう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書写の学習を生かして、地域の防災に取り組む方法を掲載 <p>☆3年「書く道具が生まれる」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆の作られ方を紹介

社会（地理的分野）

表記・表現及び使用上の便宜（各障害種共通）

観点 略称	特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮について	判型 総ページ数	図・表等 の掲載数
2 東書	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の観点から、立体感や陰影のある表現を省いた「フラットデザイン」を採用し、学習者が学習に必要な情報に集中できるようにしました。 ・資料の掲載部分を、文字などの読み取りに支障のない地色を敷いて区別することで、紙面の構造を明確化し、特別支援教育の観点での学習のしやすさを向上させています。 ・教科書全体を通してユニバーサルデザインフォント（UDフォント）を使用し、文字の視認性を高め、読み取りやすさを向上させています。 ・色覚特性がある生徒にも見分けやすい色を使用するとともに、グラフや地図などでは、凡例を使用せずに図中に直接示すようにしたり、読み取りづらい破線や点線を極力減らしたりしました。 ・小さな文字が読み取りにくい生徒に配慮し、読み取りやすいゴシック体のふりがなを採用し、視認性を確保しながら黒色を抑えることで、紙面の雑然とした印象を軽減し、読み取りやすさを向上させています。 	A B ・ 294	303
17 教出	<ul style="list-style-type: none"> ・紙面を見開き単位とし、本文と資料をフォントやポイントの違いにより明確に区別したり、整理・パターン化したりしたレイアウトでデザインすることで、視認性がより高まるように配慮しています。 ・色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに基づく配色です。 ・紙面でもデジタル画面でも見やすく読みやすいユニバーサルデザイン・フォントを使用しています。 ・キャラクターのふきだしの文章は、読みやすさを考慮して改行しています。 	A B ・ 310	310
46 帝国	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の専門家からの助言をもとに、図版に背景色や囲み線をつけるなどして図版と本文を区別しやすくするなど、インクルーシブ教育へ配慮した編修を行っています。 ・文字は、読みやすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。また、重要語句を示すゴシック体の太さやルビの見やすさにも工夫を凝らしています。 ・配色は、色覚特性に配慮した識別しやすい色づかいとなるように工夫しています。また、図版に模様や線、記号などを使用することによって、色以外からも情報を読み取れるようにしています。 	A B ・ 310	319
116 日文	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書全体を通して視認性の高いユニバーサルデザインフォントを使用し、振り仮名には判読しやすいゴシック体を使用しています。また、グラフ・地図等の図版は、色覚に特性のある生徒も読み取りが可能になるようにCUDに配慮した配色や処理を施しています。 	A B ・ 318	329

※1 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮：各発行者の編修趣意書より抜粋。

※2 図・表等の掲載数：各発行者の教科書（100ページ）から、内容理解を補完するための図及びグラフ・表を計上。

【社会（地理的分野）】聴覚障害

観点	○重要語句の説明が写真やイラスト、地図、グラフ等、様々な視覚情報を用いて為されている内容がある。
対象・方法	第1編（部）第2章「日本の地域構成」（「日本の姿」）の「世界の中の日本の位置」（「日本の位置をとらえよう」）及び第2編（部）第2章第1節「アジア州」の「東南アジア」において、重要語句の説明が写真やイラスト等を用いて為されている事例

	世界の中での日本の位置	東南アジア
東書	<p><緯度と経度に注目></p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本と同じ緯度、同じ経度の範囲（地図①） ・問い「地図に示されたAからDは、日本をある視点で移動したものである。Aを参考に、BからDに当てはまる語句を考えよう。」 ○長久保赤水による地図（写真①） ・説明「長久保赤水は1780年ごろ、日本で初めてとされる経線と緯線の入った日本地図を作った。この地図は出版され、多くの人に利用された。」 <他地域との関係に着目> ○東京からの距離と方位が正しい地図（地図①） ○ロンドンからの距離と方角が正しい地図（地図①） ○15世紀ごろに作られた世界地図（地図①） ・説明「南を上にした地図で、矢印の先にCimpaguと書かれた島が日本と考えられている。」 	<p><農村の暮らしの変化></p> <ul style="list-style-type: none"> ○東南アジアにある日本企業の工場（写真①） ○東南アジアに進出した日本企業の数（棒グラフ④） ○東南アジアの主な国の輸出品の変化（帯グラフ③） ・問い「グラフから、3か国の輸出品や輸出額がどう変化したか読み取りましょう。」 ○海岸近くの森林を切り開いて造られたえびの養殖場（写真①） ○あぶらやしの収穫（写真①） ・説明「あぶらやしから得られるパーム油は食用油となるほか、マーガリンやせっけんの原料に使われます。」 <外国企業の進出と工業化> ○アジアの主な都市の製造業の賃金（棒グラフ⑫） <急速な都市化と課題> ○生活環境の整備が後れた地域と高層ビル（写真①）
教出	<p><地球上の日本の位置></p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本の午前9時は、世界で何時？（写真③） ・説明「東京 [1/1 午前9時] / ロンドン [1/1 午前0時] / ニューヨーク [1/1 午前0時]」 ・問い「現地時間で①の写真と同じ時間は②と③のどちらか。」 ○16世紀後半につくられた地図（地図①） ・問い「オルテリウスというベルギーの人が作成した「世界地図帳」に紹介されている「世界地図」である。私たちが使っている地図帳の世界地図とはどこが違うだろうか。比較しよう。」 <本初子午線と時差> ○ロンドンと東京・ニューヨークの時刻と位置の関係（地図①） ・問い「資料1の三都市の現地時間を、資料3・4で確かめよう。」 ○イギリスを基準とした世界の等時帯を表した地図（地図①） ・問い「世界で最も早く一日が始まる国を探そう。」 	<p><農水産物と鉱産資源></p> <ul style="list-style-type: none"> ○コーヒープランテーションで働く労働者（写真①） ・問い「コーヒー栽培が行われている地域を、p. 109 資料4で確かめよう。」 ○バナナの出荷（写真①） ○東南アジアの農業分布（地図①） <進む工業化と貿易の変化> ○東南アジアの国々の輸出品の変化（帯グラフ⑥） ○ベトナムに進出する日本企業のプリンター工場（写真①） ○バンコクの高層ビル街（写真①） ・説明「1980年代に入って、外国の企業の進出が増えてくると、首都のバンコクやその周辺に工業団地がつくられ、バンコク市内にはオフィスビルが建ち並ぶようになった。」 <地域内の経済協力> ○貿易で結びつく日本とアジアの各国（地図及び円グラフ⑮）

<p style="text-align: center;">帝 国</p>	<p><緯度・経度でみた日本の位置> ○日本と同じくらいの緯度にあるイタリア（写真①） ○日本と同じくらいの緯度にあるアメリカ合衆国（写真①） ○日本と同じ緯度、同じ経度の範囲（地図①） ・説明「地球の正反対側に置いた日本」 ・問い「北半球で日本と同じくらいの緯度にある国は、どこの国か。」 ○緯度でみた日本の南北の範囲（図①） <世界のほかの地域からみた日本の位置> ○ヨーロッパを中心にした世界地図（地図①） ○16世紀ごろにヨーロッパ人がつくった世界地図（地図①） ○ユーラシア大陸の隣国からみた日本（地図①） ・説明「日本の位置は、どの国から日本をみるかによって、表し方が変わるんだね。」</p>	<p><共に暮らす多様な民族> ○クアラルンプールの街角（写真①） ・説明「民族や服装がさまざまで、日本の街角とは違う感じだね。」 ○マレーシアの民族構成（円グラフ①） <伝統的な稲作と輸出用の作物生産> ○プランテーションでの油やしの収穫（写真①） <工業化の波とASEAN> ○東南アジアに進出した日本企業数の変化（地図及び円グラフ①） ○タイに進出した日本の自動車メーカーの組み立て工場（写真①） <都市化とその課題> ○高層ビル群とスラム（写真①） ・説明「線路沿いに粗末な建物が密集している。」 ○水上バスで通勤する人々（写真①） ・説明「運河が発達しているバンコクでは、水上バスも活躍している。」</p>
<p style="text-align: center;">日 文</p>	<p><緯度・経度からみた日本の位置> ○日本と緯度・経度が同じ範囲（地図①） ○日本と緯度が同じ範囲にある国（写真①） ○日本と経度が同じ範囲にある国（写真①） ・問い「日本の位置を説明するときは、どんなふうに表現するとわかりやすいのかな。」 <ほかの国からみた日本の位置> ○ヨーロッパを中心とした世界地図（地図①） ○16世紀後半にヨーロッパ人が作った世界地図（地図①） ・説明「地理的な知識や図法の技術などが現在ほど整っていない時代につくられた地図である。陸地の形や位置は現在の地図ほど正確ではないが、日本の姿もかかっている。」 ○ユーラシア大陸からみた日本（地図①） ・説明「どこの国からみるかで、日本のみえ方はまったく異なるね。」</p>	<p><東南アジアの農業・漁業> ○山地に広がる棚田（写真①） ・説明「この地域では、2000年にわたって人々が稲作を行いながら、棚田をつくりあげてきた。「天国への階段」「自然と人間との共同作品」とよばれていて、世界文化遺産に登録されている。」 ○天然ゴムの国別生産量（帯グラフ①） ○国内・国外の各地へ出荷するいくつかの加工工場（写真①） <各国の経済発展と都市化による課題> ○コンテナ取扱量が世界2位のシンガポール港（写真①） ・説明「シンガポールは、アジアの経済的な中心地の一つになっているさまざまな国の企業がアジアでの拠点をシンガポールに作り、企業活動を行っている。」 ○中国とASEAN諸国への日系企業の進出数（折れ線グラフ⑦） ・説明「グラフを見ると、近年中国への進出数の伸びがにぶっていること、ASEAN諸国のなかでも国によって進出数の伸びにちがいがあることなどを読み取ることができる。」 ○東南アジアの主な国の輸出品の変化（帯グラフ⑥） ・問い「鉱産資源に青色、農作物に緑色、工業製品に黄色をぬって、輸出品がどう変化したか読み取ろう。」 ○マニラのスラムと市街地（写真①）</p>

【社会（地理的分野）】聴覚障害

観点	☆学習のめあて（学習課題）が長文で示された内容がある。
対象・方法	第3編（部）第2章「日本の地域的特色と地域区分」（「日本の地域的特色」「日本の特色と地域区分」）において、めあて（学習課題）が10文節以上となっている事例

日本の地域的特色と地域区分	
東書	第3編 日本のさまざまな地域 第2章 日本の地域的特色（p156～p181） ☆一文が10文節以上の文（9文中0文） ・該当なし
教出	第3編 日本のさまざまな地域 第2章 日本の特色と地域区分（p145～p170） ☆一文が10文節以上の文（11文中2文） ・「日本の気候はどのように区分され、季節風や台風などによってどのような影響を受けるのでしょうか」（10文節） ・「災害から身を守るために、国や県、地域社会ではどのような努力がなされているのでしょうか」（10文節）
帝国	第3部 日本のさまざまな地域 第2章 日本の地域的特色（p140～p165） ☆一文が10文節以上の文（10文中1文） ・「資源を輸入に頼る日本では、持続可能な社会を実現するために、どのような取り組みが行われているのだろうか」（11文節）
日文	第3編 日本のさまざまな地域 第2章 日本の地域的特色と地域区分（p144～p167） ☆一文が10文節以上の文（8文中1文） ・「自然災害から地域や人々の生活を守るために、私たちはどのような取り組みをするべきでしょうか」（10文節）

【社会（地理的分野）】 肢体不自由・病弱

観点	○語句や内容についての説明が写真やイラスト等を用いて為されている。
対象・方法	対象：「中国・四国地方」「関東地方」 方法：語句や内容等についての説明が写真やイラスト等を用いて為されている事例

	中国・四国地方	関東地方
東 書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本州と四国を結ぶしまなみ海道と瀬戸内海（写真） 2. 本州・四国間の自動車交通量（グラフ） 3. 中国・四国地方の自然（地図） 4. 中国・四国地方の季節風の様子（イラスト） 5. 中国・四国地方の地域区分（地図） 6. 各地の雨温図（雨温図） 7. 険しい山々が続く四国山地（写真） 8. 雪が積もった鳥取砂丘（写真） 9. 讃岐平野のため池（写真） 10. 渇水で貯水量が減った早明浦ダム（写真） 11. 中国・四国地方の人口と交通（地図） 12. 塩田での塩づくりの様子（写真） 13. 山間部を通る高速道路（写真） 14. 自転車の通行も可能なしまなみ海道（写真） 15. 離島と本土をつないだ遠隔授業（写真） 16. 鉄道で本州と四国をつなぐ瀬戸大橋（写真） 17. 宇高連絡線（写真） 18. 浜田駅から広島駅、松江駅までの所要時間（表） 19. 中国・四国地方の高速道路の整備（地図） 20. 原爆ドーム（写真） 21. 石油精製工場や化学工場が集まる瀬戸内海の臨海部（写真） 22. 石油化学コンビナートの模式図（イラスト） 23. 瀬戸内工業地域（地図） 24. 上空から見た自動車工場と積み出し港（写真） 25. 瀬戸内工業地域の工業生産の変化（グラフ） 26. 高知平野に広がるビニールハウス（写真） 27. 大阪に出荷されるなす（グラフ） 28. 中国・四国地方の市町村別の老年人口割合（地図） 29. 棚田での田植えを体験する小学生（写真） 30. 角島と本州をつなぐ角島大橋（写真） 31. 漫画のキャラクターを活用した地域おこし（写真） 32. ルビーを使った中学校でのプログラミングの学習（写真） 33. 直島を訪れる外国人観光客（写真） 34. 香川県直島町の観光客数の移り変わり（グラフ） 	<ol style="list-style-type: none"> 35. 交通網や通信施設が集中する首都・東京（写真） 36. 旅客数が多い国内の航空路線（グラフ） 37. 日本の中の関東地方（グラフ） 38. 関東地方の自然（地図） 39. 関東ローム（写真） 40. 各地の雨温図（グラフ） 41. 高速道路沿いに広がる畑作地帯（写真） 42. うめ立て地が広がる臨海部（写真） 43. 1月の房総半島（写真） 44. 1月の群馬県高崎市（写真） 45. 関東地方の人口と交通（地図） 46. 都市化の影響による気温の変化量（地図） 47. 世界各地と結びつく横浜港（写真） 48. 世界各地からの航空機が到着する東京国際（羽田）空港（写真） 49. 外国人観光客に人気の観光地浅草（写真） 50. 成田国際空港（写真） 51. 成田国際空港の航空網（地図） 52. 東京都への集中（グラフ） 53. 官庁街と国会議事堂（写真） 54. 東京都港区における外国大使館の分布（地図） 55. 東京を訪れる外国人観光客数の移り変わり（グラフ） 56. 都道府県別の在留外国人数の割合（グラフ） 57. 朝の通勤時間帯の新宿駅（写真） 58. 東京23区への通勤・通学者（地図） 59. 東京23区の昼夜間人口（地図） 60. 東京周辺の地価と鉄道網（地図） 61. 上空から見た品川駅（写真） 62. 多くの観光客でにぎわう花畑（写真） 63. 臨海部に広がる京葉工業地域（写真） 64. 内陸部に造られた工業団地（写真） 65. 関東地方の工業地域の広がり（地図） 66. インターネットで商品を販売する会社の配送センター（写真） 67. ブラジル人が利用するスーパーマーケット（写真） 68. 関東地方の野菜産地の広がり（地図） 69. 高原でのキャベツの収穫（写真） 70. 鶏卵の生産（写真） 71. 東京に出荷される野菜の県別割合（グラフ）

<p>教 出</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 通信使の名残 (写真) 2. 朝鮮通信使の主な経路 (地図) 3. 中国・四国地方の人口分布 (地図) 4. 中国・四国地方の地勢と各県 (地図) 5. 中国・四国地方の雨温図 (雨温図) 6. 雨が少ないため、ため池の多い讃岐平野 (写真) 7. 1898 年ごろの広島市 (地図) 8. 広島市の人口・面積の変化 (グラフ) 9. 1950 年ごろ、2019 年ごろの広島市 (地図) 10. 原爆ドーム前を通る被爆した路面電車 (写真) 11. 広島高等裁判所 (写真) 12. 全線開通から 40 年ほどで廃止された JR 三江線 (写真) 13. 三江線の代替バス (写真) 14. 軽自動車による移動スーパー (写真) 15. 中国・四国地方の市区町村別の人口増減率の変化 (地図) 16. ゆずを使った商品とゆず商品の製造工場 (写真) 17. 高知県馬路村・徳島県上勝町の位置 (地図) 18. 馬路村の人口の変化と人口構成 (グラフ) 19. 注文の受け付けや情報分析などをタブレット端末で行いながら作業する生産者 (写真) 20. 収穫してきた「紅葉もみじ」の選定作業 (写真) 21. 上勝町の人口構成 (グラフ) 22. 本州四国連絡橋のルート (地図) 23. 大鳴門橋 (写真) 24. 山陽新幹線 (写真) 25. 瀬戸大橋 (写真) 26. 中国・四国地方の交通網の変化 (地図) 27. 本州・四国間の高速バスの輸送客数の変化 (グラフ) 	<ol style="list-style-type: none"> 28. 高層ビル群と郊外に広がる市街地 (写真) 29. 関東ローマ (写真) 30. 開花した菜の花畑 (写真) 31. 関東地方の地勢と各都県 (地図) 32. 関東地方各地の雨温図 (雨温図) 33. イルカウォッチングを楽しむ観光客 (写真) 34. 東京の都心 (写真と地図) 35. 東京都と関東地方への集中 (グラフ) 36. 東京の中心部に集中する施設 (地図) 37. 日本国内の主な航空路線と旅客数 (地図) 38. 東京都区部の昼間と夜間の人口 (グラフ) 39. 幕張新都心の会場で開催された東京ゲームショウに集まる人々と、上空から見た幕張メッセ (写真) 40. さいたま新都心 (写真) 41. 東京大都市圏にみる地価の比較 (グラフ) 42. 鉄道に沿って拡大する東京大都市圏の市街地 (地図) 43. 東京 23 区への通勤・通学者の分布 (地図) 44. 臨海部に広がる工業地帯、内陸部に広がる工業地帯 (写真) 45. 全国にみる関東地方の工業の割合の変化 (グラフ) 46. 高い技術で精巧な金属加工を行う工場 (写真) 47. 大都市への輸送条件のよさを生かしたキャベツ生産 (写真) 48. 関東地方における工業都市の分布 (地図) 49. 関東地方と周辺の主な都市で消費される野菜の生産地 (グラフ) 50. ブルーベリー狩りを楽しむ観光客 (写真) 51. 大勢の人でにぎわうエスニックタウン (写真) 52. 日本の主な港の貿易額 (グラフ) 53. 関東地方の主な港の貿易品目 (グラフ) 54. 関東地方・東京都に暮らす外国人の割合 (グラフ) 55. 日本語やポルトガル語などで書かれた看板 (写真) 56. ブラジル人学校での授業の様子 (写真)
----------------	---	---

<p>帝 国</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 中国・四国地方の自然（地図） 2. 四国山地の深い谷を流れる吉野川（写真） 3. 鞆の浦と仙酔島（写真） 4. 日本に占める中国・四国地方の割合（グラフ） 5. 中国・四国地方の地域区分（地図） 6. 雪の積もった大山（写真） 7. 讃岐平野のため池（写真） 8. 土砂災害のしくみを学ぶ小学生（写真） 9. 中国・四国地方の主な都市の雨温図（雨温図） 10. 本州と四国を結ぶ瀬戸大橋（写真） 11. 瀬戸内海の島々を巡回する診療線「済成丸」（写真） 12. 中国・四国地方の高速道路網と所要時間の変化（地図） 13. 平和記念公園で「被爆ピアノ」の話を聞く修学旅行生（写真） 14. 徳島市から神戸市や大阪市などへ向かう高速バスの乗り場（写真） 15. 臨海部に集まる製油所や化学工場（写真） 16. 瀬戸内海沿岸の広大な塩田での塩づくり（写真） 17. 海外の見本市に出展した「今治タオル」（写真） 18. 瀬戸内工業地域の主な工業と出荷額（地図） 19. 出荷される新幹線の車両（写真） 20. 医薬品の開発（写真） 21. 山の斜面に広がるみかん畑と収穫したみかんを運ぶモノレール（写真） 22. かんきつ類の生産量（グラフ） 23. 愛媛県で生産されるかんきつ類の出荷時期（グラフ） 24. 養殖ぶりの水揚げ（写真） 25. 高知県の野菜の主な出荷先への輸送手段（地図） 26. ビニールハウスで栽培されたなすの収穫（写真） 27. 東京へのなすの出荷量と価格（グラフ） 28. 縁結びの神様として知られる出雲大社（写真） 29. 石見神楽の公演（写真） 30. 島根県を訪れる観光客数の変化（グラフ） 31. 萩の町並み（写真） 32. 中国・四国地方の市町村別老年人口の割合（地図） 33. セルフサービス形式の讃岐うどんのお店（写真） 34. なしの観光農園（写真） 35. 「水木しげるロード」で行われたイベント（写真） 	<ol style="list-style-type: none"> 36. 関東地方の自然（地図） 37. 住宅地や田畑が広がる関東平野（写真） 38. 日本に占める関東地方の割合（グラフ） 39. 世界自然遺産に登録されている小笠原諸島の父島（写真） 40. 最高気温を示す看板（写真） 41. 花摘みが楽しめる房総半島の農園（写真） 42. 首都圏外郭放水路とその位置（写真、地図） 43. 関東地方の主な都市の雨温図（雨温図） 44. 霞が関にある官庁街とその周辺（写真） 45. 東京の中心部に集中するさまざまな機関（地図） 46. 東京都の主な区における昼間人口と夜間人口（グラフ） 47. ターミナル駅となっている新宿駅（イラスト） 48. 通勤・通学時間帯に混雑する新宿駅（写真） 49. 東京への集中（グラフ） 50. 開発が進む東京の湾岸地域（写真） 51. 東京大都市圏の拡大と東京 23 区への通勤・通学者数（地図） 52. 筑波研究学園都市（写真） 53. 「みなとみらい 21」地区（写真） 54. 港北ニュータウン（写真） 55. 東京都多摩市の人口ピラミッドの変化（グラフ） 56. 印刷工場での製本作業の様子（写真） 57. 関東地方の主な工業と出荷額（地図） 58. 印刷業の出荷額（グラフ） 59. 茨城港（常陸那珂港区）の取扱貨物量の変化（グラフ） 60. ブラジルの食材が売られているスーパーマーケット（写真） 61. 国内外から多くの人が集まる「東京ゲームショウ」（写真） 62. ゲームの製作会社の様子（写真） 63. 仕分けされた宅配便の荷物を積み込む様子（写真） 64. はくさいの収穫（写真） 65. 大田市場に集められた茨城県産のはくさい（写真） 66. 関東地方で生産が盛んな農作物（グラフ） 67. いちごの収穫（写真） 68. 野菜などの主な栽培地と各県の農業産出額の内訳（写真） 69. 移住者の働く場となっている村営の「きのこセンター」（写真） 70. 尾瀬ヶ原の湿原の木道を歩く人々（写真）
----------------	---	---

1. 中国・四国地方の地形（地図）
2. 中国・四国地方の人口密度と交通網（地図）
3. 中国・四国地方各地の雨温図（雨温図）
4. 中国山地（写真）
5. 四国山地（写真）
6. 中国・四国地方の地形と気候の関係（イラスト）
7. 瀬戸内と九州地方・近畿地方を結ぶ山陽新幹線（写真）
8. 大鳴門橋の近くにある大塚国際美術館（写真）
9. 鳴門市にあるサッカーチームの本拠地（写真）
10. 四国新幹線構想の例（地図）
11. 本州と四国のあいだの1日あたりの自動車交通量（グラフ）
12. 大阪の市場での四国地方の農産物・水産物のシェア（グラフ）
13. 瀬戸大橋（写真）
14. 瀬戸大橋を走る鉄道（写真）
15. 中国自動車道沿いの市町の工業製品出荷額（グラフ）
16. 中国・四国地方とその周辺の主な高速道路の開通年（地図）
17. 本州と四国地方のあいだの交通網の1日あたりの利用者数（グラフ）
18. 南四国から瀬戸内までの所要時間の変化の例（グラフ）
19. 「水木しげるロード」を散策する観光客（写真）
20. 沿岸部に広がる石油化学コンビナート（写真）
21. 石油化学コンビナートのしくみ（イラスト）
22. 瀬戸内とその周辺の工業（地図）
23. 山口県の工場から船で輸送される西九州新幹線の車両（写真）
24. 番の州臨海工業団地（写真）
25. 斜面に広がるみかん畑での収穫（写真）
26. みかん・ピーマン・なすの県別生産量（グラフ）
27. ぶり・たいの県別水あげ量（グラフ）
28. 大阪の市場でのなすの県別入荷量（グラフ）
29. 「すだちぶり」の養殖（写真）
30. 上勝町での「つまもの」の生産・販売のしくみ（イラスト）
31. インターネットで「つまもの」の注文を受ける生産者（写真）
32. 徳島県神山町に進出したICT関連の企業（写真）
33. 中国・四国地方の市町村別の高齢化率（地図）
34. 第三セクターの鉄道（写真）
35. 「島留学」の見学会に参加する中学生（写真）
36. 島根県海士町の20歳未満の人口（グラフ）
37. 移住者が立ち上げた地元の木材で家具を作る会社の工場（写真）
38. 「ふるさと納税」のしくみ（イラスト）

39. 関東地方の地形（地図）
40. 関東地方の人口密度と交通網（地図）
41. 関東地方各地の雨温図（雨温図）
42. 赤城山と屋敷林（写真）
43. 東京の年間の熱帯夜日数の変化（グラフ）
44. 多摩ニュータウン（写真）
45. 多摩ニュータウンの地区ごとの高齢化率（写真）
46. 東京圏に住む人の通勤時間（グラフ）
47. 諏訪地区でのマンションの建てかえ工事のようすと新しく建設されたマンション（写真）
48. ニュータウンの開発（写真）
49. 郊外の住宅地（写真）
50. 東京の副都心・新宿（写真）
51. 東京の都心の商業地区（写真）
52. 東京23区への通勤・通学者数（地図）
53. 高速道路（写真）
54. 新しい路線を走る電車の開業初日のようす（写真）
55. 人口が急増している東京湾の臨海部に建設された高層マンション（写真）
56. 東京の都心3区の昼間人口と夜間人口のちがい（グラフ）
57. 日本の人口分布（グラフ）
58. 地価の比較（グラフ）
59. 東京の都心に集まるさまざまな国の機関（写真）
60. 東京の地位（グラフ）
61. 関東地方と関東地方以外の人口の変化（グラフ）
62. フランスで開催された日本のアニメーションイベント（写真）
63. 情報通信業の従業者数の多い県（グラフ）
64. 東京都でテレワークを実施している企業の割合（グラフ）
65. 京浜工業地帯（写真）
66. 北関東工業地域（写真）
67. 輸出入額の多い貿易港（グラフ）
68. ブラジルの食料品をあつかうスーパーマーケット（写真）
69. 大泉町の人口（グラフ）
70. はくさいの収穫（写真）
71. ねぎ・ほうれんそう・キャベツの県別生産量（グラフ）
72. 農業生産額が多い県（グラフ）
73. 荒川周辺の再開発地区とスーパー堤防・排水機場（写真）
74. オフィスビルの床面積（グラフ）
75. 世田谷区の再開発地区（写真）
76. 「地理院地図」で表示した東京23区と周辺の標高（地図）
77. としまみどりの防災公園（IKE・SUNPARK）を走る電気バス（写真）
78. 地下調整池（写真）
79. 筑波研究学園都市

【社会（地理的分野）】 肢体不自由・病弱

観点	☆ 上肢の複雑な動きを必要とする内容がある。
対象・方法	対象：「世界と日本の地域構成」「地域調査の手法」 方法：上肢の複雑な動きを必要とする学習課題の具体例

	世界と日本の地域構成	地域調査の手法
東書	<ul style="list-style-type: none"> ①. 世界や都道府県について調べた内容をカードにまとめる課題。 ②. 教科書と地図帳を照らし合わせながら国名を調べる課題。 ③. 地球儀上で紙テープを使い、距離と方位を調べる課題。 ④. ノートやタブレットに線を引いて、世界の略地図を描く課題。 ⑤. 地球儀を使って日本の反対に位置する首都の緯度と経度を答える課題。 ⑥. 教科書に日本の位置の表し方を書き込む課題。 ⑦. 日本の島名を地図で探し、教科書に書き込む課題。 ⑧. 教科書に自分が住んでいる県を線で囲む課題。 ⑨. ①～④まで割り振られた都道府県の県庁所在地名をノートに漢字で書き出す課題。 ⑩. 教科書に地方区分名を書き込む課題。 ⑪. ノートに日本の略地図や日本の東西南北端の島を、線や点を用いて描く課題。 ⑫. ペン図を用いて都道府県カードを作る課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑬. 教科書にある等高線に垂線を引き、断面図を完成させる課題。 ⑭. 野外観察を実施する課題。 ⑮. 調査結果を主題図や表、グラフ等を用いてまとめ、発表する課題。
教出	<ul style="list-style-type: none"> ①. 教科書に六大陸三大洋の名称を書き込む課題。 ②. 教科書の線をなぞり、世界の略地図を描く課題。 ③. 「緯」「経」「子」「午」の意味を漢和辞典で調べる課題。 ④. 地球儀上で紙テープを使い、距離と方位を調べる課題。 ⑤. 教科書内のオーストラリアとグリーンランドを色塗りし、教科書と地球儀内にある2国の形や大きさを比較する課題。 ⑥. 面積が大きい国と人口が多い国の上位3カ国を調べ、教科書に書き込む課題。 ⑦. 教科書内の資料「イギリスを基準とした世界の等時間帯を表した地図」をもとに、時差について解答を教科書に書き込む課題。 ⑧. 教科書に地方区分名を書き込む課題。 ⑨. 教科書の空欄に経度と緯線を書き込む課題。 ⑩. 日本の略地図を描く課題。 ⑪. 学習したことをクイズ形式にし、地図にまとめ作成する課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑫. 調査結果をイラストマップやグラフにまとめ、スライドやポスター、レポートに表現し、発表する課題。

<p>帝 国</p>	<p>①. 教科書に、図の中にある都市や自分の学校のおよその緯度と経度を書き込む課題。 ②. 地球儀で東京からブエノスアイレスを見た時の方位を確認し、メルカトル図法と正距方位図法での見え方を比較する課題。 ③. 地球儀上で紙テープを使い、距離と方位を調べる課題。 ④. 地球儀と教科書を見比べて、グリーンランドの形の見え方違いについて説明する課題。 ⑤. 地図帳の索引を用いて解答を探し、教科書に線を結び解答する課題。 ⑥. 教科書にトレーシングペーパーを重ね、鉛筆でなぞり、世界の略地図を描く課題。 ⑦. ①～④まで割り振られた都道府県の県庁所在地名を漢字で書き出す課題。 ⑧. 地図帳で都道府県名と県庁所在地名が異なる都道府県を調べ、教科書に色塗りする課題。 ⑨. 教科書にトレーシングペーパーを重ね、鉛筆でなぞり、日本の略地図を描く課題。 ⑩. 指定された緯度と経度の緯線と経線を引き描き、それらを目安にノートに日本の略地図を描く課題。</p>	<p>⑪. 教科書の2点間の長さを物差しで測り、実際の距離を求める課題。 ⑫. 教科書にある等高線に垂線を引き、断面図を完成させる課題。 ⑬. 教科書内の地図を比較し、色を塗る課題。 ⑭. 野外観察をする課題。 ⑮. 調査結果をグラフや地図にまとめ、発表する課題。</p>
<p>日 文</p>	<p>①. 地球儀を使って、教科書に掲載されている地球の見え方と同じように見える向きを探す課題。 ②. 地球儀を使って六大陸と三大洋を確認する課題。 ③. 教科書と地図帳を見比べながら国名を調べる課題。 ④. 国名や国旗が似ている国の名前と位置を、白地図にまとめる課題。 ⑤. 教科書と地図帳を見比べながら、人口が多い国と面積が広い国上位5カ国を調べ、教科書に書き込む課題。 ⑥. 教科書に国名しりとりでの解答を書き込む課題。 ⑦. 地球儀上で紙テープを使い、距離と方位を調べる課題。 ⑧. 地図帳にトレーシングペーパーを重ね、世界の略地図を描く課題。 ⑨. ①～④まで割り振られた都道府県の県庁所在地名をノートに漢字で書き出す課題。 ⑩. 教科書に地方区分名を書き込む課題。 ⑪. 地図帳にトレーシングペーパーを重ね、日本の略地図を描く課題。</p>	<p>⑫. 野外観察を実施する課題。 ⑬. 収集した情報や資料や地図やグラフに加工する課題。 ⑭. 調査結果をレポートやポスター、報告書にまとめ、発表する課題。</p>

社会（歴史的分野）

表記・表現及び使用上の便宜（各障害種共通）

観点 略称	特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮について	判型 総ページ数	図・表等 の掲載数
2 東書	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育の観点から、立体感や陰影のある表現を省いた「フラットデザイン」を採用し、学習者が学習に必要な情報に集中できるようにしました。 資料の掲載部分を、文字などの読み取りに支障のない地色を敷いて区別することで、紙面の構造を明確化し、特別支援教育の観点での学習のしやすさを向上させています。 教科書全体を通してユニバーサルデザインフォント（UDフォント）を使用し、文字の視認性を高め、読み取りやすさを向上させています。 色覚特性がある生徒にも見分けやすい色を使用するとともに、グラフや地図などでは、凡例を使用せずに図中に直接示すようにしたり、読み取りづらい破線や点線を極力減らしたりしました。 小さな文字が読み取りにくい生徒に配慮し、読み取りやすいゴシック体のふりがなを採用し、視認性を確保しながら黒色を抑えることで、紙面の雑然とした印象を軽減し、読み取りやすさを向上させています。 	A B ・ 300	382
17 教出	<ul style="list-style-type: none"> 見開きを単位とした紙面を、本文と資料をフォントやポイントの違いにより明確に区分したり、整理・パターン化したりしたレイアウトでデザインすることで、視認性がより高まるように配慮しています。 色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに基づく配色です。 紙面でもデジタル画面でも見やすく読みやすいユニバーサルデザイン・フォントを使用しています。 キャラクターのふきだしの文章は、読みやすさを考慮して改行しています。 	A B ・ 317	365
46 帝国	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育の専門家からの助言をもとに、図版に背景色や囲み線をつけるなどして図版と本文を区別しやすくするなど、インクルーシブ教育へ配慮した編修を行っています。 文字は、読みやすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。また、重要語句を示すゴシック体の太さやルビの見やすさにも工夫を凝らしました。 配色は、色覚特性に配慮した識別しやすい色づかいとなるように工夫しています。また、図版に模様や線、記号などを使用することによって、色以外からも情報を読み取れるようにしています。 	A B ・ 334	324
81 山川	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインフォントを使用するとともに、カラーユニバーサルデザインを取り入れることで、多くの人に見やすい教科書となるように配慮しました。 	A B ・ 296	460
116 日文	<ul style="list-style-type: none"> 教科書全体を通して視認性の高いユニバーサルデザインフォントを使用し、振り仮名には判読しやすいゴシック体を使用しています。また、グラフ・地図等の図版は、色覚に特性のある生徒も読み取りが可能になるようにCUDに配慮した配色や処理を施しています。 	A B ・ 324	388
225 自由社	<ul style="list-style-type: none"> 記載なし 	A B 変型 ・ 312	292
227 育鵬社	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育の専門家からの助言を参考に、すべての生徒が読み取りやすい紙面となるように配慮しています。 文字は、ユニバーサルデザインフォント（UDフォント）を使用し、ふりがなには読み取りやすいゴシック体を用い、文字の視認性を向上させました。 グラフや地図などの資料については、色覚特性のある生徒でも識別しやすい色を使用するようにしました。また、折れ線グラフでは、凡例を使用しないで図中に直接示すようにしたり線種を変えたり、地図では、色分けだけでなく地紋を入れたりするなど、色以外の情報からも読み取れるよう工夫しました。 	A B ・ 308	372

229 学び舎	・すべての地図・グラフを色覚特性の個人差に配慮して、読み取りやすくしました。	A 4 ・ 308	340
236 令書	・記載なし	A 5 ・ 520	40

※1 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮：各発行者の編修趣意書より抜粋。

※2 図・表等の掲載数：各発行者の教科書（100 ページ）から、内容理解を補完するための図及びグラフ・表を計上。

【社会（歴史的分野）】聴覚障害

観点	○歴史の重要語句の説明が写真や地図、絵等を活用して為されている内容がある。
対象・方法	中世の日本の「武家政治の成立とユーラシアの交流」及び近世の日本と世界「江戸幕府の成立と対外関係」において、重要語句の説明のための写真等の資料

	「武家政治の成立とユーラシアの交流」	「江戸幕府の成立と対外関係」
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○都の武士と地方の武士（「粉河寺縁起絵巻」） ○都の武士と地方の武士（「平治物語絵巻」） ○武士団のしくみ（武士団の構成図） ○武士団（「前九年合戦絵巻」） ○中尊寺金色堂の内部（写真） ○平氏と源氏系図（系図） ○武士の成長と摂関政治（年表） ○荘園の仕組み（図表） 	<ul style="list-style-type: none"> ○江戸城（「江戸図屏風」） ○徳川家康（絵） ○日光東照宮（写真） ○幕領と諸大名領の割合（「吹塵録」よりグラフ） ○主な大名の配置（地図） ○徳川氏の系図（系図） ○江戸幕府の仕組み（図表） ○武家諸法度（史料） ○禁中並公家中諸法度（史料）
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○河内の有力者の屋敷（「粉河寺縁起絵巻」） ○都の警備に当たる武官（「伴大納言絵巻」） ○武士団のしくみ（武士団の構成図） ○武士団と、各地で起こった争乱（地図） ○中尊寺金色堂（写真） ○平氏と源氏系図（系図） 	<ul style="list-style-type: none"> ○3代将軍徳川家光のころの江戸城（「江戸図屏風」） ○徳川家康（絵） ○徳川氏の系図（系図） ○主な大名の配置（地図） ○江戸幕府のしくみ（図表） ○武家諸法度（史料）
帝国	<ul style="list-style-type: none"> ○荘園支配者の館（「粉河寺縁起絵巻」） ○中世の荘園絵図（「紀伊国柿田荘絵図」） ○平将門像（写真） ○武士団のしくみ（武士団の構成図） ○武士団と各地の争乱（地図） ○中尊寺金色堂内部（写真） 	<ul style="list-style-type: none"> ○江戸城（「江戸図屏風」） ○徳川氏の系図（系図） ○徳川家康（絵） ○江戸幕府のしくみ（図表） ○主な大名の配置（地図） ○江戸城から鳥取までの参勤交代にかかる費用（帯グラフ） ○鳥取藩の参勤交代の道のり（地図） ○武家諸法度（史料）
山川	<ul style="list-style-type: none"> ○都での儀式の様子（「年中行事絵巻」） ○荘園・公領の模式図（図表） ○武士の家の構造（武士団の構成図） ○各地の武士団（地図） ○平氏・源氏系図（系図） ○前九年・後三年合戦（図表） 	<ul style="list-style-type: none"> ○大名の配置（地図） ○徳川氏系図（系図） ○徳川家康（絵） ○武家諸法度（史料） ○軍役（藤井讓治編「日本の近世3 支配の仕組み」より図表） ○江戸幕府のしくみ（図表）
日文	<ul style="list-style-type: none"> ○地方の武士（「粉河寺縁起絵巻」） ○武士団のしくみ（武士団の構成図） ○都の武士（「伴大納言絵巻」） ○中尊寺金色堂の内部（写真） ○武士の反乱と成長（地図） ○10～12世紀初めの貴族と武士の動き（年表） 	<ul style="list-style-type: none"> ○将軍にあいさつをする大名たち（「徳川盛世録」より絵） ○主な大名の配置（地図） ○領地の割合（安藤博「徳川幕府県治要略」より円グラフ） ○江戸幕府成立前後の主な動き（年表） ○徳川家康（絵） ○徳川家康がまつられる日光東照宮 ○江戸幕府のしくみ（図表） ○徳川氏の系図（系図） ○取りつぶされた大名の数（藤野保「幕藩体制史の研究」より図表） ○武家諸法度（史料）

自由社	<ul style="list-style-type: none"> ○春日大社に着いた白河上皇と、お供の貴族、警備の武官、僧侶たち（「春日権現験記絵」） ○源氏・平氏の系図と武士の争乱（系図） ○平治の乱（「平治物語絵巻」） ○院政時代の天皇の系図（系図） ○歴史の言葉 上皇・法皇・院・院政（解説文） 	<ul style="list-style-type: none"> ○徳川家康（絵） ○関が原合戦図屏風（絵） ○武家諸法度（史料） ○江戸初期の主な大名の配置（地図） ○徳川家の系図（系図）
育鵬社	<ul style="list-style-type: none"> ○地方の武士の様子（「粉河寺縁起絵巻」） ○武士団のしくみ（武士団の構成図） ○地方の戦乱と武士団（地図） ○中尊寺金色堂（写真） ○平将門像（写真） ○荘園公領制（図表） 	<ul style="list-style-type: none"> ○徳川家康（絵） ○江戸城（「江戸図屏風」） ○江戸幕府のしくみ（図表） ○江戸初期の主な大名の配置（地図） ○徳川氏の系図（系図） ○武家諸法度（史料）
学び舎	<ul style="list-style-type: none"> ○悪僧と戦う武士（「春日権現験記絵」） ○平氏と源氏の系図（系図） ○地方の有力者の館（「粉河寺縁起絵巻」） ○東国と瀬戸内の反乱（地図） ○後白河上皇（絵） ○平清盛（絵） 	<ul style="list-style-type: none"> ○1590年代ごろの江戸（内藤昌・穂積和夫「江戸の町」より地図） ○江戸の古地図（地図） ○江戸城（「江戸図屏風」） ○石切り場（「石切り図屏風」） ○大名の配置と石高（地図） ○幕府と大名の石高（円グラフ） ○加賀藩大名行列の経路（地図） ○武家諸法度（史料）
令書	<ul style="list-style-type: none"> ○公領・荘園の模式図 ○武士団の仕組み（図） ○天皇・源氏・平氏関係図（系図） 	<ul style="list-style-type: none"> ○関が原合戦図屏風（絵） ○徳川家康（絵） ○江戸幕府の職制（図表） ○江戸時代中期の領地の割合（円グラフ） ○江戸時代中期の幕府の財政収入（円グラフ） ○禁中並公家諸法度（史料） ○武家諸法度（史料） ○江戸図屏風（絵）

【社会（歴史的分野）】聴覚障害

観点	☆学習のめあてが長文で示された内容がある。
対象・方法	近世の日本と世界「江戸幕府の成立と対外関係」における、めあて（学習課題）が8文節以上となっている事例

「江戸幕府の成立と対外関係」	
東 書	<p>第4章 近世の日本 (p98~143)</p> <p>第2節 江戸幕府の成立と対外政策の変化</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 江戸幕府の成立と支配の仕組み 4文節 2. 貿易の振興から「鎖国」へ 5文節 3. 江戸時代の対外関係 5文節 4. 琉球王国やアイヌ民族との関係 6文節 5. さまざまな身分と暮らし 4文節 <p>☆該当なし</p>
教 出	<p>第4章 近世の日本と世界 (p96~142)</p> <p>第3節 幕藩体制の確立と「鎖国」</p> <ol style="list-style-type: none"> 8. 泰平の世の土台づくり 6文節 9. 日本町から出島へ 5文節 10. 海外に開かれた窓口 7文節 11. 琉球・蝦夷地を通じた国際関係 8文節 「琉球王国と 薩摩藩、 アイヌの 人たちと 松前藩の 関係は、 どのような ものだっ たでしょうか」 12. 身分ごとに異なる暮らし 6文節 <p>☆該当箇所 1</p>
帝 国	<p>第4章 武家政権の展開と世界の動き (p105~160)</p> <p>第3節 武士による全国支配の完成</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 幕藩体制の始まり 8文節 「江戸幕府は 大名や 朝廷を 統制する ために どのような しくみを つくったのだ ろうか」 2. 朱印船貿易から貿易統制へ 9文節 「幕府は、 盛んになっ ていた 貿易や キリスト教の 布教に、 どのように 対処し て いったのだろうか」 3. 四つに絞られた貿易の窓口 8文節 「幕府は、 貿易に ついて どこを 窓口とし、 どのように 関わって いったのだろ うか」 4. 琉球王国とアイヌ民族への支配 7文節 <p>☆該当箇所 3</p>
山 川	<p>第4章 近世の日本 (p102~153)</p> <p>第3節 幕藩体制の確立</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 江戸幕府の全国支配 ①5文節 ②6文節 2. 江戸時代の社会の仕組み ①6文節 ②9文節 「百姓と 町人は、 それぞれ 何に たずさわった 人たちで、 どのような 暮らしを していたのだろうか」 3. 江戸時代初期の外交と貿易 ①5文節 ②6文節 4. 江戸時代の対外関係 ①7文節 ②7文節 <p>☆該当箇所 1</p>

日文	<p>第4編 近世の日本と世界 (p104～153) 第2節 江戸幕府の成立と東アジア 1. 全国支配のしくみ 5文節 2. 身分と職業が決められた社会 6文節 3. 朱印船貿易から鎖国へ 4文節 4. 国外に開かれた四つの窓口 7文節 5. 周辺地域との関係 7文節</p> <p>☆該当なし</p>
自由社	<p>第3章 近世の日本 (p105～148) 第2節 江戸幕府の政治 37. 江戸幕府の成立と大名統制 4文節 38. 朱印船貿易から鎖国へ 5文節 39. 鎖国日本の4つの窓口 10文節 「鎖国下でも 幕府の 統制の もとで 貿易は 活発に 行われたが、 それは どのよ うな しくみだったのだろうか」 40. 江戸の社会の平和と安定 5文節 41. 綱吉の政治と元禄文化 7文節</p> <p>☆該当箇所 1</p>
育鵬社	<p>第3章 近世の日本 (p96～145) 第3節 江戸幕府の政治 1. 江戸幕府の成立 5文節 2. 「鎖国」への道 5文節 3. 「鎖国」の時代に開かれていった窓口 5文節 4. 身分制度の確立 7文節</p> <p>☆該当なし</p>
学舎	<p>第3部 近世 (p86～135) 第4章 世界がつながる時代 (7) 江戸の町づくりー江戸幕府と大名ー 6文節、5文節 (8) 日本町が消えるー江戸幕府の外交ー 4文節、7文節</p> <p>☆該当なし</p>
令書	<p>第4章 近世 (p183～268) 二 江戸時代 イ. 関が原との全国の統制 5文節 ロ. 朱印船貿易から鎖国へ 4文節 ハ. 鎖国下の対外窓口 7文節、5文節 ヲ. 押し寄せる欧米諸国 8文節、5文節 「清は 欧米列強の 進出に どのように 対応し、 どのような 扱いを うけたのだろ う。」 カ. 幕府に下った「海防の勅」 5文節 ヨ. ペリーの来航と開国 7文節</p> <p>☆該当箇所 1</p>

【社会（歴史的分野）】 肢体不自由・病弱

観点	○同時代の世界の情勢を俯瞰できるような図や年表を用いて示されている内容がある。
対象・方法	近世の日本「世界の動きと統一事業」において、日本の情勢と世界の情勢の比較や、関係性を表す図表やイラストを用いて為されている事例

	日本と世界の情勢を俯瞰できる図表等	日本と世界の情勢との関連性を示す図表等
東書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 16 世紀ごろの世界（地図） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1490 年にドイツで作られた世界地図（写真） ・ オランダ東インド会社のマークが入った有田焼（写真） ・ 南蛮人の来航（写真） ・ オルテリウス「世界の舞台」（写真） ・ 天正遣欧使節（写真） ・ 17 世紀前半に作られた薩摩焼の茶碗（写真） ・ 文禄・慶長の役（地図） ・ 中国の三弦と琉球の三線と三味線（写真） ・ ローマ字で書かれた「平家物語」（写真）
教出	<ul style="list-style-type: none"> ・ これから学習する時代（年表） ・ 16 世紀ごろの世界（地図） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本史の対応年表（年表・毎頁） ・ 1490 年につくられた世界地図（写真） ・ 日本に来航した南蛮船と南蛮人（写真） ・ 堺の鉄砲鍛冶（写真） ・ キリスト教の広まり（地図） ・ 天正遣欧使節（写真） ・ 地球儀（写真） ・ 石見銀山の坑道跡（写真） ・ イタリアで描かれた伊東マンショの肖像画（写真） ・ 日本軍の進路（地図） ・ 有田焼（写真） ・ キリシタン版「平家物語」（写真） ・ 中国の三弦、琉球の三線、日本の三味線（写真）
帝国	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界とのつながりを考えよう 地図編③ ・ 16 世紀初めごろの世界（イラスト・地図） ・ 16～17 世紀の世界の銀の動きと石見銀山の銀でつくられた銀貨（地図・写真） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本史の対応年表（年表・毎頁） ・ アメリカ大陸到達前の地図（写真） ・ 日本にやって来た南蛮人（写真） ・ 国友の鉄砲と堺の鉄砲鍛冶（写真） ・ 大友義鎮の印章（写真） ・ タイムトラベル⑦ ・ 安土桃山時代を眺めてみよう（イラスト） ・ 東南アジア貿易の輸入品（写真） ・ 秀吉が愛用した扇（写真） ・ バテレン（宣教師）追放令（1587 年）（抜粋文） ・ 文禄・慶長の役の進路（地図） ・ 地球儀（写真） ・ 天正遣欧少年使節（写真） ・ 活版印刷に使用された活字（写真） ・ ローマ字で印刷された本（写真） ・ 有田焼の茶碗（写真） ・ 三味線を弾く人とすごろくで遊ぶ人々（写真）

山川	<ul style="list-style-type: none"> ・第4章 近世の日本（年表） ・大航海時代とヨーロッパの海外進出（地図） ・16世紀のアジア（地図） ・16世紀の世界（イラスト・地図） 	<ul style="list-style-type: none"> ・南蛮屏風（写真） ・倭寇図巻（写真） ・イエズス会宣教師によってつくられた日本地図（写真） ・天正遣欧使節となった四人の少年（写真） ・バテレン（宣教師）追放令（一部要約） ・日本軍の進路（地図） ・有田焼（写真） ・三味線の基となった沖縄の蛇皮線（三線）（写真） ・キリシタン版（天草版）『平家物語』（写真） ・現在に残るポルトガル語系の外来語（図）
日文	<ul style="list-style-type: none"> ・第4編「近世の日本と世界」の動き（年表） ・15世紀の日本と世界（地図） ・ヨーロッパ人の新航路の開拓（地図） ・主な貿易と作物のつながり（地図） 	<ul style="list-style-type: none"> ・イスラム教とキリスト教の世界（地図） ・天正遣欧少年使節（写真） ・堺の鉄砲鍛冶（写真） ・南蛮貿易のようす（写真） ・文禄・慶長の役での日本軍の主な進路（地図） ・安土桃山時代の服装（写真） ・有田焼（写真）
自由社	<ul style="list-style-type: none"> ・大航海時代（地図） ・宣教師が見た日本（コラム） 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本史の対応年表（年表・毎頁） ・堺の鉄砲鍛冶 和泉名所図絵（写真） ・南蛮屏風 狩野内膳筆（写真） ・天正遣欧少年使節（写真） ・バテレン追放令（一部要約） ・秀吉とフェリペ2世（コラム・写真） ・朝鮮出兵地図（地図）
育鵬社	<ul style="list-style-type: none"> ・16世紀ごろの世界（地図） 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本史の対応年表（年表・毎頁） ・イエズス会が布教した地域（地図） ・南蛮貿易（写真） ・当時の鉄砲（写真） ・フォペルの地球儀（写真） ・天正遣欧少年使節（写真） ・バテレン追放令（一部要約） ・朝鮮出兵の地図（地図） ・有田焼（写真） ・世界図屏風（写真） ・彦根屏風（写真） ・日本語とポルトガル語の交流（表）
学び舎	<ul style="list-style-type: none"> ・海でつながる世界（地図・写真） 	<ul style="list-style-type: none"> ・南蛮屏風にえがかれたポルトガル人（写真） ・ヨーロッパ人の新航路開拓（地図） ・南蛮屏風にえがかれた港町（写真） ・釜山城を攻める日本軍（写真） ・日本軍の侵攻路と明軍・義兵の動き（地図） ・蔚山城に立てこもる日本軍（写真）
令書	<ul style="list-style-type: none"> ・該当なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・南蛮人渡来図（右隻）（写真）

【社会（歴史的分野）】 肢体不自由・病弱

観点	○重要語句の説明が実物の写真を用いて示されている内容がある。
対象・方法	中世の日本「武家政治の成立とユーラシアの交流」において、重要語句となっている文化財や史料、史跡等を実物の写真で示している事例

	重要語句に関連する掲載写真	掲載サイズ
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ・平治の乱 ・都の武士と地方の武士 ・武士団 ・白河上皇と警備する武官 ・現在の鎌倉 ・定期市の様子 ・東大寺南大門 ・金剛力士像（吽形） ・説教をする法然 ・一遍の踊念仏 ・国王に帝冠をあたえるローマ教皇 ・元軍との戦い 	<ul style="list-style-type: none"> 68 mm×116 mm 46 mm×113 mm 34 mm×53 mm 85 mm×193 mm 76 mm×145 mm 46 mm×164 mm 53 mm×81 mm 89 mm×47 mm 47 mm×105 mm 50 mm×69 mm 45 mm×57 mm 92 mm×209 mm
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ・平治の乱 ・福岡の市 ・都の警備に当たる武官 ・春日大社に到着した白河上皇 ・空から見た現在の鎌倉 ・武士の館 ・東大寺南大門 ・金剛力士像（吽形） ・教えを説く法然 ・踊念仏をする一遍 ・元軍と戦う御家人 	<ul style="list-style-type: none"> 87 mm×176 mm 147 mm×225 mm 54 mm×147 mm 72 mm×153 mm 74 mm×115 mm 93 mm×160 mm 46 mm×83 mm 83 mm×54 mm 58 mm×156 mm 69 mm×81 mm 83 mm×191 mm
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ・平治物語絵巻 ・春日大社に到着した白河上皇 ・武士の館 ・東大寺南大門 ・金剛力士像（吽形） ・『平家物語』を題材にした江戸時代の『源平合戦図屏風』 ・踊り念仏 ・元軍と戦う武士 	<ul style="list-style-type: none"> 98 mm×221 mm 93 mm×200 mm 84 mm×146 mm 41 mm×60 mm 115 mm×64 mm 94 mm×130 mm 121 mm×200 mm 75 mm×186 mm
山 川	<ul style="list-style-type: none"> ・平治の乱 ・鎌倉 ・伯耆国東郷荘の下地中分図 ・備前国福岡市の様子 ・信濃国伴野市の様子 ・東大寺南大門 ・金剛力士像（吽形） ・踊念仏 ・文永の役 ・弘安の役での海戦 ・悪党 	<ul style="list-style-type: none"> 67 mm×210 mm 71 mm×94 mm 79 mm×63 mm 64 mm×127 mm 42 mm×63 mm 65 mm×105 mm 65 mm×38 mm 49 mm×63 mm 45 mm×118 mm 43 mm×123 mm 50 mm×50 mm

日文	<ul style="list-style-type: none"> ・地方の武士 ・都の武士 ・鎌倉 ・鎌倉時代の武士の館 ・市のにぎわい ・東大寺南大門 ・金剛力士像 吽形 ・踊念仏 ・元軍と戦う肥後の御家人の竹崎季長 	<ul style="list-style-type: none"> 89 mm × 190 mm 51 mm × 141 mm 91 mm × 132 mm 91 mm × 155 mm 42 mm × 134 mm 32 mm × 71 mm 127 mm × 70 mm 126 mm × 208 mm 59 mm × 146 mm
自由社	<ul style="list-style-type: none"> ・春日大社に着いた白河上皇と、お供の貴族、警備の武官、僧侶たち ・平治の乱 ・空から見た当時の鎌倉 ・一遍上人絵伝 ・蒙古の襲来（文永の役）で元軍と戦う御家人 ・元寇防塁 ・民衆に教えを説く法然 ・金剛力士像 吽形像 	<ul style="list-style-type: none"> 72 mm × 210 mm 82 mm × 127 mm 86 mm × 113 mm 126 mm × 210 mm 96 mm × 200 mm 88 mm × 102 mm 50 mm × 78 mm 82 mm × 52 mm
育鵬社	<ul style="list-style-type: none"> ・地方の武士の様子 ・貴族や武官を従える白河上皇 ・平治の乱 ・鎌倉の復元模型 ・市のようす ・東大寺南大門 ・金剛力士像（吽形） ・踊念仏 ・元軍と戦う武士 ・弘安の役で元軍の船を襲う竹崎季長たち 	<ul style="list-style-type: none"> 82 mm × 147 mm 75 mm × 198 mm 32 mm × 54 mm 115 mm × 87 mm 86 mm × 155 mm 60 mm × 95 mm 83 mm × 43 mm 42 mm × 81 mm 77 mm × 173 mm 39 mm × 82 mm
学び舎	<ul style="list-style-type: none"> ・悪僧と戦う武士 ・年貢を納める人たち ・紀伊国栢田荘の絵図 ・鎌倉 ・地頭の任命文書 ・念仏を唱えながらおどる僧たち ・東大寺南大門・金剛力士像（吽形） ・福岡の市 	<ul style="list-style-type: none"> 92 mm × 204 mm 131 mm × 209 mm 92 mm × 127 mm 57 mm × 50 mm 65 mm × 92 mm 98 mm × 160 mm 77 mm × 44 mm 88 mm × 181 mm
令書	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉御家人の作戦会議 ・文永の役『蒙古襲来絵詞』前巻 ・弘安の役『蒙古襲来絵詞』後巻 ・一遍聖絵 ・東大寺南大門 ・一遍の踊念仏 	<ul style="list-style-type: none"> 63 mm × 122 mm 32 mm × 111 mm 26 mm × 111 mm 74 mm × 122 mm 74 mm × 111 mm 68 mm × 80 mm

社会（公民的分野）

表記・表現及び使用上の便宜（各障害種共通）

観点 略称	特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮について	判型 総ページ数	図・表等 の掲載数
2 東書	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の観点から、立体感や陰影のある表現を省いた「フラットデザイン」を採用し、学習者が学習に必要な情報に集中できます。 ・資料の掲載部分を、文字などの読み取りに支障のない地色を敷いて区別することで、紙面の構造を明確化し、特別支援教育の観点での学習のしやすさを向上させています。 ・教科書全体を通してユニバーサルデザインフォント（UDフォント）を使用し、文字の視認性を高め、読み取りやすさを向上させています。 ・色覚特性がある生徒にも見分けやすい色を使用するとともに、グラフや地図などでは、凡例を使用せずに図中に直接示すようにしたり、読み取りづらい破線や点線を極力減らしたりしました。 ・小さな文字が読み取りにくい生徒に配慮し、読み取りやすいゴシック体のふりがなを採用し、視認性を確保しながら黒色を抑えることで、紙面の雑然とした印象を軽減し、読み取りやすさを向上させています。 	A B ・ 246	345
17 教出	<ul style="list-style-type: none"> ・見開きを単位とした紙面で、本文と資料をフォントやポイントの違いにより明確に区分したり、整理・パターン化したレイアウトでデザインしたりすることで、視認性がより高まるように配慮しています。 ・色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに基づく配色です。 ・紙面でもデジタル画面でも見やすく読みやすいユニバーサルデザイン・フォントを使用しています。 ・キャラクターのふきだしの文章は、読みやすさを考慮して改行しています。 	A B ・ 269	300
46 帝国	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の専門家からの助言をもとに、図版に背景色や囲み線をつけるなどして図版と本文を区別しやすくするなど、インクルーシブ教育へ配慮した編修を行っています。 ・文字は、読みやすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。また、重要語句を示すゴシック体の太さやルビの見やすさにも工夫を凝らしました。 ・配色は、色覚特性に配慮した識別しやすい色づかいとなるように工夫しています。また、図版に模様や線、記号などを使用することによって、色以外からも情報を読み取れるようにしています。 	A B ・ 262	238
116 日文	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書全体を通して視認性の高いユニバーサルデザインフォントを使用し、振り仮名には判読しやすいゴシック体を使用しています。また、グラフ・地図等の図版は、色覚に特性のある生徒も読み取りが可能になるようにCUDに配慮した配色や処理を施しています。 	A B ・ 274	318
225 自由社	<ul style="list-style-type: none"> ・記載なし 	A B 変型 ・ 270	154
227 育鵬社	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の観点から、資料の掲載部分には罫線を引いて識別しやすくしました。 ・グラフや地図などでは、色覚特性がある生徒にも見分けやすい色を使用しました。 ・資料等のレイアウトでは、見分けがつけやすいように極力凹凸が発生しない工夫をしました。 ・図版は色覚特性を踏まえて、判別しやすい色の使用や表示の工夫により、生徒が見やすいように配慮しました。 ・ふりがなにはゴシック体を用い、小さな文字が読み取りにくい生徒も読みやすいように配慮しました。 	A B ・ 262	303

※1 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮：各発行者の編修趣意書より抜粋。

※2 図・表等の掲載数：各発行者の教科書（100ページ）から、内容理解を補完するための図及びグラフ・表を計上。

【社会（公民的分野）】聴覚障害

観点	○重要語句について、写真やイラスト、図表とともに説明された内容がある。
対象・方法	対象：学習指導要領 私たちと現代社会「現代社会を捉える枠組み」及び 私たちと経済「消費者の保護」 方法：重要語句が写真やイラスト、図表とともに説明されている事例の数を掲載する。

	私たちと政治「現代社会を捉える枠組み」	私たちと経済「消費者の保護」
東書	<p>社会集団の中で生きる私たち (p24～25) 【写真⑤ イラスト① 図① 表②】</p> <p>○家族・社会集団</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真「浜辺のゴミを拾う中学生」 ・イラスト「社会集団の例」 ・図「日本国憲法に定められた家族」 ・表「旧民法と新民法の比較」 ・写真「憲法第24条の起草者」 <p>○対立と合意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真「国会での審議の様子」 ・写真「協力関係を結ぶことに合意する日本とアメリカの自動車メーカーの代表」 ・写真「SDGs（持続可能な開発目標）を承認した国際連合の総会」 ・表「この教科書で掲載している対立が起こり得る課題」 	<p>契約と消費生活 (p134～135) 【写真② イラスト③】</p> <p>○契約とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラスト「日常生活のさまざまな場面と契約」 ・イラスト「契約とは（売買契約の場合）」 <p>○表示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラスト「さまざまな広告」 ・写真「食品表示」 <p>○事例・年表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真「食材偽装問題を報じる新聞記事」
教出	<p>さまざまな人と生きる (p28～29) 【写真② イラスト② 表①】</p> <p>○家族・社会集団</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラスト「ある家族のスマートフォンの使用をめぐるルール」 ・イラスト「社会集団の広がり」と主なルール」 <p>○対立と合意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表「話し合いと決定の主な方法」 ・写真「築100年ほどの町屋を改装して開業したホテル」 ・写真「景観に配慮した外観で建てられたコンビニエンスストア」 	<p>消費者を守るもの、支えるもの (p134～135) 【写真② イラスト② 表② グラフ①】</p> <p>○契約とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真「暮らしの中のさまざまな「契約」の場面」 <p>○事例・年表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表「消費者を守るための制度のあゆみ」 ・グラフ「消費者相談の受付件数の推移とその内訳」 ・写真「穴を開ける改良がされたカプセル」 ・表「悪質商法の例」 <p>○消費者の権利・保護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラスト「消費者契約法における契約取り消しの主な条件」 ・イラスト「クーリング・オフの記入例」
帝国	<p>社会的存在として生きる私たち (p16～17) 【写真① イラスト② 表① グラフ②】</p> <p>○家族・社会集団</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真「防災備蓄倉庫」 ・イラスト「社会集団の例」 ・グラフ「家族の役割」 <p>○対立と合意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表「各地区の防災備蓄倉庫数と特徴」 ・グラフ「各地区の人口と人口構成比」 ・イラスト「家事分担での『win-win』の関係の例」 	<p>契約と消費者問題 (p126～127) 【写真① イラスト③ 表② グラフ①】</p> <p>○表示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真「異なるアイスクリーム類の表示」 ・表「異なるアイスクリーム類の表示の基準」 <p>○事例・年表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラフ「主な消費者問題の相談内容」 ・表「悪質商法の例」 <p>○消費者の権利・保護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラスト「クーリングオフの通知の例と制度の内容」 ・イラスト「PL法制定の背景」 ・イラスト「商品につけられる主な認証ラベル」

<p>日 文</p>	<p>社会における私たちときまりの意義 (p26~27) 【写真③ イラスト⑦ 表① グラフ①】 ○家族・社会集団 ・写真「社会集団のきまりや役割の例」③ ・グラフ「家族構成の変化」 ○きまり・法律等 ・イラスト「さまざまな場面でのきまり」③ ・イラスト「あなたはどうかえますか？」③ ・表「慣習・道徳・法」 ・イラスト「家族にかかわる民法の変化」</p>	<p>消費者の権利と自立を支える政府のはたらき (p136~137) 【写真① イラスト④】 ○契約とは ・イラスト「あなたも契約をしている」 ○消費者の権利・保護 ・写真「消費者ホットラインの広報資料」 ・イラスト「消費者の選択」 ・イラスト「商品選択のめやすとなるマークの例」 ・イラスト「欠陥商品の被害から消費者を守るPL法」</p>
<p>自 由 社</p>	<p>家族の役割と形態の変化 (p24~25) 【写真① イラスト① グラフ②】 ○家族・社会集団 ・写真「三世代家族の散歩」 ・グラフ「家庭に求めている役割」 ・グラフ「家族のタイプの割合」 ・イラスト「いろいろな家族のタイプ」</p>	<p>消費者の保護 (p150~151) 【イラスト① 図① 表①】 ○事例・年表 ・表「消費生活に関する出来事」 ○消費者の権利・保護 ・イラスト「品質保証マークの例」 ・図「消費者契約によってとり消すことができる例」</p>
<p>育 鵬 社</p>	<p>家族の一員としての私たち (p26~27) 【写真② イラスト② グラフ④】 ○家族・社会集団 ・写真「祭りで神輿を担ぐ中学生」 ・グラフ「つながりの強さを感じる時」 ・グラフ「家庭の役割」 ・イラスト「親等図」 ・イラスト「三世代世帯(上)と核家族世帯」 ・グラフ「家族構成の変化」 ・グラフ「共働き世帯数の推移」 ・写真「映画『朝が来る』」</p>	<p>消費者の権利と保護 (p126~127) 【イラスト⑤ 図① 表①】 ○契約とは ・イラスト「契約はいつ成立するのか」 ・イラスト「売買と契約」 ○消費者の権利・保護 ・イラスト「製造物責任法(PL法)」 ・図「ケネディ大統領による4つの消費者の権利」 ・イラスト「クーリング・オフのしかた」 ・イラスト「消費者生活センターへの相談」 ○事例・年表 ・表「20歳未満の消費者からの相談が多かった財やサービス」</p>

【社会（公民的分野）】聴覚障害

観点	☆学習のめあて（学習課題）が長文で示された内容がある。
対象・方法	対象：学習指導要領 私たちと現代社会「私たちが生きる現代社会と文化の特色」 方法：めあて（学習課題）が 10 文節以上となっている事例の数を掲載する。

私たちと現代社会「私たちが生きる現代社会と文化の特色」	
東書	第1章 現代社会と私たち (p8～31) ☆一文が10文節以上の文(11文中1文) ・「みんなが納得できる解決策を作るために、どのような視点で考えればよいのでしょうか。」(10文節)
教出	第1章 私たちの暮らしと現代社会 (p16～33) ☆一文が10文節以上の文(8文中0文) ・該当なし
帝国	第1部 現代社会 (p4～21) ☆一文が10文節以上の文(9文中3文) ・「持続可能な社会の実現に向けて、私たちはどのようなことを大切にしていけばよいのだろうか。」(11文節) ・「よりよい合意をつくるために、私たちはどのような見方・考え方を踏まえる必要があるのだろうか。」(10文節)
日文	第1編 私たちと現代社会 (p8～33) ☆一文が10文節以上の文(10文中1文) ・「持続可能な社会を実現するために、私たちはどのような視点をもつことが大切でしょうか。」(10文節)
自由社	序章 現代日本の自画像 (p2～13) 第1章 個人と社会生活 (p24～39) ☆一文が10文節以上の文(13文中4文) ・「現代日本がかかえる問題を、解決する手がかりとなる私たちの文化の伝統とは何か。」(10文節) ・「私たちが一生のなかで所属する共同社会と利益社会は、どのような特徴をもっているだろうか。」(10文節) ・「対立を解消して合意をつくり上げる場合に必要と考え方である効率と公正とはどういうものであろうか。」(12文節) ・「決まりの決め方にはどういうものがあるか、決まりにはどんな種類があるか、どのようなことを定めればよいだろうか。」(13文節)
育鵬社	第1章 私たちの生活と現代社会 (p12～33) ☆一文が10文節以上の文(10文中1文) ・「意見が対立した場合に、みんなの合意を得るためにはどのように考えたらよいのでしょうか。」(10文節)

【社会（公民的分野）】 肢体不自由・病弱

観点	○情報機器の活用等に関わる内容がある。
対象・方法	「現代社会」及び「経済」の内容を取り扱った章において、本文の内容及び資料やコラムの解説文、写真、イラスト、図表、グラフ

	「現代社会」	「経済」
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○スマートフォンによる電子決済 (p7 写真) ○デジタル機器を活用した授業 (p7 写真) ○ヒト型ロボットの動作をプログラミングする中学生 (p8 写真) ○オンラインで学ぶ学生たち (p12 写真) ○すし店のメニューを注文するためのタブレット端末 (p12 写真) ○タブレットを手にバレーボール日本代表の試合で選手に指示をする監督 (p12 写真) ○オンライン診療 (p12 写真) ○日本の情報機器の普及率の推移 (p12 グラフ) ○人工知能 (p12 資料：用語解説) ○「情報化とは」 (p12 本文) ○料理を配膳するロボット (p13 写真) ○メタバース上の月面に展開する仮想店舗 (p13 イラスト) ○多機能携帯電話 (スマートフォン) (p13 写真) ○情報モラルに反する行為の例 (p13 イラスト) ○「情報化による社会の変化」 (p12～13 本文) ○情報化の課題 (p13 本文) ○新しい情報技術で社会が変わる (p14～15 コラム、写真) ○装着型サイボーグ (HAL) の開発 (p19 コラム、写真) 	<ul style="list-style-type: none"> ○「商品の選択とより良い消費生活」 (p133 本文) ○インターネットで好きなアーティストの曲を選ぶ (p134 イラスト) ○インターネットでの通信販売のトラブル (p136 イラスト) ○契約と支払い方法のあれこれ (p138～139 コラム、イラスト、写真、グラフ) ○POS (販売時点情報管理) システムの仕組み (p141 図) ○「流通の合理化」 (p141 本文) ○初期のコンピューターと現代のパソコン (p143 解説文、写真) ○インターネット通信販売会社のA社の物流センター (p143 写真) ○「起業とベンチャー企業」 (p144～p145 本文) ○ベンチャー企業 (p145 解説文) ○投資家になって考えてみよう IT関係のベンチャー企業 (p147 解説文、イラスト) ○「ワーク・ライフ・バランスの実現」 (p150～151 本文) ○インターネットオークション (p152 解説文、図) ○インターネット銀行の例 (p158 解説文、イラスト) ○世界で進むキャッシュレス決済 (p159 解説文、グラフ、写真) ○「預金通貨」 (p158～159 本文)

<p style="text-align: center;">教 出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○遠隔操作されたロボットがサービスを提供するカフェ (p13 写真) ○自動配送ロボット (p15 写真) ○店員のいないレジ (p15 写真) ○「グローバル化」とは (p16 本文) ○新たな社会「Society5.0」 (p18 解説文、イラスト) ○自動搬送ロボット (p18 写真) ○主な情報通信機器の保有率の推移 (p18 グラフ) ○視覚障がい者誘導用ブロックに貼られた二次元コード (p18 写真) ○最寄りの開設避難所への避難ルートの検索などができるシステム (p19 写真) ○ドローンで医薬品を配送する実証実験 (p19 写真) ○災害情報が表示された「防災情報共有システム」の画面 (p19 写真) ○インターネットに関わる犯罪の検挙件数の推移 (p19 グラフ) ○「情報化とは」 (p18 本文) ○「進化する情報社会」 (p18～19 本文) ○「情報社会における課題」 (p19 本文) ○分身ロボットが働くカフェ (p22 解説文、写真) ○分身ロボットを操作する人 (p22 解説文、写真) ○遠隔手術の実証実験 (p22 解説文、写真) ○「科学・技術の進歩と私たちの暮らし」 (p22 本文) ○ある家族のスマートフォンの使用をめぐるルール (p28 資料、イラスト) ○オンライン診療 (p33 解説文、写真) 	<ul style="list-style-type: none"> ○レジでの買い物 (p129 写真) ○電子マネーによる支払い (p133 解説文、写真) ○「さまざまな支払いの手段」 (p133 本文) ○暮らしの中のさまざまな「契約」の場面 (p134 写真) ○悪質商法の例 (p135 表) ○物流倉庫内で商品を自動で運ぶロボット (p136 解説文、写真) ○小売業の売り上げの推移 (p136 解説文、グラフ) ○POS (販売時点情報管理) システムのしくみ (p136 解説文、図、イラスト、写真) ○「流通業の役割」 (p136 本文) ○野菜や果物が私たちのもとに届くしくみと、流通に関わる主な仕事 (p137 図、イラスト) ○「変わってきた流通と消費」 (p137 本文) ○バーチャルフィッティング (p139 解説文、写真) ○クラウドファンディングのしくみ (p141 解説文、図、イラスト) ○日本の企業が開発した世界初の医療機器 (p141 解説文、写真) ○在宅ワークで働く女性 (p146 解説文、写真) ○なぜ、「契約」について学ぶ必要があるのだろう (p148～149 コラム、写真、グラフ) ○通信サービス各社の看板が並ぶ家電量販店 (p152 解説文、写真) ○携帯電話の音声通話の接続料の推移 (p152 解説文、グラフ) ○ICT 端末 (p155 解説文) ○ブロックチェーン (p155 解説文) ○スマートフォンを利用した送金 (p155 解説文、写真) ○「銀行の役割」 (p154～155 本文) ○ドローンによる送水管の点検 (p162 写真)
--	---	---

<p>帝国</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○障がいのある人などがリモートでロボットを操作して接客するカフェ (p1 写真) ○海外で行われているサッカーの試合をスマートフォンで視聴する人 (p1 写真) ○メタバースの発展 (p6 解説文、イラスト) ○SNS (p6 解説文) ○主な情報通信機器の保有状況 (p6 グラフ) ○「情報社会とは」 (p6 本文) ○「情報化の進展」 (p6～7 本文) ○情報化と防災・減災 (p7 解説文、写真) ○インターネット利用に伴う被害の経験 (p7 グラフ) ○システム障害を伝える案内 (p7 写真) ○「情報社会で求められること」 (p7 本文) ○科学の進歩と文化 (p12 解説文、写真) ○情報通信技術を活用したまちづくり (p27 コラム、写真) 	<ul style="list-style-type: none"> ○スマートフォンを利用した支払い (p115 写真) ○暮らしのなかから経済を探してみよう (p116～117 イラスト) ○将来を見据えた消費の選択 (p123 本文) ○POS (販売時点情報管理) システム (p124 解説文、図、写真) ○「流通の変化」 (p124～125 本文) ○インターネットショッピングへの支出額の推移 (p125 グラフ) ○プラットフォームによる通信販売の例 (p125 解説文、図、イラスト) ○「消費と情報の関わり」 (p125 本文) ○契約について考えよう (p128～129 コラム、イラスト、図) ○ビッグデータを生かした経営戦略 (p137 コラム、写真) ○「競争が起きにくい状況」 (p136～137 本文) ○「仕事×休暇」のワーケーション (p140 解説文、写真) ○「仕事と生活の調和」 (p141 本文) ○広がる電子マネー (p148 解説文、写真) ○暗号資産って何? (p149 解説文、図、写真、イラスト) ○電子マネー決済金額と1円硬貨流枚数の推移 (p149 グラフ) ○QRコードを使った電子マネー (p149 写真) ○「デジタル通貨とは」 (p149 本文) ○首里城のクラウドファンディングのウェブサイト (p150 解説文、写真) ○フィンテックで便利になる生活 (p151 解説文、イラスト) ○「金融の新しい動き」 (p151 本文) ○学校にも使われている税金 (p156 解説文、写真) ○橋を点検するドローン (p160 解説文、写真) ○「これからの社会資本」 (p160 本文) ○介護現場の人手不足 (p163 解説文、写真) ○スマート農業とは? (p173 解説文、写真、グラフ) ○無人のコンビニエンスストア (p173 写真) ○ICTで建設現場を安全に (p180 コラム、写真)
-----------	---	--

<p style="text-align: center;">日 文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校の授業、eスポーツの高校選手権、遠隔診療 (p10 解説文、写真、イラスト) ○「情報化とは」、「情報化で変わる社会」 (p10～11 本文) ○ICT 社会への活用 (p11 解説文、写真、図) ○情報通信機器の保有率 (p11 グラフ) ○防災情報を伝えるタブレットの貸し出し (p11 解説文、写真) ○「情報化に生きるために」、「情報化を生かした防災への取り組み」 (p11 本文) ○カフェで働く分身ロボット (p14 解説文、写真) ○「持続可能な社会をつくるために」 (p15 本文) ○AI による高齢者の健康の見守り、オンライン面接 (p16 解説文、写真) ○タブレットによる水田管理 (p17 解説文、写真) ○ソーラーシェアリング (p17 解説文、写真) ○スーパーコンピューター「富岳」 (p18 解説文、写真) ○中世のまちなみを体験できる VR (p18 解説文、写真) ○「文化とは何だろう」 (p18 本文) ○きまりの変更について評価してみよう (p33 解説文、写真、イラスト) ○ウェブサービスの利用規約 (p33 解説文、イラスト) 	<ul style="list-style-type: none"> ○キャッシュレス決済 (p135 解説文、写真) ○「消費生活とお金」 (p135 本文) ○「消費者主権と消費者問題」 (p136～137 本文) ○「政府による消費者保護」 (p137 本文) ○SNS をきっかけに商品を購入した経験のある人 (p141 解説文、グラフ) ○さまざまなポイントカード (p141 解説文、写真) ○「情報化の消費者や企業への影響」 (p141 本文) ○AI カメラでの画像分析 (p145 解説文、写真) ○IT 人材が不足していると答えた企業の割合 (p145 グラフ) ○「知的資源と技術革新」 (p145 本文) ○テレワークで働く人 (p158 解説文、写真) ○あの職業、どうすればなれる？ゲームクリエイター (p161 解説文、写真)
<p style="text-align: center;">自 由 社</p>	<p>該当なし</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○決済 (p136 解説文)

<p style="text-align: center;">育 鵬 社</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○サブスクリプション・サービス (p14 解説文、写真) ○AI を活用した対話型のロボットコンシェルジュ (p14 解説文、写真) ○人工知能 (AI) の防災分野への活用 (p14 解説文、イラスト) ○「情報化とは」、「第四次産業革命の到来」 (p14 本文) ○「情報化と防災」 (p14～15 本文) ○シェアリングエコノミー (p15 コラム、図) ○サイバー犯罪の検挙件数 (p15 解説文、グラフ) ○全国の小学校～高等学校でのパソコンや携帯電話などによる中傷や嫌がらせの認知件数 (p15 解説文、グラフ) ○「情報化社会の課題」 (p15 本文) ○防災・減災と情報通信技術 (ICT) (p16～17 コラム、写真、グラフ、図表) ○スーパーコンピューター「富岳」 (p20 解説文、写真) ○科学技術の発達により期待されていること (p21 コラム、イラスト図) ○科学技術の発展で不安を感じる事 (p21 グラフ) ○つながりの強さを感じる時 (p26 グラフ) 	<ul style="list-style-type: none"> ○郵便局内に出店したコンビニエンスストアの無人決済店 (p117 写真) ○お金の歴史 (p120 解説文、写真) ○キャッシュレス社会の到来 (p125 コラム、グラフ) ○「さまざまな支払い方法」 (p125 本文) ○「消費者問題」 (p126 本文) ○20歳未満の消費者からの相談が多かった財やサービス (p127 解説文、グラフ) ○流通のしくみ (p128 写真) ○ドローン宅配の実証実験が行われている (p128 写真) ○「流通と商業」 (p128 本文) ○POS システム (p129 解説文、イラスト図) ○流通の合理化 (p129 イラスト図) ○おもな小売業の販売額の推移 (p129 グラフ) ○「流通の合理化」 (p129 本文) ○従来の産業区分ではとらえきれない産業 (p130 写真) ○「産業構造の変化」 (p131 本文) ○中学生が起業 (p133 コラム、写真) ○高度な自動運転実験を行うバス会社の自動運転 (p133 解説文、写真) ○「社会から求められる起業」 (p133 本文) ○さまざまなゲーム機 (p134 写真、イラスト) ○技術革新の例 (p134 解説文、写真) ○「競争と技術革新」 (p134 本文) ○国内の市場占有率 (シェア) でみる生産の集中 (p135 グラフ) ○人工知能 (AI) やロボットなどにとって代わられる可能性の高い職業・低い職業 (p138 イラスト) ○増えるフリーランス (p139 解説文、写真) ○「雇用と所得」 (p138～139 本文) ○「労働環境をとりまく変化」 (p139 本文) ○インターネット上で資金を直接集めるクラウドファンディングの事例 (p146 写真) ○フィンテック (p147 コラム、イラスト) ○「起業と金融」 (p147 本文) ○革新的な金融サービス (p148～149 コラム、写真、グラフ、図表、イラスト) ○法定通貨として採用される暗号資産 (仮想通貨) (p151 解説文、写真)
--	---	---

【社会（公民的分野）】 肢体不自由・病弱

観点	☆上肢の複雑な動きを必要とする内容がある。
対象・方法	「現代社会」及び「経済」の章における、上肢の複雑な動き（ペンを握る、書く、見続ける、身体のバランスを保持することを同時に行うことが必要な動作や移動）を必要とする学習課題や振り返り活動

	「現代社会」	「経済」
東書	<p>☆「みんなでチャレンジ 持続可能な社会について考えよう」では、ウェビングを使ってキーワードを線で結んだり、線を追加したりする活動。（p9）</p> <p>☆身の回りや身近な地域に、富士山に関連した物や場所がないか探す活動。（p18）</p>	<p>☆「みんなでチャレンジ お金の使い道を考えよう」では、表に記号を書き込む活動。二次元コードでのワークシートはある。</p> <p>☆身の回りに、環境ラベルの付いた商品がないか探す活動。（p137）</p> <p>☆流通関連業が、商品が消費者に届くまでの流通の働きのどこに位置づくか考える活動。（p140）</p> <p>☆「土地」「設備」「労働力」「商品」がさまざまな企業で生産される財やサービスの何に当たるか考える（p143）</p> <p>☆「スキル・アップ 需要量・供給量・価格の関係について考えよう」では、座標軸に整理する、当てはまる語句を選ぶ活動。二次元コードでのワークシートはない。（p153）</p> <p>☆「まとめの活動 ふりかえろう」では、表図に書き込む活動。二次元コードでのワークシートはある。（p177）</p> <p>☆「深めよう」では、Yチャートに書き込んで整理し、該当する項目に○を書き込む活動。二次元コードでのワークシートはある。（p178）</p> <p>☆「探求課題を解決しよう」では、自分の考えを書き込む活動。二次元コードでのワークシートはPDFである。（p179）</p>

<p>教出</p>	<p>☆自分たちが暮らす地域や通っている学校にも「現代社会の特徴を表す三つのキーワード」に関係するような場所がないか探す。(p14)</p> <p>☆「ウォーミングアップ! 公民」では、回答を記入欄に書き込む活動。二次元コードでは語句クイズがある(p15)</p> <p>☆「TRY! 避難所における課題を考えよう」のステップ3では、表に記入しながら話し合う。二次元コードでのワークシートはない。(p35)</p> <p>☆「STEP!①、STEP!②」では、第1章について記入欄に書き込んだり、書き込んだ部分に下線を引いたりする活動。二次元コードでのワークシートはない。(p37)</p> <p>☆「JUMP! 未来のためにできること[4]」では、思いつくことを書き出す活動。二次元コードでのワークシートはない。(p38)</p>	<p>☆「よりたくさんの給食を作るためには」では、記入欄に書き込む活動。二次元コードでのワークシートはない。(p130)</p> <p>☆「ウォーミングアップ! 公民」では、回答を記入欄に書き込む活動。二次元コードでは語句クイズがある。(p131)</p> <p>☆「公民の技 お小遣いの使いみちランキングを考えよう」では、表に書き込む活動。二次元コードでのワークシートは無い。(p132)</p> <p>☆「公民の技 需要と供給曲線について考えよう」では、どちらか一方に○印をつける活動。二次元コードでのワークシートはない。(p151)</p> <p>☆「公民の技 株価の動きを読み取ろう」では、記入欄に書き込む活動。二次元コードでのワークシートはない。(p157)</p> <p>☆「累進課税制度のしくみ」では、記入欄に書き込む活動。二次元コードでのワークシートはない。(p161)</p> <p>☆「学習のまとめと表現」では、記入欄に書き込む活動。教科書には記入欄の中心に設問の番号が記されている。二次元コードでは教科書の設問と異なるまとめワークがある。(p166)</p> <p>☆「STEP!①、STEP!②」では、第4章について記入欄に書き込む活動。二次元コードでのワークシートはない。(p167)</p>
<p>帝国</p>	<p>☆「アクティブ公民 現代社会の特色を考えよう」では、教科書に書き込んだり、ウェビングを作図したりする活動。二次元コードには、PDFでウェビング図はあり、ワークシートはない。(p5)</p> <p>☆「章の振り返り」ではクラゲチャートを作図したり、教科書に書き込んだりする活動。二次元コードには、PDFでクラゲチャート図があり、ワークシートはない。(p25)</p> <p>☆「探究学習への準備」では、表で整理する活動。二次元コードでのワークシートはない。(p26)</p>	<p>☆「アクティブ公民」では、表の空欄に記号を書き込む活動。二次元コードでのワークシートはない。(p123)</p> <p>☆「アクティブ公民 AL パン屋さんを起業してみよう TRY1、TRY2」では、別のページに記載されている資料を活用する活動。(p144~145)</p> <p>☆「ライフプランから金融を考えよう TRY1、TRY3」では、図表に記入したり、まとめたりする活動。二次元コードでのワークシートはない。(p154~155)</p> <p>☆「アクティブ公民 給付(受益)と負担をについて考えよう」では、座標軸に整理する活動。二次元コードには、PDFで座標軸はあり、ワークシートはない。(p165)</p> <p>☆「技能をみがく⑥」では、ツールミンモデルで自分の考えを整理する活動。二次元コードには、PDFでツールミンモデルはあり、ワークシートはない。(p167)</p> <p>☆「学習を振り返ろう 経済活動と私たち TRY2」では、表の空欄に矢印を記入する活動。二次元コードでのワークシートはない。(p175)</p> <p>☆「探究学習への準備」では、表で整理する活動。二次元コードでのワークシートはない。(p177)</p>

<p>日 文</p>	<p>☆「私たちが生きる現代社会 トライ」では、記入欄に書き込む活動。二次元コードでのワークシートはない。(p6)</p> <p>☆「明日に向かって私たちの社会参画」では、記入欄に書き込んだり、作図をしたりする活動。二次元コードでのワークシートはない。(p16～17)</p> <p>☆「章のまとめをしよう 語句の意味を確認しよう」では、記入欄に書き込む活動。二次元コードでのワークシートはない。(p22)</p> <p>☆「章のまとめをしよう ニュースを見方・考え方から見てみよう①」では、記入欄に書き込む活動。二次元コードでのワークシートはない。(p22)</p> <p>☆「章の問いに答えよう STEP3」では、記入欄に書き込む活動。二次元コードでのワークシートはない。(p23)</p> <p>☆「アクティビティ 合意する方法を考えよう」では、空欄に書き込む活動。二次元コードでのワークシートはない。(p29)</p> <p>☆「チャレンジ公民 公園づくりについて話し合おう」では、作図をする活動。二次元コードでのワークシートはない。(p34)</p> <p>☆「章のまとめをしよう 語句の意味を確認しよう」では、空欄に書き込む活動。二次元コードは教科書と同じ内容におけるワークシートはない。(p36)</p> <p>☆「章のまとめをしよう ニュースを見方・考え方から見てみよう」では、記入欄に書き込む活動。二次元コードでのワークシートはない。(p36)</p> <p>☆「章のまとめをしよう 章の問いに答えよう」では、空欄や図表に書き込む活動。教科書と同じ内容における二次元コードでのワークシートはない。(p37)</p>	<p>☆「景気と経済活動の関係」では、空欄に矢印を書き込む活動。二次元コードでのワークシートはない。(p152)</p> <p>☆「為替相場の影響」では、空欄に数字を書き込む活動。二次元コードでのワークシートはない。(p166)</p> <p>☆「アクティビティ 為替相場の変化の影響」では、空欄に書き込む活動。二次元コードでのワークシートはない。(p167)</p> <p>☆「章のまとめをしよう 章の問いに答えよう」では、空欄に書き込み、ピラミッドチャートを使う活動。二次元コードでのワークシートはない。(p169)</p> <p>☆「チャレンジ公民」では、チャートに印を付けたり、記入欄に書き込んだりする活動。二次元コードでのワークシートはない。(p184、185)</p> <p>☆「章のまとめをしよう 章の問いに答えよう」では、表を使って考えたり、空欄に書き込んだりする活動。二次元コードでのワークシートはない。(p187)</p>
<p>自 由 社</p>	<p>☆「やってみよう」では、表に書き込む活動。二次元コードはない。(p33)</p> <p>☆「アクティブに深めよう」では、カードに記入したり、分類したり、空欄に記入したりする活動。二次元コードはない。(p40)</p>	<p>☆「やってみよう」では、表に書き込む活動。二次元コードはない。(p129)</p> <p>☆「やってみよう」では、タウンページを利用しながら表に書き込む活動。二次元コードはない。(p137)</p> <p>☆「やってみよう」では、表に書き込む活動。二次元コードはない。(p143)</p> <p>☆「アクティブに深めよう」では、表や記入欄に書き込む活動。二次元コードはない。(p160～161)</p> <p>☆「アクティブに深めよう」では、書き出したり、企画書にまとめたりする活動。二次元コードはない。(p162～163)</p>

育 鵬 社	<p>☆「ルールの評価法」では、表に印を付ける活動。二次元コードでのワークシートはない。(p33)</p> <p>☆「現代社会のこれから」では、表や記入欄に書き込む活動。二次元コードでのワークシートはない。(p35)</p> <p>☆「学習のまとめ」では、空欄に書き込む活動。二次元コードでのワークシートはない。(p36)</p> <p>☆「重要語句の確認」では、チェック欄に書き込む活動。二次元コードでのワークシートはない。(p36)</p>	<p>☆「経済の入り口」では、カードに記入したり、分類したり、表を作成したりする活動。二次元コードでのワークシートはない。(p119)</p> <p>☆「やってみよう 物々交換ゲーム」では、カードを持ち、他者とカードを交換する活動。(p121)</p> <p>☆「やってみよう お小遣いの使いみちを考えよう」では、表に書き込む活動。二次元コードでのワークシートはない。(p123)</p> <p>☆「やってみよう 需要と供給で価格はどうか」では、グラフを作成する活動。二次元コードでのワークシートはない。(p145)</p> <p>☆「公共財・サービスはいくらかかっているのでしょうか。」では、空欄に書き込む活動。二次元コードでのワークシートはない。(p154)</p> <p>☆「景気と経済活動の関係」では、図表に上下の矢印を記入する活動。二次元コードでのワークシートはない。(p158)</p> <p>☆「やってみよう 人生をデザインしようーシミュレーション」では、「人生モノサシ」のマス目を塗る。記入欄に書き込む活動。二次元コードでのワークシートはない。(p166~167)</p> <p>☆「経済のこれから」では、記入欄に書き込む活動。ポスターツアーを行う。(p169)</p> <p>☆「学習のまとめ」では、記入欄に書き込む活動。二次元コードでのワークシートはない。(p170)</p> <p>☆「学習のまとめ」では、チェック欄にチェックをする。記入欄に書き込む活動。二次元コードでのワークシートはない。(p170)</p>
-------------	--	---

地図

表記・表現及び使用上の便宜（各障害種共通）

観点 略称	特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮について	判型 総ページ数	図・表等 の掲載数
2 東書	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育に配慮し、ユニバーサルデザインフォント（UDフォント）を使用することで、文字の視認性を向上させました。ふり仮名には読み取りやすいゴシック体を採用することで、読み取りやすくなっています。 ・グラフや地図などでは、色覚特性がある生徒にも見分けやすい色を使用しました。また、文字に縁取りをしたり、グラフでは線種で見分けがつくようにしたりすることで、情報を読み取りやすくしました。 	A 4 ・ 176	341
46 帝国	<ul style="list-style-type: none"> ・地図帳全編にわたってユニバーサルデザインを採用しています。色や文字の書体・大きさに加えて、絵記号のデザインやレイアウトの統一にも配慮しています。 ・誰もが見やすい地図を目指し、フォント（書体）は可能性の高いUDフォントを採用しています。また、その中でも可読性の高い丸ゴシック系を多用するようにし、国名・都道府県名・主要都市名などの重要な地名には縁取りを付けて見やすくしています。 ・色覚に特性のある生徒でも色を識別して地図が読めるように、カラーユニバーサルデザインに配慮し、色彩表現への工夫がなされている。 ・赤文字で記された都道府県名・国名については、読みやすいよう白色で縁取りされている。 ・土地利用表現の色の下に模様（地紋）が入っており、色の違いを識別しやすくしている。また、陸の高さの違いを読み取りやすいように、うす緑色で等高線が加えられている。 	A 4 ・ 198	467

※1 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮：各発行者の編修趣意書より抜粋。

※2 図・表等の掲載数：各発行者の教科書から、内容理解を補完するための図及びグラフ・表を計上。

【地図】 視覚障害

観点	○情報機器の活用等に関わる内容がある。
対象・方法	情報機器の活用等に関わる内容の具体例 「アジア州」、「統計資料」のデジタルコンテンツの活用例

	「アジア州」における活用の具体例	日本の「統計資料」における活用の具体例
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○二次元コードを読み取ることで、デジタルコンテンツへリンクすることができる。 (自然、人々の活動のデジタルマップ) ○デジタルマップは、衛星画像と地理院地図の2種類から選択できる。 ○情報機器の機能を活用することで、デジタルコンテンツの項目やマップの拡大・縮小等の音声による読み上げができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○二次元コードを読み取ることで、統計資料のデータへリンクすることができる。 ○データの見出し項目(面積・人口、農林水産業、工業、経済・商業、気温と降水量)は、リストで表示されており、項目を選択して表示する。 ○統計データの表示項目は、表示リストから取捨選択し、閲覧できる。 ○情報機器の機能を活用することで、統計データの音声による読み上げができる。 ○統計表示画面の見方やアイコンの説明が示されている。 ○内容項目は、「面積・人口」13、「農林水産業」30、「工業」15、「経済・商業」6、「気温と降水量」4の計68項目ある。 ○内容項目のうち、円グラフで示されているものが5項目、統計地図(白地図)で示されているものが6項目ある。 ○内容項目の「気温と降水量」では、地点を示す地図が示されている。 ○円グラフのデータは、6色で色分けされたグラフ上に、数値や県名等が示されており、情報機器の機能を活用することで、一度の音声で全ての情報が読み上げられる。 ○統計地図(白地図)は、上位1位が赤色、2位から5位の地域が山吹色で色分けされている。
帝国	<ul style="list-style-type: none"> ○二次元コードを読み取ることで、デジタルマップや動画教材等のデジタルコンテンツへリンクすることができる。(アジア州衛星画像、アジア州の鳥瞰図、アジア州のあらまし、アジア州の人口、都市の人口が増えるアジア、ASEAN(東南アジア諸国連合)、中国の人口) ○情報機器の機能を活用することで、デジタルコンテンツの項目や動画の再生、マップの拡大・縮小等の音声による読み上げができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○二次元コードを読み取ることで、統計資料のデータへリンクすることができる。 ○データの見出し項目(面積人口、農業・漁業・林業、鉱工業、その他)は、拡大文字とイラストで表示されている。 ○情報機器の機能を活用することで、統計データの見出し、内容項目の音声による読み上げができる。 ○内容項目は、「面積人口」14、「農業・漁業・林業」53、「鉱工業」12、「その他」8の計87項目あり、青字で示されている。 ○内容項目87のうち、円グラフで示されているものが70項目、統計地図(白地図)で示されているものが87項目ある。 ○円グラフは、6色で色分けされたグラフと、内容を示す表があり、情報機器の機能を活用することで、表の数値や県名等の情報を、1項目ごとに選択して、音声で読み上げができる。 ○統計地図(白地図)は、上位1位が赤色、2位から5位の地域が黄色で色分けされている。

【地図】 視覚障害

観点	☆文字の色やコントラスト等により、視覚障害への配慮を要する内容がある。
対象・方法	地図「日本の統計」における情報項目の量、文字の大きさ、色分け等 地図「アジア州」における東アジア一般図の都市名、国境等の表示、文字の大きさ、色分け等

	「日本の統計」	「アジア州」における東アジア一般図
東書	<p>☆都道府県別の統計表の項目数 23 (面積、人口、人口密度、平均標高、人口構成割合、人口増加率、合計特殊出生率、県内総生産、県内総生産の産業別割合、一人あたりの所得額、農業生産額 (4)、漁獲量、木材生産量、工業生産額 (5)、卸売小売販売額、伝統的工芸品)</p> <p>☆「人口構成割合」、「県内総生産の産業別割合」の項目が、年代別にグラフで色分けされている。</p> <p>☆統計表の各項目の1位の数値は赤字で示されており、その他の数値は黒字で示されている。</p> <p>☆統計表では、都道府県と該当の地方が7色で色分けされている。</p> <p>☆「日本の農林水産物、鉱産資源、工業製品の生産」では、品目と帯グラフで示されている。</p> <p>☆統計表の文字と数値 1文字大きさ 2mm</p> <p>☆帯グラフの文字と数値 1文字大きさ 1.5mm~2mm</p>	<p>☆1600万分の1 正積円錐図法</p> <p>☆陸地の高さ8色</p> <p>☆海面下1色、海の深さ7色</p> <p>☆国境 赤に黒の長短の点線 太さ 0.5mm~1mm</p> <p>☆国名 赤字 1文字の大きさ 2mm~3mm</p> <p>☆首都名 黒字 1文字の大きさ 1.5mm~3mm</p> <p>☆主な都市名 黒字 1文字の大きさ 1.5mm~2mm</p> <p>☆主な河川等名 青字 1文字の大きさ 1.5mm~2.5mm</p> <p>☆主な海洋等名 青字 1文字の大きさ 2.5mm~4mm</p> <p>☆首都は文字の横に赤の四角・丸で示されている。</p> <p>☆主な都市は文字の横に青の四角・丸で示されている。</p>
帝国	<p>☆都道府県別の統計表の項目数 24 (人口、面積、人口密度、産業別人口の割合 (3)、耕地面積、水田率、農業産出額、米、野菜、果実、畜産、漁業生産量、工業生産 (5)、小売業年間販売額、一人あたり県民所得額、65歳以上人口割合、合計特殊出生率、おもな伝統的工芸品・特産物)</p> <p>☆統計表の各項目の1位の数値は赤太文字、2位から5位までは桃色文字で示されている。その他の数値は黒字で示されている。</p> <p>☆統計表では、都道府県と該当の地方が8色で色分けされている。</p> <p>☆「日本のおもな農・水産物の生産」、「日本のおもな工業製品の生産」では、品目、品目のイラスト、帯グラフで示されている。</p> <p>☆「日本の市と人口」では、都道府県別の都市名が記載され、県庁所在地は赤文字、政令指定都市は青丸、中核市は丸で表示されている。</p> <p>☆統計表の文字と数値 1文字の大きさ 2mm</p> <p>☆帯グラフの文字と数値 1文字の大きさ 1mm~2mm</p>	<p>☆1600万分の1 正距円錐図法</p> <p>☆陸地の高さ7色</p> <p>☆海面下1色、海の深さ7色</p> <p>☆国境 赤に黒の点線 太さ 0.5mm</p> <p>☆国名 赤字 1文字の大きさ 2mm~4mm</p> <p>☆首都名 黒字 1文字の大きさ 2mm</p> <p>☆主な都市名 黒字 1文字の大きさ 1.5mm~2mm</p> <p>☆主な河川等名 青字 1文字の大きさ 1.5mm~2mm</p> <p>☆主な海洋等名 青字 1文字の大きさ 3mm~4mm</p> <p>☆首都は文字の横に赤の四角・丸で示されている。</p> <p>☆主な都市は、文字の横に青の四角・丸で示されている。</p>

【地図】聴覚障害

観点	○地図帳の活用方法（使い方）について、地図や写真、イラスト等の視覚的教材で説明された内容や、重要語句の説明、及び既習事項を確認できる情報がある。
対象・方法	「地図帳の活用方法（使い方）」についての視覚的教材、重要語句の説明、既習事項を確認できる情報の具体例

	地図帳の凡例・地図記号等	地図帳の活用方法（使い方）
東書	<p>○地図記号</p> <p>・地図記号の数 （世界）都市 10、境界 4、交通 4、自然 16、施設 9、その他 3、領土 17 （日本）都市 12、境界 3、交通 14、自然 10、施設 23、その他 4、産業 86、土地利用 9</p> <p>○この地図帳での土地の高さの表し方（イラスト 2）</p> <p>○「さくいんの使い方」について具体例（地図 1）と説明がある。</p>	<p><一般図を見てみよう></p> <p>○「一般図」と「凡例」及び「地図記号」についての説明がある。</p> <p>○具体例（ヨーロッパの地図 1）をもとに、「ページ番号」「国旗」「陸地の高さや海の深さ」「位置図」「インデックス」「縮尺」「スケール」「歴史の舞台」「さくいん記号」「経線・緯線」についての説明がある。</p> <p><主題図を見てみよう></p> <p>○「主題図」についての説明がある。</p> <p>○具体例（地図 5）をもとに、「表現したいテーマの広がりを表す」「地域ごとの数値を色で表す」「図形の大きさで数値を表す」「点で分布を表す」及び「矢印で人や物の移動を表す」、についての説明がある。</p> <p><地図帳を活用して学習を深めよう></p> <p>○歴史や公民と関連する学習内容の示し方、SDGs と関連する学習内容の示し方、及び他の資料と関連する学習内容の示し方についての説明がある。</p> <p>○地図を深く読み取るためのヒントとなる問いについての説明がある。</p> <p><デジタルコンテンツを活用しよう></p> <p>○主なデジタルコンテンツ 8 つが示されている。</p> <p>○デジタルコンテンツの活用場面やアクセス方法についての説明と二次元コードがある。</p> <p>○デジタル地球儀「My Globe」についての具体例（写真 2）と説明がある。</p> <p><デジタル地図を使ってみよう></p> <p>○デジタル地図についての説明と二次元コードがある。</p> <p>○「地理院地図」「Google マップ」及び「RESAS（リーサス）」についての具体例（写真 3）と説明がある。</p>
帝国	<p>○地図記号</p> <p>・地図記号の数 （世界）都市 9、境界 4、自然 19、交通 4、産業 5、領土 11、世界遺産 3、環境 2、文化・歴史・その他 5 （日本）都市 12、境界 5、都市図 6、自然 15、交通 14、産業 54、世界遺産 2、環境 5、文化・歴史・その他 7</p> <p>○「QR コンテンツ」についての活用方法の説明がある。</p>	<p><小学校で学習した地図の約束を振り返ろう></p> <p>○「方位」「地図記号」「色」（陸の高さや海の深さ）及び「縮尺」についての具体例（イラスト 4）と説明がある。</p> <p><地図の種類を確認しよう></p> <p>○「一般図」「地形図」「鳥観図」及び「主題図」についての説明がある。</p> <p><地図帳の見方・使い方を確認しよう></p> <p>○具体例（オーストラリア・ニュージーランドの地図 1）をもとに、「図タイトル」「縮尺とスケールバー」「凡例」「位置図」「陸の高さ、海の深さ」「接続ページ」「国旗」「同緯度・同経度・同縮尺の日本」及び「さくいん記号」についての説明がある。</p> <p>○具体例（オセアニア州の資料）をもとに、「日本との結びつき」及び「他分野との関連、SDGs アイコン」についての説明がある。</p> <p><地図帳を使いこなそう></p> <p>○具体例（地図 1）をもとに、「さくいん」についての説明がある。</p> <p>○具体例（表 1）をもとに、「統計」についての説明と二次元コードがある。</p> <p>○具体例（オセアニア州の資料）をもとに、「問いコーナー「地図で発見！」」についての説明と二次元コードがある。</p> <p>○「さらに深める各種のコーナー」として、「リンク」「主題学習」「防災」及び「環境」についての説明がある。</p> <p><地図の見方をおさえよう（読み解くポイント）></p> <p>○具体例（富山県の地図 5）をもとに、土地利用についての説明と、地図の情報の要素ごとの説明、及びそれらの関係性の捉え方の説明がある。</p> <p><テーマを決めて地図から読み取ろう></p> <p>○具体例（富山県の地図 1）をもとに、「交通の結びつきと工業」をテーマとして、注目する要素とわかったことについての説明がある。</p>

【地図】聴覚障害

観点	○各地域をあらわす地図的資料（一般図、鳥観図、資料図等）や、写真、グラフ、イラスト、簡単な説明文等の視覚的教材がある。
対象・方法	「オセアニア州」「中国・四国地方」における地理的資料（地図的資料）の具体例

	オセアニア州	中国・四国地方
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○環太平洋・環インド洋の一般図（6000 万分の 1、エケルト図法、見開き 1 ページ） ○オセアニア州の国々の国旗 16 ○問い「太平洋を取り囲む海溝を確認しよう」「世界で最も早く一日が始まる場所を予想して、p2 図③で確かめてみよう」と、その解答例及びオセアニア州の自然にアクセスできる二次元コード ○オーストラリア・ニュージーランドの一般図（2000 万分の 1、正積方位図法、見開き 1 ページ）とこの図の範囲を示す地球儀の図 ○問い「オーストラリアの面積は日本のおよそ何倍か予想しよう」「オーストラリアとニュージーランドでは、地形の特徴にどのような違いがあるか読み取ろう」と、その解答例にアクセスできる二次元コード <オセアニア州の資料> ○「土地利用」「気温と降水量」「鉱工業」「人口密度」「オセアニアの移民」の各主題図 ○「牧畜業」の主題図と、大鑛井盆地の掘りぬき井戸の仕組みについてのイラストと説明 ○「オーストラリアの貿易相手国の変化」の主題図 2 枚と、ポートヘッドランド港の写真 ○問い「オーストラリアの人口密度が高い地域を読み取り、その理由を気候との関係から考えよう」「オーストラリアの貿易相手国はどのように変化してきたのかな」と、その解答例にアクセスできる二次元コード 	<ul style="list-style-type: none"> ○中国地方の一般図（100 万分の 1、正距円錐図法、見開き 1 ページ）とその位置を示す日本地図 ○「広島市中心部」（5 万分の 1、UTM 図法）の主題図 ○問い「広島市の中心部はどのような地形の上にあるかな」「中国地方の日本海側と瀬戸内海側では、都市や交通網の様子にどのような違いがあるかな」とその解答例及び中国・四国地方の自然にアクセスできる二次元コード ○「竹島」（5 万分の 1）の一般図 ○四国地方の一般図（100 万分の 1、正距円錐図法、見開き 1 ページ）とその位置を表す日本地図 ○問い「本州と四国とを橋でつなぐ 3 つの経路を確認しよう」「四国地方で県境となっている地形の名前を挙げよう」と、その解答例にアクセスできる二次元コード ○瀬戸内地方の土地利用が色分けされた一般図（50 万分の 1、正距円錐図法、見開き 1 ページ）とその位置を表す日本地図 ○問い「瀬戸内海の島々で、他の地域ではあまり生産されていない農作物を探そう。そして、その農業が盛んである理由を自然環境との関連から考えてみよう」とその解答例にアクセスできる二次元コード <中国・四国地方の資料> ○「地形」（断面図を含む）、「降水量」（1 月と 7 月）、「人口分布」、「土地利用」、「工業・交通」、「瀬戸内地方の工業地域」、「人口増減率」及び「交通網の変化」（1980 年と 2022 年）についての各主題図 ○「本州と四国との間の自動車交通量」についての棒グラフ 1 ○問い「図②を見て、山陰、瀬戸内、南四国それぞれの降水量の季節変化を読み取ろう」「図⑧⑨を見て、発達してきた交通網と、発達してこなかった交通網を読み取ろう」

- 太平洋・インド洋の一般図（6000 万分の 1、エケルト図法、見開き 1 ページ）
- オセアニアの国々の国旗 14
- 問い「太平洋を取り巻く APEC の 21 の参加国・地域のうち、アジア州以外の参加国・地域を五つ以上答えよう」「大西洋から太平洋に抜ける際に、マゼランが通った海峡を答えよう。また、マゼランの航路と比べたときの、パナマを通る現在の航路の利点を答えよう」
- 「エルニーニョ現象の発生」の主題図（18000 万分の 1）
- 「サモア」（300 万分の 1）、「タヒチ島」（250 万分の 1）、「ラパヌイ（イースター）島」（100 万分の 1）、「ガラパゴス諸島」（1000 万分の 1）の各一般図
- オーストラリア・ニュージーランドの一般図（2000 万分の 1、ランベルト正積方位図法、見開き 1 ページ）とこの図の範囲を示す地球儀の図
- オセアニア州の資料にアクセスできる二次元コード
- オセアニアの国々の国旗 2
- 問い「太平洋上にある島々の海岸のまわりの特色を、地図と p4 の凡例を見て答えよう」「オーストラリアとニュージーランドでいちばん高いコジアスコ山とアオラキ（クック）山を探し、山頂の高さを確認しよう」
- 「ツバル」（40 万分の 1）、「フィジー」（650 万分の 1）、「トンガ」（150 万分の 1）の各一般図
- <オセアニア州の資料>
- オセアニア州の鳥観図と二次元コード
- 問い「オーストラリア西部のマウントホエールバックで採掘された鉄鉱石は、どのような輸送手段で輸出されているか、二つ答えよう」「図で緑色や茶色の地域のようなすを、②図（「オセアニア州の植生と土地利用」）と⑤図（「人口密度」）を関連させて説明しよう」
- 「ウルル（エアーズロック）」「羊の放牧」「サンゴ礁」の写真
- 「オセアニア州の植生と土地利用」の主題図と、地図内の A（大陸西端）と B（大陸東岸）の断面図
- 「牛と羊の分布」「鉱工業」「人口密度」「オーストラリアの貿易相手国の変化」の各主題図
- 1945 年～1980 年と、1981 年～2017 年の「移民の出身地」の主題図
- 問い「オーストラリアへの移民の出身地は、どのように変化しているか」
- 「日本との結びつき」に関して、「旅行者数の変化」（グラフ 1）、「オーストラリアのおもな輸出品と輸出相手国」（帯グラフ 3）

- 瀬戸内海周辺の鳥観図（見開き 1 ページ）とこの図の範囲を示す日本地図
- 瀬戸内海周辺の歴史にアクセスできる二次元コード
- 「古代～近世の瀬戸内海のおもなできごと」についての表 1
- 問い「②図に示されたできごとを、貿易・外交関係、争乱関係の二つに分類し、①～⑧のできごとがあった場所を①図で確認しよう」「瀬戸内海では、古くからたくさんの人や物が船を使って行き来していた理由を、瀬戸内海周辺の地形に注目して答えよう」
- 中国地方の一般図（100 万分の 1、ランベルト正角円錐図法、見開き 1 ページ）とこの図の範囲を示す日本地図及びこの地方の地図にアクセスできる二次元コード
- 「竹島」（50000 分の 1）の一般図
- 問い「中国山地にある三次盆地や津山盆地の位置を確認しよう。また、これらの地域はどのような交通機関で日本海沿岸や瀬戸内海沿岸の都市と結びついているか、p4 の交通の記号の凡例に着目して答えよう」
- 「広島市中心部」（5 万分の 1）の主題図
- 四国地方の一般図（100 万分の 1、ランベルト正角円錐図法、見開き 1 ページ）とこの図の範囲を示す日本地図及びこの地方の地図にアクセスできる二次元コード
- 問い「大分～神戸と別府～大阪の船の航路を指でたどり、瀬戸内海が九州地方と近畿地方を結ぶ重要な役割を果たしていることを確認しよう」、及び「高知県でハウス栽培がさかんなところを確認し、そこでつくられている農作物を三つ以上答えよう。また、p88 でハウス栽培のさかんなところとの共通点を答えよう」
- 瀬戸内海周辺の一般図（50 万分の 1、ランベルト正積円錐図法、見開き 1 ページ）とこの図の範囲を示す日本地図
- 問い「瀬戸内しまなみ海道を今治市から尾道市まで移動するとき、通過する島々ではどのような果樹が栽培されているか答えよう」「瀬戸大橋は、自動車の他に何が走っているか答えよう」
- <中国・四国地方の資料>
- 「自然」（断面図を含む）、「降水量」（1 月と 8 月）、「人口分布」の各主題図
- 「農業」の主題図と、中国・四国地方の「県別農業算出額」の棒グラフ 9
- 「工業・交通」の主題図と、中国・四国地方の「県別工業出荷額」の棒グラフ 9
- 問い「②図で 1 月に降水量が多い地域と 8 月に降水量が多い地域はそれぞれ太平洋側と日本海側のどちらか、①図も参考にして答えよう」「イ・ウのグラフを見て、中国・四国地方の農業産出額と工業出荷額が多い県を二つ答えよう。また、それらの県で割合が最も大きい農業と工業の種類を答えよう」
- 「中国・四国地方の交通と人口密度の変化」（1970 年と 2020 年の比較）
- 問い「1970 年と 2020 年の地図で、1 km²あたりの人口密度がともに 200 人以上のところと、20 人未満のところはどのような地域か、地形や交通に着目して答えよう」

		<ul style="list-style-type: none">○「鳥取砂丘 砂丘のつくり方とさまざまな利用」、「水島コンビナート パイプラインでつながる石油製品」、「八幡浜市のみかん栽培」及び「高知平野の野菜づくり ビニールハウスによる促成栽培」の各主題図○「広島市付近にある水害の碑の分布」の主題図と、「1926年9月豪雨による洪水や土石流の被害を記した碑」の写真1
--	--	--

【地図】 肢体不自由・病弱

観点	☆文字フォントの見やすさ（書体や大きさの違い、色づかい）に障害への配慮を要する内容がある。
対象・方法	ヨーロッパ州における文字のフォント

東書	<p>☆全体：UDフォント、ゴシック体</p> <p>☆国名と主な都市名：白色系縁取り、太字</p> <p>☆国名：通常 10 p、最大 12 p、最小 8 p、赤色、EU加盟国赤四角囲み</p> <p>☆首都名：黒 8 p または 黒 7 p</p> <p>☆主な都市名：黒 8 p または 黒 7 p</p> <p>☆主な河川及び海名：青 9 p、8 p、7 p（黒海と地中海は青太字 10 p）</p> <p>☆主な地形名：黒 9 p、黒 8 p、黒 7 p、四角囲みで白色の下色をつけている。</p>
帝国	<p>☆全体：UDフォント、丸ゴシック体</p> <p>☆国名と主な都市名：白色系縁取り、太字</p> <p>☆国名：通常 10.5 p、最大 12 p、最小 7 p、赤色、EU加盟国赤四角囲み</p> <p>☆首都名：黒 8 p または 黒 7 p</p> <p>☆主な都市名：最大黒 8 p、通常黒 7 p、最小黒 6 p</p> <p>☆主な河川及び海名：青 9 p、8 p、7 p（黒海と地中海、大西洋は青太字 10 p）</p> <p>☆主な地形名：黒 9 p、黒 8 p、黒 7 p、四角囲みあり。</p>

【地図】 肢体不自由・病弱

観点	☆陸の高低差の読み取りやすさに障害への配慮を要する内容がある。
対象・方法	中国・四国地方における一般図での色分け、鳥観図、断面図の使用、地形の特徴を示したイラストと写真

中国・四国地方	
東書	<p>☆一般図での色分け：等高段彩表現として陸の高さごとに 6 色で高低差を表している。土地利用表現として種類ごとに 9 色で表している。県境は赤線（色の下に黒点線）で表している。</p> <p>☆鳥観図：なし</p> <p>☆断面図：1 カ所（中国・四国地方縦断面 鳥取県倉吉市－高知県室戸岬）</p> <p>☆イラストと写真：9 種類（①地形 ②降水量 ③人口分布 ④土地利用 ⑤工業・交通 ⑥瀬戸内地方の工業地域 ⑦人口増減率 ⑧本州と四国との間の自動車交通量 ⑨交通網の変化）</p> <p>※⑥は一般図での瀬戸内工業地域、都市ごとの分布図</p>
帝国	<p>☆一般図での色分け：等高彩段表現として陸の高さごとに 3 色で高低差を表している。土地利用表現として種類ごとに 7 色で表しており、一部に色の下に紋様あり。県境は赤線（色の下に黒点線）で表している。</p> <p>☆鳥観図：2 ページに渡ってあり。瀬戸内海周辺の歴史に関するイラストが各地域に表示されている（下部におもなできごとの年表あり）。</p> <p>☆断面図：1 カ所（日本海－太平洋）</p> <p>☆イラストと写真：11 種類（①自然 ②降水量 ③人口分布 ④農業 ⑤工業・交通 ⑥中国・四国地方の交通と人口密度の変化 ⑦鳥取砂丘 ⑧水島コンビナート ⑨広島市付近にある水害の碑の分布 ⑩八幡浜市のみかん栽培 ⑪高知平野の野菜づくり）</p> <p>※①は断面図イラスト、⑦・⑩・⑪は鳥観図イラストになっている。</p>

数学

表記・表現及び使用上の便宜（各障害種共通）

観点 略称	特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮について	判型 総ページ数	図・表等 の掲載数
2 東書	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育の専門家の校閲を受け、文節改行を取り入れたり、例や問に罫線を入れてまとまりを示したりすることですべての生徒が読みやすい紙面を追求しました。 色彩問題の専門家により全ページの校閲を行い、カラーユニバーサルデザインを徹底しました。小さい文字にはUDフォントを採用し、視認性を高めました。 	B 5 ・ 876	143
4 大日本	<ul style="list-style-type: none"> 色覚のちがいによって学習に支障が出ることがないようにカラーユニバーサルデザインをふまえた色遣いを工夫し、誰にでも分かりやすい紙面にしました。 専門家の監修のもと、レイアウトや文章の改行位置を工夫したり、ユニバーサルデザインフォントを使用したりして、できるだけ読みやすくなるようにしました。 	B 5 ・ 876	128
11 学図	<ul style="list-style-type: none"> UDフォントを使用することで、これまで以上に読みやすく、すべての生徒が理解しやすい文字になるように配慮しました。 文章を分節改行にすることで、誰もが読み取りやすく、問題解決や思考に重点をおけるようにしました。 カラーユニバーサルの観点を取り入れ、目に優しく判別のしやすい色使いをすることで、見やすく使いやすい紙面づくりに配慮しました。 	B 5 ・ 928	141
17 教出	<ul style="list-style-type: none"> 専門家の監修のもと、すべての生徒が支障なく学習できるように、読みやすい改行や、余白を生かしたレイアウトなど、落ち着いた学べる紙面づくりに配慮しました。 色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しました。 UDフォントを多くの箇所で使用し、視認性を高めました。 	B 5 ・ 938	137
61 啓林館	<ul style="list-style-type: none"> デザインにおいては、個人差を問わず、必要な情報が正確に伝わるように配慮しています。 書体は識別がしやすいUDフォントを採用し、配色は色覚の特性によらず学びやすいものとなるようにMUD協会の検証を受けています。 文章の改行をすべて文節で行うことで、読みやすくしています。 特別支援教育の専門家の監修のもと、すべての子どもたちが支障なく学習できる環境づくりを目指し、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育（共育）に配慮しています。 	B 5 ・ 822	158
104 数研	<ul style="list-style-type: none"> 全体にわたってUDフォントを大きめのサイズで使い、文章を文節で改行して、読みやすくなるようにしています。 カラーユニバーサルデザインの観点から、色覚の特性によらず識別しやすい配色にしています。また、全体を、特別支援教育の観点から、専門家が検査しています。 奇数ページにツメ見出しをつけ、ページの検索性が高まるようにしています。 太字、下線、枠囲いなどを使用し、大事なところが分かりやすくなるようにしています。 グラフや図をかく問題、長さや角度を測る問題などについては、教科書中に書き込みやすくなるように、小口（本の外側）に図を配置しています。 巻末の付録にはミシン目を入れ、使用しやすくしています。 	B 5 ・ 918	123
116 日文	<ul style="list-style-type: none"> 読みやすいUDフォントを全面的に使用し、振り仮名には大きく見えるUDゴシック体を使用しています。 読みやすい位置で改行することで、文章の可読性を向上させています。 図中の線を太く、文字を大きくすることで、図を見やすくしています。 カラーユニバーサルデザインに配慮した区別しやすい色を使用するとともに、色だけで情報を伝えないように、線の種類を変えたり、文字や形などの情報を付加したりしています。 	B 5 ・ 896	93

※1 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮：各発行者の第1学年編修趣意書より抜粋。

※2 図・表等の掲載数：各発行者の第1学年教科書から、内容理解を補完するための図及びグラフ・表を計上。

【数学】聴覚障害

観点	○問題提示において、場面や課題をイメージしやすい内容がある。
対象・方法	第1学年「比例と反比例」、第2学年「1次関数」における、日常生活や社会との関わりで取り扱われている具体例やイラストを含む題材数

	第1学年「比例と反比例」	第2学年「1次関数」
東書	<p><具体例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水そうの掃除を終えたあと、水をためていくときに、満水になるまでの時間と水位の関係。 ・ポップコーンを買って終わるまでにかかる待ち時間と人数の関係。 <p><題材数> 6</p>	<p><具体例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・おいしい日本茶を入れるために、水を熱して80℃になるまでの時間と水温の関係。 ・保冷バックに入れたペットボトル飲料を10℃以下に保つための、時間と温度の関係。 <p><題材数> 5</p>
大日本	<p><具体例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京マラソンで、時刻にともなって変化していく数量関係。 ・学校から公園に自転車とランニングで向かうときの時間と距離の関係。 <p><題材数> 13</p>	<p><具体例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・配膳台を伸ばすときに変化する数量の関係。 ・富士山八合目の標高と気温の関係。 <p><題材数> 5</p>
学図	<p><具体例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プール清掃の後、満水になるまで水を入れていくときの時間と水位の関係。 ・視力検査について、視力とランドルト環の外側直径の関係。 <p><題材数> 17</p>	<p><具体例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・富士山の標高と気温の関係。 ・おいしいお茶を入れるために、70℃のお湯をわかすときの時間と水温の関係。 <p><題材数> 5</p>
教出	<p><具体例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水そうに一定の割合で水を入れるときの時間と水面の高さの関係。 ・面積が6 cm²である長方形の横の長さとの縦の長さの関係。 <p><題材数> 13</p>	<p><具体例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2日間かけてプールに一定の割合で水を入れるときの、2日目における時間と水面の高さの関係。 ・長さ12cmの線香に火をつけたときの、時間と線香の長さの関係。 <p><題材数> 9</p>
啓林館	<p><具体例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・線香に火をつけてからの時間と燃えた長さの関係。 ・面積が6 cm²である長方形の横の長さとの縦の長さの関係。 <p><題材数> 9</p>	<p><具体例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・底から8cmの高さまで水が入った水そうに水を入れるときの、時間と水面の高さの関係。 ・高度と上空の気温の関係。 <p><題材数> 6</p>
数研	<p><具体例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・500円硬貨の枚数と重さの関係。 ・面積が12 cm²である長方形の横の長さとの縦の長さの関係。 <p><題材数> 11</p>	<p><具体例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・深さ15cmまで水がはいった水そうに毎分2cmの割合で水を入れるときの、時間と水面の高さの関係。 ・線香に火をつけたときの、時間と線香の長さの関係。 <p><題材数> 6</p>

日 文	<p><具体例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水そうに水を入れるときの時間と水の量の関係。 ・天びんがつり合うようにつるすときの、おもりの重さと支点からの距離の関係。 <p><題材数> 9</p>	<p><具体例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2日間かけてプールに水を入れるときの、2日目における時間と水面の高さの関係。 ・ビーカーの水を熱するときの、時間と水温の関係。 <p><題材数> 9</p>
--------	--	---

【数学】聴覚障害

観点	○問題解決のプロセスや重要事項説明において、思考が整理しやすいような情報機器や視覚情報を活用した内容がある。
対象・方法	第1学年「文字と式」、第3学年「多項式」における、情報機器活用事例の数とイラスト・図・表・吹き出しの数

	第1学年「文字と式」	第3学年「多項式」
東書	<情報機器活用事例の数と事例> ・20 ・ワークシート、対話シート、シミュレーション、動画、ヒントと解答 <イラスト・図・表・吹き出しの数> 69	<情報機器活用事例の数と事例> ・24 ・ワークシート、対話シート、シミュレーション、動画、ヒントと解答 <イラスト・図・表・吹き出しの数> 82
大日本	<情報機器活用事例の数と事例> ・0 <イラスト・図・表・吹き出しの数> 77	<情報機器活用事例の数と事例> ・2 ・シミュレーション <イラスト・図・表・吹き出しの数> 83
学図	<情報機器活用事例の数と事例> ・9 ・アニメーション、パトロール隊、パトロール隊チャレンジ、別の解き方、ふりかえり <イラスト・図・表・吹き出しの数> 91	<情報機器活用事例の数と事例> ・9 ・パトロール隊、パトロール隊チャレンジ、別の解き方、ふりかえり、活動 <イラスト・図・表・吹き出しの数> 198
教出	<情報機器活用事例の数と事例> ・5 ・考え方 <イラスト・図・表・吹き出しの数> 55	<情報機器活用事例の数と事例> ・3 ・考え方 <イラスト・図・表・吹き出しの数> 76
啓林館	<情報機器活用事例の数と事例> ・7 ・シミュレーション、学習したこと、考え方、解答、解説動画 <イラスト・図・表・吹き出しの数> 58	<情報機器活用事例の数と事例> ・7 ・シミュレーション、学習したこと、考え方、解答、解説動画 <イラスト・図・表・吹き出しの数> 41
数研	<情報機器活用事例の数と事例> ・2 ・シミュレーション <イラスト・図・表・吹き出しの数> 86	<情報機器活用事例の数と事例> ・7 ・動画、シミュレーション <イラスト・図・表・吹き出しの数> 104
日文	<情報機器活用事例の数と事例> ・5 ・シミュレーション <イラスト・図・表・吹き出しの数> 69	<情報機器活用事例の数と事例> ・6 ・解説動画、シミュレーション <イラスト・図・表・吹き出しの数> 67

【数学】肢体不自由・病弱

観点	○情報機器の活用等に関わる内容がある。
対象・方法	第1学年「データの分析と活用」及び第3学年「標本調査」における、パソコンなどの情報機器の活用等に関わる学習課題の数とその具体例

	第1学年「データの分析と活用」	第3学年「標本調査」
東書	<p><具体例> なし</p> <p><対象課題の数> 0</p>	<p><具体例> ○コンピュータの表計算ソフトウェアを利用し、乱数を発生させる。</p> <p><対象課題の数> 1</p>
大日本	<p><具体例> なし</p> <p><対象課題の数> 0</p>	<p><具体例> ○コンピュータの表計算ソフトウェアを利用し、乱数を発生させる。</p> <p><対象課題の数> 1</p>
学図	<p><具体例> ○二次元コードを利用してデータを読み込み、ヒストグラムを作成させて、階級値等を答えさせる。 ○表計算ソフトにある「関数」と呼ばれる機能を利用して、最大値や最小値、平均値、最頻値、中央値、合計などを求める方法</p> <p><対象課題の数> 9</p>	<p><具体例> ○コンピュータの表計算ソフトで乱数を発生させ、標本を抽出する方法 ○二次元コードを利用してデータを読み込み、10人の生徒を標本として無作為抽出して標本平均を求め、母平均を推定する。</p> <p><対象課題の数> 4</p>
教出	<p><具体例> なし</p> <p><対象課題の数> 0</p>	<p><具体例> ○コンピューターを使う方法 1以上90以下の乱数を発生させる。</p> <p><対象課題の数> 1</p>
啓林館	<p><具体例> ○ツールを使用し、データの収集を行う。 ○表計算ソフトを使って、データを並べ替え、グラフをかく、代表値などを求める方法</p> <p><対象課題の数> 3</p>	<p><具体例> ○コンピュータの表計算ソフトを利用する。 1から100までの整数の中から1つの数を選ぶ方法。</p> <p><対象課題の数> 1</p>
数研	<p><具体例> ○最高気温のデータを、表計算ソフトを使ってデータを整理する。</p> <p><対象課題の数> 1</p>	<p><具体例> ○コンピュータを利用した無作為抽出を行う。</p> <p><対象課題の数> 1</p>
日文	<p><具体例> ○統計ツールを活用し、ヒストグラムを作成する。 ○表計算ソフトの活用により、平均値を求める。</p> <p><対象課題の数> 9</p>	<p><具体例> なし</p> <p><対象課題の数> 0</p>

【数学】肢体不自由・病弱

観点	☆上肢や下肢の複雑な動きを必要とする内容がある。
対象・方法	第1学年「平面図形」及び第2学年「一次関数」における、上肢や下肢の複雑な動きを必要とする学習課題（定規、三角定規、コンパス、分度器を用いる課題）の具体例と数

	第1学年「平面図形」	第2学年「一次関数」
東書	<p><具体例> ☆角の二等分線の作図 ①コンパスを使い、角の頂点Oを中心とする円をかき、角の2辺との交点をとる。 ②コンパスを使い、①の交点を中心とする、等しい半径の円をそれぞれかき、交点をとる。 ③定規を使い、頂点Oから②の交点までの半直線をかく。</p> <p><対象課題の数> 20（大問の中に「観点到該当する小問が複数あったとしても1課題」とする。）</p>	<p><具体例> ☆直角三角形ABCにおいて、点PがAからxcm動いた時の△APCの面積のグラフ ①点Pが辺AB上を動くときの、yとxの関係式を求める。 ②点Pが辺BC上を動くときの、yとxの関係式を求める。 ③①、②のグラフを定規を使って、かく。</p> <p><対象課題の数> 16（大問の中に「観点到該当する小問が複数あったとしても1課題」とする。）</p>
大日本	<p><具体例> ☆ある1点から引かれている2半直線に両方接する円の作図 ①コンパスと定規を使い、2半直線がなす角の2等分線をひく。 ②コンパスと定規を使い、角の2等分線の任意の点から一方の半直線に垂線をひき、交点をかく。 ③コンパスを用い、角の2等分線の任意の点と②で求めた交点を半円とする円を作図する。</p> <p><対象課題の数> 46（大問の中に「観点到該当する小問が複数あったとしても1課題」とする。）</p>	<p><具体例> ☆グラフを用いた連立方程式の解 ①2式のグラフを定規を使ってかく。 ②交点を求める。</p> <p><対象課題の数> 19（大問の中に「観点到該当する小問が複数あったとしても1課題」とする。）</p>
学図	<p><具体例> ☆135°の作図 ①定規を使って直線をかく。 ②コンパスと定規を使って、①でかいた直線の垂線をかく。 ③コンパスと定規を使って、①の直線と②の垂線が作る角度の二等分線をかく。</p> <p><対象課題の数> 31（大問の中に「観点到該当する小問が複数あったとしても1課題」とする。）</p>	<p><具体例> ☆2元1次方程式のグラフ ①2元1次方程式をyについて解く。 ②定規を使って、グラフをかく。</p> <p><対象課題の数> 14（大問の中に「観点到該当する小問が複数あったとしても1課題」とする。）</p>

<p>教出</p>	<p><具体例> ☆ある直線を軸として対称となっている2つの図形の対称の軸 ①定規を使って、2つの図形の対応する点同士を結ぶ。 ②コンパスを使って、①の直線の中点を求める。 ③定規を使って、中点を結ぶ。</p> <p><対象課題の数> 33 (大問の中に「観点に該当する小問が複数あったとしても1課題」とする。)</p>	<p><具体例> ☆2点を通る直線 ①図上で2点をとる。 ②定規を使って、2点を結ぶ。</p> <p><対象課題の数> 13 (大問の中に「観点に該当する小問が複数あったとしても1課題」とする。)</p>
<p>啓林館</p>	<p><具体例> ☆円の接線の作図 ①定規を使って、円の中心から直線を引く。 ②①で引いた直線と円との交点をとる。 ③コンパスと定規を使って、交点を中心に半円をかき、①でかいた直線との交点を取り、垂線をかく。</p> <p><対象課題の数> 23 (大問の中に「観点に該当する小問が複数あったとしても1課題」とする。)</p>	<p><具体例> ☆一次関数のグラフ ①xとyの関係式をもとに、定規を使って、グラフをかく。</p> <p><対象課題の数> 12 (大問の中に「観点に該当する小問が複数あったとしても1課題」とする。)</p>
<p>数研</p>	<p><具体例> ☆三角形を平行移動させた図の作図 ①移動前と移動後の点を結ぶ。 ②三角定規を使って、残りの頂点から①と同じ方向に平行な線を引く。 ③コンパスを用いて、線分の長さを測る。 ④②の線に、計測した長さ分の点をうつ。 ⑤頂点から④の点へ定規を使って、線を引く。</p> <p><対象課題の数> 22 (大問の中に「観点に該当する小問が複数あったとしても1課題」とする。)</p>	<p><具体例> ☆線香が燃え尽きるまでのxとyの関係のグラフ ①火をつけてからx分後における、線香Aの長さをyであるときの、xとyの関係式を求める。 ②①で求めた関係式をもとに、xとyのグラフを定規を使ってかく。</p> <p><対象課題の数> 14 (大問の中に「観点に該当する小問が複数あったとしても1課題」とする。)</p>
<p>日文</p>	<p><具体例> ☆合同な三角形の作図 ①各辺の長さをコンパスを用いて、測る。 ②①で求めた長さをもとに、定規を使って三角形を作図する。</p> <p><対象課題の数> 24 (大問の中に「観点に該当する小問が複数あったとしても1課題」とする。)</p>	<p><具体例> ☆ビーカーの水を熱し始めてからx分後の水温を$y^{\circ}\text{C}$とした、グラフ ①xとyの対応表から、xとyの関係式を求める。 ②①で求めた関係式をもとに、グラフをかく。</p> <p><対象課題の数> 19 (大問の中に「観点に該当する小問が複数あったとしても1課題」とする。)</p>

理科

表記・表現及び使用上の便宜（各障害種共通）

観点 略称	特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮について	判型 総ページ数	図・表等 の掲載数
2 東書	<ul style="list-style-type: none"> 本文などの主要部分の書体にユニバーサルデザイン書体を使用し、読みやすさを追求しました。 色覚に関する個人差を考慮し、表現を工夫しています。例えば、グラフの線は色だけで区別することはせず、線種を変えたり文字を付記したりすることなどによって認識しやすくしています。 観察・実験の手順や注意などでは、できるだけ文節の途中で改行しないようにしています。 特別支援教育の研究者に専門的見地からの校閲を受け、できるだけ多くの生徒にとって読みやすく使いやすい教科書となるよう配慮しています。 	A B ・ 902	562
4 大日本	<ul style="list-style-type: none"> カラーユニバーサルデザインをふまえた配色を工夫し、誰にでもわかりやすい紙面にしました。 専門家の監修のもと、レイアウトや改行位置を工夫したり、全面的にユニバーサルデザインフォントを使用したりするなど、特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮しました。 	B 5 ・ 986	609
11 学図	<ul style="list-style-type: none"> 記載なし 	A B ・ 872	372
17 教出	<ul style="list-style-type: none"> より多くの方が識別しやすい色づかいカラーユニバーサルデザインや誰にとっても読みやすいUDフォントを採用しています。 専門家による監修・校閲を受け、全ての人にとっての学びを保障する観点に立って編修しています。 	A B 変型 ・ 953	431
61 啓林館	<ul style="list-style-type: none"> 見出しの文章を読みやすいよう改行するなど、特別支援教育の専門家の監修のもと、すべての生徒が支障なく、落ち着いて学べるよう配慮しています。 基本的な文字のフォントにUDフォントを採用し、視認性と可読性を高めています。また、色覚の個人差を問わず、紙面の内容が判別しやすい配色・デザインを用い、メディア・ユニバーサル・デザイン協会（MUD）による認証を申請中です。 	A B ・ 980	499

※1 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮：各発行者の第1学年編修趣意書より抜粋。

※2 図・表等の掲載数：各発行者の第1学年教科書（100ページ）から、内容理解を補完するための図及びグラフ・表を計上。

【理科】聴覚障害

観点	○実験・観察等の手順及び結果や考察について、写真やイラストとともに説明された内容がある（巻末資料は含まない。）。
対象・方法	第2学年「電流と回路」の「直列回路や並列回路を流れる電流」及び第3学年「酸・アルカリとイオン」の「塩酸と水酸化ナトリウム水溶液を混ぜる」における、実験・観察等の手順及び結果や考察の説明

	第2学年 「直列回路や並列回路を流れる電流」	第3学年 「塩酸と水酸化ナトリウム水溶液を混ぜる」
東書	<p>○実験の見通し (p248～p251)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「疑問」「目的」「方法」「結果」「考察」に区分。 ・項目名は疑問のみ枠囲み、太字で表示。 <p>○実験の手順 (方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステップ 1 (回路をつくる) 直列回路、並列回路を作成 (完成図のイラストを用いて提示) →電流計の接続 (イラストを用いて場所を提示) ・ステップ 2 (電流の大きさをはかる) 電流計の目盛りを読む (文章で指示) <p>○実験の結果 (一例をイラストと文章にて提示)</p> <p>○実験の考察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考察のポイントを提示 (文章) <p>○豆電球を流れる電流を水流に例えたイラストで提示 (3パターン)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①豆電球 1 個の回路の場合 ②豆電球 2 個の直列回路の場合 ③豆電球 2 個の並列回路の場合 	<p>○実験の見通し (p40～p43)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「疑問」「目的」「方法」「結果」「考察」に区分。 ・項目名は疑問のみ枠囲み、太字で表示。 <p>○実験器具の使い方について、イラストと文章で提示、且つ注意事項をピクトグラムと赤字で提示。</p> <p>○実験の手順 (方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステップ 1 (水酸化ナトリウムを加える) BTB 溶液入りの塩酸が青色に変化 (写真提示) ・ステップ 2 (塩酸を加える) 水溶液が緑色に変化 (写真提示) ・ステップ 3 (水に溶けている物質を調べる) 水溶液を蒸発させて残った物質を調べる。 <p>○実験の結果 (物質の結晶を写真提示)</p> <p>○実験の考察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考察のポイントを提示 (文章) <p>○水溶液を加えている過程について、イオンモデルを用いたイラストがある。</p> <p>○水溶液の性質と指示薬の反応について、写真付きの解説で確認できるようになっている。</p>

大 日 本	<p>○実験の見通し (p167～p170)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「疑問」「目的」「着目点」、「方法」「結果」「考察」に区分。 ・項目名は枠囲みの序列なし。 ・実験を直列回路と並列回路に分けて提示。 <p>○実験の手順 (方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステップ 1 (回路をつくる) 直列回路を作成 (完成図のイラストと回路図の両方を提示) →電流計の接続 (回路図上に場所の提示) ・ステップ 2 (電流の大きさをはかる) 電流計の目盛りを読む (記入表の提示) ・同様に並列回路も実験を進める。 <p>○実験の結果 (一例を表と回路図上に提示)</p> <p>○実験の考察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考察のポイントを提示 (文章)。 <p>○豆電球を流れる電流を水流に例えたイラストを提示 (2パターン)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①豆電球 2 個の直列回路の場合 ②豆電球 2 個の並列回路の場合 	<p>○実験の見通し (p210～p213)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「疑問」「目的」「着目点」「方法」「結果」「考察」に区分。 ・項目名は枠囲みの序列なし。 <p>○実験器具の正しい使い方についてイラストと文章で提示、且つ注意事項を黄色の枠囲みで提示。</p> <p>○実験の手順 (方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステップ 1 (水酸化ナトリウムを加える) BTB 溶液入りの塩酸が青色に変化 (イラスト提示) ・ステップ 2 (塩酸を加える) 水溶液が緑色に変化 (イラスト提示) ・ステップ 3 (水に溶けている物質を調べる) 水溶液を蒸発させて残った物質を調べる。 <p>○実験の結果 (物質の結晶を写真で提示)</p> <p>○実験の考察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考察のポイントを提示 (文章) <p>○水溶液を加えている過程について、イオンモデルを用いたイラストがある。</p> <p>○水溶液の性質と指示薬の反応について、写真付きの解説で確認できるようになっている。</p>
学 図	<p>○実験の見通し (p141～p146)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「気付き」「課題」「仮説」「計画」「方法」「結果」「考察」に区分。 ・項目名は枠囲みと色分けで提示。 ・実験を直列回路と並列回路に分けて提示。 <p>○実験の手順 (方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステップ 1 (回路をつくる) 直列回路を作成→電流計の接続 (写真による提示と回路図上に場所を提示) ・ステップ 2 (電流の大きさをはかる) 電流計の目盛りを読む (記入表の提示) ・同様に並列回路も実験を進める。 ・電圧を計測する実験も同時展開 <p>○実験の結果 (一例を表にて提示)</p> <p>○実験の考察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考察のポイントを提示 (文章)。 <p>○豆電球を流れる電流を水流に例えたイラストを提示 (2パターン)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①豆電球 2 個の直列回路の場合 ②豆電球 2 個の並列回路の場合 	<p>○実験の見通し (p139～p143)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「疑問」「目的」「方法」「結果」「考察」に区分。 ・項目名は枠囲みと色分けで提示。 <p>○実験器具の使い方について写真とイラスト、文章で提示、且つ注意事項を黄色の枠囲みで提示。</p> <p>○実験の手順 (方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステップ 1 (水酸化ナトリウムを加える) BTB 溶液入りの塩酸が青色に変化 (写真提示) ・ステップ 2 (塩酸を加える) 水溶液が緑色に変化 (写真提示) ・ステップ 3 (水に溶けている物質を調べる) 水溶液を蒸発させて残った物質を調べる。 <p>○実験の結果 (物質の結晶を写真で提示)</p> <p>○実験の考察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考察のポイントを提示 (文章) <p>○水溶液を加えている過程について、イオンモデルを用いたイラストがある。</p> <p>○水溶液の性質と指示薬の反応について、写真付きの解説で確認できるようになっている。</p>

<p style="text-align: center;">教 出</p>	<p>○実験の見通し (p235～p239)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「課題」「方法」「結論」に区分。 ・項目名は枠囲みと色分けで提示。 ・実験を直列回路と並列回路に分けて提示。 <p>○実験の手順 (方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①～③と順序立てて提示。 ①電流計、電圧計を接続した直列回路をつくる (完成図のイラストと回路図の両方を提示) ②③各点の電流、電圧の大きさを測定。 ・電圧の実験も同時展開している。 <p>○実験の結果 (一例を表と回路図上に提示)</p> <p>○結論の提示 (文章)</p> <p>○別ページ(p239)に電流を水流に例えたイラストを提示 (2パターン)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①抵抗 2 個の直列回路の場合 ②抵抗 2 個の並列回路の場合 	<p>○実験の見通し (p34～p36)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「課題」「目的」「方法」「結果」「考察」に区分。 ・項目名は枠囲みと色分けで提示。 <p>○実験器具の使い方をイラストと文章で提示、且つ注意事項をピクトグラムと赤字で提示。</p> <p>○実験の手順 (方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステップ 1 (水酸化ナトリウムを少量ずつ加える) BTB 溶液入りの塩酸が緑色に変化 (イラスト提示) ・ステップ 2 (水に溶けている物質を調べる) 水溶液を蒸発させて残った物質を調べる。 <p>○実験の結果 (物質の結晶を写真で提示)</p> <p>○実験の考察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考察のポイントを提示 (文章) <p>○水溶液を加えている過程について、イオンモデルを用いたイラストがある。</p> <p>○水溶液の性質と指示薬の反応について、写真付きの解説で確認できるようになっている。</p>
<p style="text-align: center;">啓 林 館</p>	<p>○実験の見通し (p217～p220)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「課題」「仮説」「計画」「結果」「考察」に区分。 ・項目名は丸囲みで提示。 <p>○実験の手順 (方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステップ 1 (直列回路をつくる) 直列回路を作成→電流の計測 (イラストと回路図で測定場所を提示) ・ステップ 2 (並列回路をつくる) 並列回路を作成→電流の計測 (イラストと回路図で測定場所の提示) <p>○実験の結果 (文章でまとめ方を指示→別ページに結果がまとめられている)</p> <p>○実験の考察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考察のポイントを提示 (文章) <p>○豆電球を流れる電流を水流に例えたイラストを提示 (2パターン)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①豆電球 2 個の直列回路の場合 ②豆電球 2 個の並列回路の場合 	<p>○実験の見通し (p152～p158)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「疑問」「目的」「方法」「結果」「考察」に区分。 ・項目名は丸囲みで提示。 <p>○実験器具の使い方をイラストと文章で提示、且つ注意事項をピクトグラムと赤字で提示。</p> <p>○実験の手順 (方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステップ 1 (塩酸を加える) フェノールフタレイン溶液入りの水酸化ナトリウム (赤色) が無色に変化 (イラスト提示) ・ステップ 2 (水に溶けている物質を調べる) 水溶液を蒸発させて残った物質を調べる。 <p>○実験の結果 (物質の結晶を写真で提示)</p> <p>○実験の考察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考察のポイントを提示 (文字情報) <p>○水溶液を加えている過程について、イオンモデルを用いたイラストがある。</p> <p>○水溶液の性質と指示薬の反応について、写真付きの解説で確認できるようになっている。</p>

【理科】聴覚障害

観点	○耳の構造や聞こえの仕組み、音声に関わる内容について、写真やイラストとともに説明された内容がある（巻末資料は含まない。）。
対象・方法	第1学年身近な物理現象「音の性質」及び第2学年刺激と反応「感覚器官」における、耳の構造や聞こえの仕組み、音声に関する内容の扱いの有無。

	第1学年 「音の性質」	第2学年 「感覚器官」
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○救急車のサイレン（ドップラー効果）について（文章とイラストで解説）（p165） ○音の高さの聞こえる範囲（ヒトの聞こえの閾値（Hz：ヘルツ）と野生動物の聞こえの閾値の比較）について（文章で解説）（p166） ○声変わり（声帯の変化）について（文章とイラストで解説）（p166） 	<ul style="list-style-type: none"> ○耳の構造のイラストが提示されている。 ○耳の各部位の名称が提示されている。 <ul style="list-style-type: none"> ・鼓膜、耳小骨、うずまき管、感覚神経 ・耳小骨、うずまき管について補足説明がある。 ○空気の振動の伝わり方が矢印で示されている。 ○音刺激の伝達の説明が文章で示されている。 ○音を感じる方向について記載がある。（p150）
大日本	<ul style="list-style-type: none"> ○音（空気）の振動が鼓膜の振動へと伝わることについて（文章と写真、イラストで解説）（p164） ○音の反射（こだま）と耳介の役割（收音効果）について（文章と写真、イラストで解説）（p164） ○人の可聴音等（Hz：ヘルツ）について（文章で解説）（p169） ○音階と音色について（文章とイラストで解説）（p169） ○救急車のサイレン（ドップラー効果）について（文章とイラストで解説）（p170） ○音の大きさを表す単位（dB：デシベル）と具体例について（文章と表で解説）（p170） ○音の響きを作り出す環境について（文章と写真等で解説）（p171） 	<ul style="list-style-type: none"> ○耳の構造のイラストが提示されている。 ○耳の各部位の名称が提示されている。 <ul style="list-style-type: none"> ・鼓膜、耳小骨、うずまき管、神経 ・鼓膜、耳小骨、うずまき管について補足説明がある。（p138） ○コウモリ、イルカ、クジラが聴覚器官を利用して獲物を探し出すことについて示されている。（p140）
学図	<ul style="list-style-type: none"> ○音（空気）の振動が鼓膜の振動へと伝わることについて（文章と写真、イラストで解説）（p123） 	<ul style="list-style-type: none"> ○耳の構造のイラストが提示されている。 ○耳の各部位の名称が提示されている。 <ul style="list-style-type: none"> ・鼓膜、耳小骨、うずまき管、神経 ○空気の振動が鼓膜を振動させると補足説明がある。（p119）
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○音（空気）の振動が鼓膜の振動へと伝わることについて（文章とイラストで解説）（p236） ○音が認識される仕組みについて（文章とイラストで解説）（p236） ○音の聞こえる範囲（ヒトの聞こえの閾値（Hz：ヘルツ）と野生動物の聞こえの閾値の比較）について（文章と表で解説）（p241） 	<ul style="list-style-type: none"> ○耳の構造のイラストが提示されている。 ○耳の各部位の名称が提示されている。 <ul style="list-style-type: none"> ・外耳道、鼓膜、耳小骨、うずまき管、聴神経 ○音刺激の伝達の説明が文章で示されている。（p135）

<p style="text-align: center;">啓 林 館</p>	<p>○声の出る仕組み（声帯の振動）について （文章と写真で解説）（p223）</p> <p>○音（空気）の振動が鼓膜の振動へと伝わる ことについて（文章とイラストで解説） （p224）</p>	<p>○耳の構造、空気の振動のイラストが提示されて いる。</p> <p>○耳の各部位の名称が提示されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鼓膜、耳小骨、うずまき管、聴神経 ・鼓膜、耳小骨、うずまき管について補足説明 がある。 <p>○音刺激の伝達の説明が文章で示されている。 （p53）</p>
--	---	--

【理科】 肢体不自由・病弱

観点	○実験や観察の様子が写真や図、イラストにより示されている内容がある
対象・方法	第1学年「身のまわりの物質」及び第2学年「生物の体のつくりとはたらき」における写真や図、イラストの掲載数

	第1学年「身のまわりの物質」	第2学年「生物の体のつくりとはたらき」
東書	○写真の掲載数 205 ○図やイラストの掲載数 88 ○吹き出し等の付いたイラストの掲載数 59	○写真の掲載数 209 ○図やイラストの掲載数 131 ○吹き出し等の付いたイラストの掲載数 49
大日本	○写真の掲載数 152 ○図やイラストの掲載数 96 ○吹き出し等の付いたイラストの掲載数 49	○写真の掲載数 183 ○図やイラストの掲載数 202 ○吹き出し等の付いたイラストの掲載数 66
学図	○写真の掲載数 154 ○図やイラストの掲載数 46 ○吹き出し等の付いたイラストの掲載数 118	○写真の掲載数 151 ○図やイラストの掲載数 94 ○吹き出し等の付いたイラストの掲載数 125
教出	○写真の掲載数 95 ○図やイラストの掲載数 94 ○吹き出し等の付いたイラストの掲載数 45	○写真の掲載数 98 ○図やイラストの掲載数 173 ○吹き出し等の付いたイラストの掲載数 39
啓林館	○写真の掲載数 146 ○図やイラストの掲載数 104 ○吹き出し等の付いたイラストの掲載数 46	○写真の掲載数 160 ○図やイラストの掲載数 167 ○吹き出し等の付いたイラストの掲載数 34

【理科】 肢体不自由・病弱

観点	☆上肢や下肢の複雑な動きを必要とする内容がある。
対象・方法	第2学年「地球の大気と天気の変化」及び第3学年「運動とエネルギー」における上肢や下肢の複雑な動きを必要とする学習課題の具体例

	第2学年「地球の大気と天気の変化」	第3学年「運動とエネルギー」
東 書	<p>☆観察・実験・実習は、全部で4箇所。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その中で、タイトル、目的、方法が見開きで提示されている箇所が4箇所。 ・タイトル、目的、方法、ステップ1、ステップ2、結果の見方、考察のポイントが1ページまたは見開きに収まっている。 ・表やグラフの個数 20個 	<p>☆観察・実験・実習は、全部で6箇所。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その中で、タイトル、目的、方法が見開きで提示されている箇所が6箇所。 ・タイトル、目的、実験の方法、ステップ1、ステップ2、ステップ3、結果の見方、考察のポイントが1ページまたは見開きに収まっている。 ・表やグラフの個数 33個
大 日 本	<p>☆観察・実験・実習は、全部で5箇所。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その中で、タイトル、目的、方法が見開きで提示されている箇所が5箇所。 ・タイトル、目的、着目点、必要なもの、方法、結果の整理、結果から考えようが1ページに収まっている。 ・表やグラフの個数 33個 	<p>☆観察・実験・実習は、全部で8箇所。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その中で、タイトル、目的、方法が見開きで提示されている箇所が8箇所。 ・タイトル、目的、着目点、必要なもの、コツ、結果の整理、結果から考えようが1ページまたは見開きに収まっている。 ・表やグラフの個数 33個
学 図	<p>☆観察・実験・実習は、全部で3箇所。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その中で、タイトル、目的、方法が見開きで提示されている箇所が1箇所。 ・タイトル、気づき、課題、仮説、計画、方法、結果、考察が1ページから5ページに収まっている。 ・表やグラフの個数 21個 	<p>☆観察・実験・実習は、全部で11箇所。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その中で、タイトル、目的、方法が見開きで提示されている箇所が5箇所。 ・タイトル、気づき、課題、仮説、計画、方法、結果、考察が1ページから4ページに収まっている。 ・表やグラフの個数 31個
教 出	<p>☆観察・実験・実習は、全部で3箇所。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その中で、タイトル、目的、方法が見開きで提示されている箇所が3箇所。 ・タイトル、目的、準備、方法、結果、考察が1ページに収まっている。 ・表やグラフの個数 15個 	<p>☆観察・実験・実習は、全部で15箇所。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その中で、タイトル、目的、方法が見開きで提示されている箇所が15箇所。 ・タイトル、目的、準備、方法、結果、考察、研究が1ページまたは見開きに収まっている。 ・表やグラフの個数 32個
啓 林 館	<p>☆観察・実験・実習は、全部で6箇所。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その中で、タイトル、目的、方法が見開きで提示されている箇所が6箇所。 ・タイトル、目的、方法、結果、考察が1ページに収まっている。 ・表やグラフの個数 20個 	<p>☆観察・実験・実習は、全部で8箇所。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その中で、タイトル、目的、方法が見開きで提示されている箇所が8箇所。 ・タイトル、目的、方法、結果、考察が1ページまたは見開きに収まっている。 ・表やグラフの個数 43個

音楽（一般）

表記・表現及び使用上の便宜（各障害種共通）

観点 略称	特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮について	判型 総ページ数	図・表等 の掲載数
17 教出	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家による校閲を受け、全ての人にとっての学びを保障するユニバーサルデザインの観点に立って編修しました。 ・紙面全体、文字や図版については、色の組み合わせや濃淡の工夫、また罫線や記号・番号、文字の補助を施すなど、色覚の多様性を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。 ・紙面でもデジタル画面でも、見やすく、読みやすいユニバーサルデザインフォントを要所に使用しています。 	A B 変型 ・ 276	78
27 教芸	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の専門家から助言を得て、活動文の配置を工夫するとともに、見やすく分かりやすい紙面になるよう配慮しました。 ・色覚問題の専門家から助言を得て、色の見分けがつきにくい生徒の色覚特性も考慮した配色を採用しました。 ・ユニバーサルデザインフォントを大部分に使用することで、可読性、可視性が高まるよう配慮しました。 	A B 変型 ・ 294	108

※1 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮：各発行者の第1学年編修趣意書より抜粋。

※2 図・表等の掲載数：各発行者の第1学年教科書から、内容理解を補完するための図及びグラフ・表を計上。

【音楽（一般）】聴覚障害

観点	○鑑賞教材における楽曲の構成や楽器について写真やイラスト等とともに説明された内容がある。
対象・方法	鑑賞教材「春」第1楽章、魔王において、楽曲の構成や音の高低等について写真やイラスト等で説明されている事例

	「春」第1楽章	魔王
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○演奏楽器の構成（写真） ○楽譜の提示と特徴的な旋律に色付け（2箇所）色付けの説明あり ○作曲家肖像画（イラスト） ○ソネットごとに楽譜を提示 ○楽曲の構成について説明（表） ○作曲者の生きた時代（音楽年表） ○楽曲のタイトルを示すイラスト（4枚） ○作曲者の生きた時代（日本の江戸時代との比較） ○楽器の編成と楽器名（写真と写真に色分けした文字で説明） ○楽譜で提示した部分についてソネットごとに気付きを記入することができる表の掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ○「語り」「父」「子」「魔王」に分けた訳詩の提示 ○魔王をイメージすることができる絵画 ○作曲家肖像画（イラスト） ○作詩者ゲーテの肖像画（イラスト） ○着目する二点を提示し、気付きを記入することができる表の掲載 ○作曲者の生きた時代（音楽年表） ○作曲者の生きた時代（日本の江戸時代との比較） ○登場人物ごとに楽譜を提示（ピアノによる前奏含む）
教芸	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽を形づくっている要素の提示 ○楽譜の提示と特徴的な旋律に色付け（1箇所） ○ソネットごとに楽譜を提示 ○楽器の編成（写真） ○チェンバロ奏者の解説（顔写真付き） ○作曲家肖像画（イラスト） ○作曲者の出身国の地図（日本との緯度の比較とイタリアの気候について文字で説明） ○「春」以外のソネットを紹介する表 ○作曲者の生きた時代（日本の江戸時代との比較） ○楽譜で提示した部分についてソネットごとに気付きを記入することができる表の掲載 ○気付きを記入した表を基に話し合いができる項目の設定と記入欄の掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽を形づくっている要素の提示 ○登場人物ごとに楽譜を提示（ピアノによる前奏含む） ○バリトン歌手が歌唱している写真 ○作曲家肖像画（イラスト） ○作詩者ゲーテの肖像画（イラスト） ○作曲者が生きた時代（日本の江戸時代との比較） ○曲想の変化を捉える視点の提示（楽譜とイラスト）

【音楽（一般）】聴覚障害

観点	○歌唱共通教材における歌詞をイメージする補足情報の掲載がある。
対象・方法	歌唱共通教材「夏の思い出」「浜辺の歌」「早春賦」「花」における、歌詞の語句についての補足説明の記載がある事例

	「夏の思い出」	「浜辺の歌」	「早春賦」	「花」
教出	○歌詞の補足説明 ・尾瀬 ・石楠花色 ・浮き島 （尾瀬ヶ原、浮き島、石楠花、水芭蕉、木道、夕暮れの尾瀬ヶ原の写真、尾瀬ヶ原の位置を示した地図）	○歌詞の補足説明 ・あした ・ゆうべ ・もとおれば （朝と夕暮れの辻堂海岸の写真）	○歌詞の補足説明 ・時にあらずと ・角ぐむ ・さては時ぞと・あやにく ・知らでありしを ・急かるる （長野県農具川の写真）	○歌詞の補足説明 ・うらら ・權 ・たとうべき ・見ずや ・あけぼの ・のべて ・錦おりなす ・くるれば ・おぼろ月 ・げに ・一刻も千金 （明治時代と現代の隅田川写真、明治時代の浮世絵、青柳と桜の写真）
教芸	○歌詞の補足説明 ・尾瀬 ・石楠花色 ・浮き島 （尾瀬ヶ原と至仏山、浮き島、木道、石楠花、水芭蕉、尾瀬ヶ原の位置を示した写真、尾瀬ヶ原の位置を示した地図）	○歌詞の補足説明 ・あした ・ゆうべ ・もとおれば （朝と夕暮れの辻堂海岸の写真）	○歌詞の補足説明 ・時にあらずと ・角ぐむ ・さては時ぞと ・思うあやにく ・知らでありしを （長野県大町市の写真）	○歌詞の補足説明 ・うらら ・權 ・たとうべき ・見ずや ・あけぼの ・錦おりなす ・長堤 ・くるれば ・げに ・一刻も千金の （明治時代と現代の隅田川写真、柳、おぼろ月、權と露にぬれた桜の写真、桜の花、花びらが水面にゆれる様子、柳、おぼろ月のイラスト）

【音楽（一般）】肢体不自由・病弱

観点	☆上肢や下肢の複雑な動きを必要とする内容がある。
対象・方法	表現領域における、上肢や下肢の複雑な動きを必要とする題材

	上肢の複雑な動きを必要とする内容がある題材	上肢と下肢の複雑な動きを必要とする内容がある題材
教出	<p>☆指揮をしてみよう 1年：基本の形と演奏の始め方、いろいろな拍子の指揮の例が取り上げられている。 2・3年下：合唱曲「ぜんぶ」の曲の始まり、歌い出し、旋律の繰り返しと強弱、山場、終結への指揮の振り方について取り上げている。</p> <p>☆箏曲「六段の調」（1年） 引き色、後押し、押し手の奏法が取り上げられている。</p> <p>☆歌うための準備（2・3年上） 歌う前のストレッチとして、首・肩・脇腹の動かし方について掲載してある。</p> <p>☆リズムパターンをつくろう（2・3年上） 作ったリズムで、膝打ち、手拍子や楽器を用いて表現することが課題となっている。</p> <p>☆雅楽「越天楽」（2・3年上） 唱歌の時の膝の打ち方に習って打つことが課題となっている。</p>	<p>☆長唄「勸進帳」をうたおう（2・3年下） ・唄と三味線の演奏が課題となっている。 ・長唄を歌う時、背筋を伸ばすこと、椅子に腰掛けて歌う時にも、正座をしている時の上半身の様子をイメージすることが掲載されている。</p>
教芸	<p>☆指揮をしてみよう！ 1年、2・3年下：ウォーミングアップとしての腕の動かし方、さまざまな拍子、予備拍、強弱、曲想について取り上げている。</p> <p>☆箏曲「六段の調」（1年） 引き色、後押しの奏法が取り上げられている。</p> <p>☆My Voice!（2・3年下） 歌う時の姿勢について、上半身をリラックスさせ、バランスのよい姿勢を保つことが課題となっている。</p> <p>☆謡「敦盛」「中之舞」（2・3年下） 大鼓や小鼓の手を打ったりして、舞の音楽を体験することが課題となっている。</p> <p>☆謡「敦盛」（2・3年下） 演奏者からのアドバイスに、背筋を伸ばすことの説明がある。</p>	<p>☆長唄「勸進帳」（2・3年上） ・演奏者からのアドバイスで、背筋を伸ばし、おなかの底から息を出すような感じで唄うことが説明されている。</p>

【音楽（一般）】肢体不自由・病弱

観点	☆教科書の記入する枠の大きさが、上肢の複雑な動きを必要とするものがある。
対象・方法	第1学年の表現領域において、上肢の複雑な動きを必要とする、教科書の記入欄の枠の大きさ

上肢の複雑な動きを必要とする、教科書の記入欄の枠の大きさ	
教出	<p>☆「ドレミの歌」「エーデルワイス」の特徴を比較する記入欄 曲の特徴について：1.5cm×7.3cm、表現の工夫について：1.5cm×7.1cm</p> <p>☆「明日を信じて」の記入欄 各パートの役割を確認：1.9cm×9.5cm 山場の部分：1.9cm×2.5cm、山場の部分の特徴：1.9cm×12.0cm</p> <p>☆「郷土のさまざまな民謡」の特徴について調べる 8.0cm×11.2cm</p> <p>☆「日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう」 活動4の1マス：1.0cm×0.9cm 活動5の1マス：1.4cm×0.9cm 活動6の1マス：1.0cm×0.9cm</p> <p>☆「全体の構成を考えながら音楽をつくろう」 活動4の1マス：1.6cm×16.6cm 活動5の1マス：1.4cm×3.8cm 活動6のストーリーの1行：1.3cm×13.4cm 活動6の構成図：7.0cm×16.6cm</p> <p>☆ヴィヴァルディ作曲「四季」の記入欄 1.3cm×7.3cm ☆シューベルト作曲「魔王」の記入欄 1.5cm×14.3cm ☆「日本とアジアをつなぐ音」の記入欄の1行 1.6cm×15.3cm ☆「表現の仕方を調べてみよう」 表の記入欄の1マス：1.5cm×4.6cm、話し合おうの記入欄：2.7cm×17.2cm ☆「どんな特徴があるのかな？」 話し合おうの記入欄：4.9cm×17.2cm</p>
教芸	<p>☆リズムゲーム 選んだリズムの気に入ったことの記入欄：2.0cm×15.5cm</p> <p>☆リズムチャレンジ つくったリズムについての記入欄：1.6cm×16.5cm</p> <p>☆S.C.フォスター作曲「主人は冷たい土の中に」 旋律の特徴の記入欄の1マス：1.8cm×5.9cm 強弱、終わりの音の階名、旋律の雰囲気：1.8cm×1.8cm</p> <p>☆My Melody イメージを表現するために、音のつながり方を工夫した点の記入欄の1行：0.7cm×9.9cm</p> <p>☆自分たちの表現を工夫しよう 音楽の特徴の記入欄：4.2cm×9.0cm、歌詞の内容の記入欄：7.6cm×5.5cm 深めよう⑦の記入欄：1.8cm×15.2cm</p> <p>☆自分たちの表現を工夫しよう ③の記入欄の1マス：3.0cm×8.0cm</p> <p>☆イメージと音楽 ①②③の記入欄：2.3cm×15.5cm</p> <p>☆Let's Create!ワークシート アの記入欄：1.0cm×3.0cm イの記入欄：1.2cm×4.8cm ウの記入例：3.1cm×4.8cm エの記入欄：2.2cm×4.8cm</p> <p>☆ヴィヴァルディ作曲「四季」の記入欄 ①の記入欄の聞き取ったこと：1.2cm×7.5cm、感じ取ったこと：1.2cm×7.6cm ③の記入欄：1.9cm×16.3cm</p> <p>☆雅楽「平調 越天楽」の響きを味わおう ①の記入欄：2.3cm×9.9cm ③の記入欄：2.3cm×9.7cm ④の記入欄：2.3cm×16.3cm</p> <p>☆アジアの諸民族の音楽を探ろう ③の記入欄の1マス：1.3cm×12.3cm ⑤の記入欄：1.7cm×16.6cm</p>

【音楽（一般）】病弱

観点	○健康・医療・病気に関わる内容がある。
対象・方法	鑑賞領域における、健康・病気・医療・教育及び福祉に関わる内容の説明

	健康・病気に関わる内容	医療・教育及び福祉に関わる内容
教出	<p>○シューベルト作曲「魔王」（1年） 作曲者の紹介で、オーストリアのウィーン郊外に生まれたシューベルトは、31歳という短い生涯だったが、600曲以上のリート、交響曲や室内楽曲を残したと説明がある。</p> <p>○モーツァルト作曲「きらきら星変奏曲」（1年） 作曲者の紹介で、オーストリア生まれのモーツァルトは、35年の短い生涯に、器楽曲、交響曲、オペラなどの幅広い分野に渡り、600曲以上を作曲したと説明がある。</p>	<p>○音楽のチカラで人と社会を未来へつなぐ（2・3年下）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アウトリーチ（ふだん、コンサート活動にふれる機会が少ない地域や人たちのところに、演奏者が出向いて音楽を楽しんでもらう活動）が紹介してある。（クラシック音楽、我が国や郷土の伝統音楽、歌舞伎） ・音楽をとおした教育活動として、子どものころに先生や友達と一緒にやる様子が紹介してある。
教芸	<p>○シューベルト作曲「魔王」（1年） 作曲者の紹介で、オーストリアのウィーン郊外で生まれたシューベルトは、13歳頃には作曲を始め、31歳でなくなるまで、管弦楽曲や室内楽曲、ピアノ曲、リート、宗教音楽などを残したと説明がある。</p> <p>○八橋検校作曲 箏曲「六段の調」（1年） 箏の説明で、江戸時代には、主に視覚障害のある音楽家たちによって伝えられたと説明がある。また、作曲者の紹介で、福島県いわき市に生まれた八橋検校は、25歳頃には視覚障害のある音楽家などで作られる組織の最高位である検校になったと説明がある。</p> <p>○L.v. ベートーヴェン作曲 交響曲第5番ハ短調（2・3年上） 作曲者の紹介で、ベートーヴェンは、30歳頃には作曲家として高い評価を得るようになったが、聴力をほとんど失ってしまった。しかし、56歳で亡くなるまで作曲を書き続けたと説明がある。</p> <p>○滝廉太郎作曲「荒城の月」（2・3年上） 作曲者の紹介で、東京生まれの滝廉太郎は、ドイツに留学したが病気になり、帰国後23歳で亡くなったと説明がある。</p>	<p>○生活や社会の中の音や音楽（2・3年上）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演奏家が中学生や高校生たちの間近で演奏する活動が紹介してある。 ・家にいながらライブやコンサートの雰囲気味わうオンラインや生配信を視聴できる取組が紹介してある。 <p>（2・3年下）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療や介護の分野でも心身のケアのために音楽の力が活用されていることが紹介してある。

音楽（器楽合奏）

表記・表現及び使用上の便宜（各障害種共通）

観点 略称	特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮について	判型 総ページ数	図・表等 の掲載数
17 教出	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家による校閲を受け、全ての人にとっての学びを保障するユニバーサルデザインの観点に立って編修しました。 ・紙面全体、文字や図版については、色の組み合わせや濃淡の工夫、また罫線や記号・番号、文字の補助を施すなど、色覚の多様性を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。 ・紙面でもデジタル画面でも、見やすく、読みやすいユニバーサルデザインフォントを要所に使用しています。 	A B 変型 ・ 106	252
27 教芸	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の専門家から助言を得て、活動文の配置を工夫するとともに、見やすく分かりやすい紙面になるよう配慮しました。 ・色覚問題の専門家から助言を得て、色の見分けがつきにくい生徒の色覚特性も考慮した配色を採用しました。 ・ユニバーサルデザインフォントを大部分に使用することで、可読性、可視性が高まるよう配慮しました。 	A B 変型 ・ 106	214

※1 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮：各発行者の編修趣意書より抜粋。

※2 図・表等の掲載数：各発行者の教科書から、内容理解を補完するための図及びグラフ・表を計上。

【音楽（器楽合奏）】聴覚障害

観点	☆楽器の奏法などについて長文で説明された内容がある。
対象・方法	器楽における「ギター」の奏法、調弦や楽器の種類等共通する説明内容及び文字数

	説明内容及び文字数
教出	<p>☆冒頭の楽器について（説明） 「・ギターの祖先と考えられる楽器は13世紀頃まで遡ります。現在のギター（クラシック・ギター）は19世紀にスペインで改良されたものです。 ・クラシック・ギターは20世紀に入ると、独奏楽器として確立されました。一方、エレクトリック・ギターなど、さまざまなタイプのギターが開発されました。」（134文字）</p> <p>☆チューニング（調弦） 「チューニングのポイントは正しい音程に合わせることに、合わせた状態をより長く保つことです。低めの音からペグを締め、音を徐々に上げて合わせると安定します。」（76文字）</p> <p>☆アポヤンド奏法 「弦を弾いた後、指を隣の弦に当てて止めます。」（21文字）</p> <p>☆アル・アイレ奏法 「弦を弾いた後、指は隣の弦に触れません。アルペッジョ（分散和音）ではアル・アイレ奏法を用います。」（47文字）</p> <p>☆コードについて（説明） 「いくつかの音が同時に鳴ることをコード（和音）といいます。コードネームは、英語の音名（C、D、E、F、G、A、B）と数字などを組み合わせた、各コードの構成音を表す記号のことです。」（88文字）</p> <p>☆ストローク奏法 「左手でコードを押さえ、右手で何本かの弦を同時に弾くことをストローク奏法といいます。一般的にクラシック・ギターでは指を、フォークギターではピックを使って弾きます。」（80文字）（説明の写真5枚）</p>
教芸	<p>☆冒頭の楽器について（説明） 「・ギターの直接の起源と考えられるものが初めて記録に登場するのは、13世紀のことです。その後、ギターの仲間に分類される楽器が数多く現れました。 ・現在みられるクラシックギターは19世紀末にスペインで開発され、タレガやセゴビアといった名演奏家によって奏法が確立されました。 ・20世紀に入るとさまざまな種類のギターが作られ、ジャズやロックなど幅広いジャンルで用いられるようになりました。」（183文字）</p> <p>☆チューニング（調弦） 「演奏する前には必ずチューニングをしましょう。ペグを締めると音が高くなり、緩めると音が低くなります。」（50文字）</p> <p>☆ストローク奏法 「左手でコードを押さえ、右手で何本かの弦を同時にかき鳴らす奏法です。クラシックギターでは指を使い、フォークギターではピックを用いてストロークを行うのが一般的です。」（80文字）（説明の写真3枚）</p> <p>☆コードについて（説明） 「コードを示す「G」や「Em」などの記号を「コードネーム」といいます。コードネームは、コードのもとになる音の英語音名と構成音を記号で表したもので、ポップスなどの楽譜で用いられます。」（89文字）</p> <p>☆アポヤンド奏法 「旋律を弾いたり、低音をしっかりと鳴らしたりするときに適しています。弦をはじいた指は隣の弦に当てて止める。」（52文字）</p> <p>☆アル アイレ奏法 「旋律だけでなく、和音を同時に、またはアルペッジョ（分散和音）で弾くときに適しています。弦をはじいた指は手のひらの方向へ。」（60文字）</p>

【音楽（器楽合奏）】聴覚障害

観点	○楽器の奏法について、写真やイラスト等とともに説明された内容がある。
対象・方法	器楽における「太鼓」「箏」において、楽器の各部名称や種類、奏法について写真やイラストで説明されている事例

	「太鼓」	「箏」
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○太鼓の種類（写真4種類） ○ばちの説明と持ち方について（写真7枚） ○かまえ方と打ち方（写真24枚） ※立ち方（足の写真）の説明を含む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各部の名称（写真2枚と名称説明8） ○柱の立て方（写真3枚） ○爪（写真4枚と爪の形のイラスト及ぶ名称2枚） ○姿勢とかまえ方（写真4枚） ○親指による基本的な奏法（写真4枚と動かす方向を矢印で提示） ※親指による奏法の説明のみ。 ○奏法（押し手）（写真2枚と弾く弦に着色） ○いろいろな奏法（写真5枚と弾く弦に着色5、動かす方向を矢印で提示5）
教芸	<ul style="list-style-type: none"> ○太鼓の種類（写真4種類） ○姿勢と構え方、打ち方（写真11枚） ○ばちの持ち方（写真5枚） ○打つ位置の工夫（イラスト1枚） 	<ul style="list-style-type: none"> ○各部の名称（写真3枚と名称説明10） ○柱の立て方（写真3枚） ○爪（写真4枚） ○姿勢と構え方（写真6枚） ○基本的な奏法（写真4枚と真ん中の弦に着色） ※親指及び中指・人さし指の説明あり。 ○糸の響き（写真と矢印等で響く箇所を提示） ○いろいろな奏法（写真8枚と弾く弦に着色3、動かす方向を矢印で提示4）

【音楽（器楽合奏）】 肢体不自由・病弱

観点	☆器楽の活動における、体育的活動や身体表現を含む内容がある。
対象・方法	器楽の活動における、体育的表現や身体表現を含む内容がある題材の具体例

	体育的表現を含む内容がある題材の具体例	身体表現を含む内容がある題材の具体例
教出	<p>☆太鼓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ばちについて、太いばち、細いばちで持ち方の違いが説明されている。 ・かまえ方と打ち方 正対がまえとして、長胴太鼓を檜台に置いた場合と伏せ台に置いた場合、締太鼓を立奏台に置いた場合と座奏台に置いた場合、桶胴太鼓を立奏台に置いた場合、横対がまえ、右片がまえ、斜対がまえ、田楽がまえについて取り上げられている。 ・基本のリズムを打つ課題が掲載されている。 	<p>☆ボディーパーカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ジョイフル コンビネーション1」、 「ジョイフル コンビネーション2」： 手拍子、膝打ち、足踏みで構成されている。
教芸	<p>☆太鼓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姿勢と構え方 長胴太鼓、桶胴太鼓、締太鼓（立位、あぐら位、正座）が取り上げられている。 ・ばちの持ち方 ・打ち方として、長胴太鼓を檜台に置いた場合、桶胴太鼓を担いだ場合を取り上げている。 ・地打ち、表打ちのリズムの課題が提示されている。 	<p>☆ボディーパーカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Session I」： 手拍子、足踏みの構成。 ・「クラッピング ラプソディ 第1番」： 手拍子1、手拍子2、旋律楽器で構成されている。

【音楽（器楽合奏）】 肢体不自由・病弱

観点	☆上肢や下肢の複雑な動きを必要とする内容がある。
対象・方法	器楽の活動における、上肢や下肢の複雑な動きを必要とする内容がある題材の具体例

	上肢の複雑な動きを必要とする内容がある題材	上肢と下肢の複雑な動きを必要とする内容がある題材
教出	<p>☆リコーダー</p> <ul style="list-style-type: none"> 姿勢とかまえ方、指番号、チューニングについて説明がある。 サミングを用いて演奏する楽曲： 金子健治作曲「サムのひとりごと」、他9曲が掲載されている。 トリルを用いて演奏する楽曲： J.S. バッハ作曲「ブランデンブルク協奏曲第2番から第2楽章」「ブランデンブルク協奏曲第4番から第1楽章」が紹介されている。 <p>☆篠笛</p> <ul style="list-style-type: none"> 姿勢とかまえ方、運指について説明がある。 さし指を用いた楽曲： わらべ歌「たこたこあがれ」「ひらいたひらいた」が掲載されている。 新しい音（七×、七×、0）を用いた楽曲： 日本古謡「さくらさくら」 新しい音（三×、三×）を用いた楽曲： 日本古謡「子守歌」「祭囃子」が掲載されている。 <p>☆ギター</p> <ul style="list-style-type: none"> 姿勢とかまえ方、アポヤンド奏法、アル・アイレ奏法、ストローク奏法、アルペッジョについての説明、楽曲が掲載されている。 <p>☆箏</p> <ul style="list-style-type: none"> 姿勢とかまえ方、生田流・山田流の奏法、押し手についての説明、楽曲が掲載されている。 <p>☆三味線</p> <ul style="list-style-type: none"> 姿勢とかまえ方、左手のかまえ方、ばちの持ち方、基本的な奏法、勘所の押さえ方、スクイ・ハジキ・打ち指の説明、楽曲が掲載されている。 	<p>☆ギター</p> <ul style="list-style-type: none"> 演奏の時の姿勢についての説明 「肩には力を入れない。背筋を伸ばす。」 「左足の太もも、右足の付け根付近、胸、右ひじの内側（少し手首寄り）にギターが触れる。これらの部分でバランスよく支える。」 <p>☆三味線</p> <ul style="list-style-type: none"> 演奏の時の姿勢についての説明 「正座をする場合も椅子に座る場合も、ともに両膝を握り拳一つ分くらい開き、体全体をリラックスさせて座る。」 「膝ゴムを右太ももに置き、その上に三味線の胴をのせる。胴は自分の体の方に少し傾け、ばちを持った右腕を胴の角にのせる。」
教芸	<p>☆リコーダー</p> <ul style="list-style-type: none"> 指番号、チューニング、右指の小指の添え方について説明がある。 サミングを用いた楽曲： スコットランド民謡「アニーローリー」、他9曲が掲載されている。 <p>☆ギター</p> <ul style="list-style-type: none"> 姿勢と構え方、左手・右手の押さえ方、コードの押さえ方、ストローク奏法、アポヤンド奏法、アル・アイレ奏法についての説明、楽曲が掲載されている。 <p>☆箏</p> <ul style="list-style-type: none"> 姿勢と構え方、角爪・丸爪の奏法、かき爪、割り爪、押し手、押放、引き色、合せ爪の説明、楽曲が掲載されている。 <p>☆三味線</p> <ul style="list-style-type: none"> 姿勢と構え方、左手の構え方、基本的な奏法、勘所の押さえ方についての説明、楽曲が掲載されている。 <p>☆太鼓</p> <ul style="list-style-type: none"> 姿勢と構え方、ばちの持ち方、打ち方についての説明、楽曲が掲載されている。 <p>☆篠笛</p> <ul style="list-style-type: none"> 姿勢と構え方、運指、指打ちについての説明、楽曲が掲載されている。 	<p>☆ギター</p> <ul style="list-style-type: none"> 演奏の時の姿勢についての説明 「背筋を伸ばし、肩の力を抜く。」「ヘッドは目の高さにし、肩より下がらないように。」「正しい姿勢で演奏できるように、足台を用いるとよい。」 <p>☆三味線</p> <ul style="list-style-type: none"> 演奏の時の姿勢についての説明 「両膝の間隔を握り拳一つ分くらい開き、上体をやや前に倒し、腰を伸ばして正座する。」「椅子に座る場合、浅く腰掛け、背もたれに寄りかからないようにする。」「膝ゴムを右足の付け根と膝頭の間中に置き、その中心に三味線の胴をのせる。」「右腕の手首から6～7cmの辺りが、胴かけの中心よりやや根緒寄りに当たるようにして構える。」「二の糸巻が頬から耳の高さになるように。」「腕をリラックスさせ、肘を自然に開く。」

美術

表記・表現及び使用上の便宜（各障害種共通）

観点 略称	特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮について	判型 総ページ数	図・表等 の掲載数
9 開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育やインクルーシブ教育、カラーユニバーサルデザインなどに対応している。 	A 4 変型 ・ 200	184
38 光村	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の全てのページについて、専門家の校閲を受けました。 色に頼ることなく線の種類や濃淡でも識別できること、色覚特性により判別しにくくなる色の組み合わせは行わないことなどを基本に作成しました。 図版と図版の間を空けたり、罫線を引いたりして、境界を明確に区別できるようにしました。 全学年を通して、文字がやや小さくなる場合は、読みやすさを強調してつくられたUDフォントを使用しました。 	A 4 変型 ・ 208	277
116 日文	<ul style="list-style-type: none"> すべての生徒が等しく学べるよう、カラーユニバーサルデザインに配慮して編修しています。 全ての生徒が等しく学べるように、UDフォントを用い、カラーユニバーサルデザインの観点から編集を行うなど、特別支援教育の観点に配慮しています。 	A 4 変型 ・ 198	204

※1 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮：各発行者の第1学年編修趣意書より抜粋。

※2 図・表等の掲載数：各発行者の第1学年教科書から、内容理解を補完するための図及びグラフ・表を計上。

【美術】 視覚障害

観点	○触覚や聴覚等を活用した学習内容がある。
対象・方法	第1学年 美術1の触覚や聴覚等を活用した学習活動を工夫できる題材の具体例

	題材名	事例
開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○木版画の面白さ (p20、21) ○生き生きとした姿を表す (p22、23、24、25) ○ずっと木といっしょに (p44、45、46) ○ずっと木といっしょに (p47) ○炎と共に生きる (p48、49、50、51) ○目を見張る楽しさ (p52、53) ○鑑賞ってなんだろう (p61) ○用具を知って使ってみよう (p70) 	<ul style="list-style-type: none"> ○版を用いた凹凸の表現の作品例と制作方法を掲載している。 ○粘土や木、針金、廃材等の立体作品の作品例と制作例を掲載している。 ○木を用いた立体作品の作品例を掲載している。 ○音の出る木のおもちゃの立体作品の作品例と制作工程を掲載している。 ○焼き物の作品例と制作工程を掲載している。 ○金属、ガラス、磁器等の立体作品の作品例を掲載している。 ○木の立体作品の作品例を掲載している。 ○焼き物の制作工程を掲載している。
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○発想のしかたはさまざま (p14、15) ○自然の形や色を見つめて (p18、19) ○その人らしさを捉える (p22、23) ○響き合う形と色 (p30、31) ○材料に命を吹き込む (p32、33) ○体感ミュージアム「風神・雷神像」 (p36、41、42) ○「デザインや工芸」の世界 (p47) ○体感ミュージアム「火焰型土器」を鑑賞しよう (p58、59) ○生活の中の焼き物 (p60、61) ○木と親しむ暮らし (p62、63) ○世界の仮面と出会う (p64、65) ○版画で表す (美術1別冊資料編 p8、9) ○端末を活用する (美術1別冊資料編 p11) ○紙でつくる (美術1別冊資料編 p14、15) ○粘土でつくる (美術1別冊資料編 p16、17) ○金属でつくる、石でつくる (美術1別冊資料編 p19) ○発想・構想のために (美術1別冊資料編 p24、25) 	<ul style="list-style-type: none"> ○アイデアの生み出し方の説明で、質感、重さを感じ取ることの記述があり、石膏と木の作品例を掲載している。 ○観察する方法として、温度や質感、重さ、手触り等の記述があり、紙、石、木の立体作品の作品例を掲載している。 ○粘土の立体作品の制作例を掲載している。 ○曲を聴いて発想を広げ、音のイメージをスケッチする例を掲載している。 ○木や石、日用品、廃材等の立体作品の制作例を掲載している。 ○木を用いた立体作品を掲載している。 ○木を用いた立体作品の作品例を掲載している。 ○焼き物作品の作品例を掲載している。 ○焼き物作品の作品例を掲載している。 ○様々な木材に触れる場面で、匂いに記述があり、木を用いた立体作品の作品例と制作方法を掲載している。 ○いろいろな素材を用いたお面の立体作品の作品例を掲載している。 ○版を用いた凹凸の表現の作品例を掲載している。 ○「記録する」において、粘土を使用した制作工程を掲載している。 ○紙を用いた立体作品の作品例を掲載している。 ○粘土、焼き物の制作工程を掲載している。 ○金属や石を用いた立体作品の作品例と道具の説明を掲載している。 ○樹脂粘土と磁器、木の立体作品の作品例を掲載している。

<p style="text-align: center;">日 文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の表現をめざして (p10、11) ○見つめて、感じて、描いて (p13) ○そのものらしさを形にして (p14、15) ○人間っておもしろい (p18、19) ○材料に命を吹き込む (p20、21) ○刷って楽しむ版画の世界 (p22、23) ○墨と水が描く世界 (p30) ○原始の美に出会う旅 (p35) ○人の暮らしを豊かに (p36、37) ○暮らしの中の木の工芸 (p48、49) ○暮らしを彩る土の造形 (p50、51) ○自然の美しさから生まれた (p53) ○祭りを彩る造形 (p55) ○学びを支える資料「火焰型土器」 (p56、57) ○学びを支える資料「発想・構想の手立て」 (p58、59) ○学びを支える資料「木版画」 (p64) ○学びを支える資料「木でつくる」 (p66、67) ○学びを支える資料「粘土でつくる」 (p68、69) ○学びを支える資料「美術館へ行こう」 (p73、74) 	<ul style="list-style-type: none"> ○粘土等の立体作品の制作例を掲載している。 ○観察の仕方の工夫として、手に取って感触を確かめる、という記述がある。 ○粘土、石等の立体作品の作品例を掲載している。 ○粘土、石膏の立体作品の作品例を掲載している。 ○粘土、金属、日用品等を用いた立体作品の作品例を掲載している。 ○版を用いた凹凸の表現の作品例を掲載している。 ○生徒作品において、音を表現して制作した作品例を掲載している。 ○土を用いた立体作品の作品例を掲載している。 ○プラスチック、ガラスの立体作品の作品例を掲載している。 ○木を用いた立体作品の作品例を掲載している。 ○焼き物作品の作品例を掲載している。 ○ガラス、ウレタン等の立体作品の作品例を掲載している。 ○いろいろな素材を用いたお面の立体作品の作品例を掲載している。 ○焼き物作品の作品例を掲載している。 ○発砲スチロールやホチキスの芯等を用いた立体作品の作品例を掲載している。 ○木版画版の制作方法と作品例を掲載している。 ○木を用いた立体作品と、凹凸による表現の作品例と制作方法を掲載している。 ○粘土、焼き物の作品例と制作方法を掲載している。 ○美術館の屋外彫刻作品等を掲載している。
--	---	---

【美術】 視覚障害

観点	☆文字や図、写真の色や大きさ、下地の色やコントラスト等に視覚障害への配慮を要する内容がある。
対象・方法	第1学年 文字や図、写真の色や大きさ、下地の色やコントラスト等に配慮が必要な箇所

	具体例
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ☆絵コンテの1つの大きさが19mm×31mmで、文字は7ポイント以下である。(p9) ☆顔写真上の、顔の比率を表す点線や野線が白く、顔の色と同化する部分がある。(p14) ☆23mm×23mmの中に書かれた絵の線の色が薄く細い。(p43) ☆文字の輪郭周りの白地と、背景の写真の木漏れ日の白い部分が重なっている。(p44) ☆背景の写真の木漏れ日の白い部分の上に、ページの数字が白で書かれている。(p44、45) ☆アイデアスケッチ内の文字が7ポイント以下であり、鉛筆の線が細い。(p49) ☆書体を説明する写真内の図の文字が7ポイント以下のものがある。(p56) ☆写真の色が薄く、コントラストが低い。(p59) ☆写真の大きさが20mm×19mmのものがある。(p69) ☆薄い茶色の写真の上に8ポイントの白い文字で書かれている。(p70)
光村	<ul style="list-style-type: none"> ☆水色の下地の上に書かれた文字が白く、7ポイントのものがある。(p3) ☆ピンクの下地の上に書かれた文字が白く、8ポイントのものがある。(p13) ☆29mm×20mmの写真内の背景と白いスケールのコントラストが低い。(p25) ☆22mm×30mmの写真内の背景と白い線枠のコントラストが低い。(p26) ☆「文字を分析してみよう」において、「文字のデザイン発見レポート」内の文字が7ポイント以下のものがある。(p49) ☆アイデアスケッチ内の文字が、7ポイント以下のものがあり、図の中の鉛筆の線が細い(p51) ☆アイデアスケッチ内の文字が7ポイント以下で、線が細い。(p54) ☆アイデアスケッチの線が細い。(p61) ☆図の中の鉛筆の線が細い。(美術1別冊資料編p4、6) ☆白い石や、銀色の金属の針金が背景の白と同化する部分がある。(別冊資料編p13) ☆写真の切り糸の糸が細く、背景の白と同化する部分がある。(別冊資料編p17) ☆写真の大きさが17mm×30mmのものがある。(別冊資料編p23) ☆写真内の白い文字が7ポイント以下であり、背景の白と同化する部分がある。(別冊資料編p23) ☆「マッピング」に書かれた文字が7ポイント以下のものがあり、スケッチの線が細い。(別冊資料編p24)
日文	<ul style="list-style-type: none"> ☆8ポイントの白い文字の下地に薄いベージュ色の小さな点がある。(p6、7) ☆白い石の作品が背景の白と同化する部分がある。(p11) ☆アイデアスケッチ内の文字が7ポイント以下である。(p14) ☆水墨画の「表現のヒント」内の写真において、下敷きの新聞紙と墨で描いたところが同化する部分がある。(p31) ☆写真の大きさが28mm×20mmのものがあり、文字が7ポイント以下のものがある。(p47) ☆アイデアスケッチの大きさが29mm×37mmで、文字が7ポイント以下であり、鉛筆の線が細い。(p51) ☆写真内のスマートフォンの白いところがある画面上に書かれた文字が白く、コントラストが低い。(p59) ☆アイデアスケッチ内の文字が7ポイント以下のものがあり、鉛筆の線が細い。(p61) ☆写真の大きさが19mm×28mmで、写真内の文字が7ポイント以下のものがある。(p65) ☆電動糸のこの写真内にある、名称を示す点線の色が薄い緑色である。(p67) ☆電動糸のこを扱う写真内の薄いベージュ色の板の上に書かれた矢印が白く、コントラストが低い。(p67) ☆白い粘土や白い磁器のお皿の背景が白く、コントラストが低い。(p68) ☆焼き物の「用具の種類」の用具名の文字が7ポイントで、隣り合う用具名の間隔が1mmのところがある。(p69)

【美術】聴覚障害

観点	○実験・観察等の手順及び、用具の扱い方が写真やイラストとともに説明された内容がある。
対象・方法	第1学年 鉛筆で表現するための基本的な技能や色の仕組についての説明事例

	鉛筆で表現するための基本的な技能	色の仕組
開隆堂	<p>スケッチブックから広がる 身近なものを捉えた作品を紹介 p10～13</p> <p>○作品の紹介の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作家と生徒作品で区分 ・作家作品写真4 ・生徒作品写真16 <p>その人らしさが大切 身近な人たちの絵を描こう 作品を紹介 p14～17</p> <p>○作品の紹介の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作家と生徒作品で区分 ・作家作品写真7 ・生徒作品写真4 <p>用具を知って使ってみよう（巻末資料） 様々な用具の使い方を解説 p68～70</p> <p>○効果の紹介の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆の使い方 写真8 	<p>形と色彩の響き合い 偶然に生じた形や色彩からのイメージ、 作品を紹介 p18～19</p> <p>○作品の紹介の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作家と生徒作品で区分 ・作家作品写真3 ・生徒作品写真5 ・その他写真2 <p>構成の美しさ 身近にある美しい構成を紹介 p36～p39</p> <p>○紹介の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真24 ・図5 <p>色彩と光（巻末資料） 色の世界を解説 p64～67</p> <p>○解説の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真18 ・図33 ・作家作品写真2
光村	<p>見つけ、感じ取り、描く 身近なものを捉えた作品を紹介 p16～17</p> <p>○作品の紹介の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒作品写真7 ・観察、表現の手順を掲載した写真6 <p>その人らしさを捉える その人らしさを捉えた作品を紹介 p22～23</p> <p>○作品の紹介の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作家と生徒作品で区分 ・作家作品写真3 ・生徒作品写真3 ・観察、表現の手順を掲載した生徒作品写真等3 <p>心ひかれるこの風景 自分の心ひかれる風景を描こう 作品紹介 p24～27</p> <p>○作品の紹介の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作家と生徒作品で区分 ・作家作品写真4 ・生徒作品写真4 ・観察、表現の手順を掲載した生徒作品写真等8 	<p>自然の形や色を見つめて 自然物をよく観察して美しさや面白さを感じ取ろう 作品紹介 p18～19</p> <p>○紹介の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作家作品写真1 ・生徒作品写真5 ・その他写真9 <p>印象に残るロゴマーク ロゴマークをデザインしよう 作品紹介 p50～51</p> <p>○紹介の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作家作品写真18 ・生徒作品写真2 ・写真4 <p>暮らしを彩る文様 世界各地の文様を紹介 p52～55</p> <p>○紹介の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作家作品写真2 ・観察、表現の手順を掲載した生徒作品写真等9 ・文様の写真32

<p>心ひかれるこの風景 自分の心ひかれる風景を描こう 作品紹介 p24～27</p> <p>○作品の紹介の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作家と生徒作品で区分 ・作家作品写真4 ・生徒作品写真4 ・観察、表現の手順を掲載した生徒作品写真等8 <p>響き合う形と色 形と色を様々な組み合わせさせた絵画を紹介 p30～31</p> <p>○作品の紹介の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作家と生徒作品で区分 ・作家作品写真4 ・観察、表現の手順を掲載した生徒作品写真等3 <p>どうやって描く？ (別冊資料) 描く材料によって印象が変わることを紹介 美術1資料 p2～3</p> <p>○効果の紹介の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真17 <p>鉛筆で描く (別冊資料) ものの形や立体感、奥行きや光の捉え方を解説 p4</p> <p>○効果の紹介の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真6 ・図2 ・表現の手順を掲載した写真2 	<p>気持ちを伝えるデザイン 様々な工夫を凝らしたカードを紹介 p56～57</p> <p>○紹介の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作家作品写真3 ・観察、表現の手順を掲載した生徒作品写真等3 <p>自然の中の形・色・光 (別冊資料) 自然の中にある形・色・光を紹介 美術1資料 p26～27</p> <p>○紹介の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真15 <p>色の世界に出会う (別冊資料) 色の性質を現実世界の写真で解説 美術1資料 p28～29</p> <p>○解説の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真9 <p>色の特徴 (別冊資料) 色の特徴を解説 美術1資料 p30～31</p> <p>○解説の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真6 ・図7 <p>色の効果と配色 (別冊資料) 色の効果と配色を解説 美術1資料 p32～33</p> <p>○解説の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真9 ・図9 <p>日本と世界の伝統色図鑑 色の世界の豊かさを紹介 美術1資料 p34～35</p> <p>○紹介の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真90 ・図90
---	--

日 文	<p>見つめて、感じて、描いて 身近なものを捉えた作品を紹介 p12～13</p> <p>○作品の紹介の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作家と生徒作品で区分 ・作家作品写真2 ・生徒作品写真7 <p>なぜか気になる情景 気になる情景の作品紹介 p16～17</p> <p>○作品の紹介の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作家と生徒作品で区分 ・作家作品写真1 ・生徒作品写真4 ・その他写真2 <p>人間っておもしろい 人物画紹介 p18～19</p> <p>○作品の紹介の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作家と生徒作品で区分 ・作家作品写真2 ・生徒作品写真4 ・その他写真2 <p>どんなふうを描きたい？（巻末資料） 描く材料や描き方によって作品の印象が変わることを 紹介 p62</p> <p>○効果の紹介の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真8 	<p>つなげて広がる模様の世界 文様を紹介 p38～39</p> <p>○紹介の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒作品写真6 ・写真3 ・図14 <p>色彩の基本・仕組み（巻末資料） 色の持つ性質や働きを紹介 p70～73</p> <p>○効果の紹介の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作家作品写真1 ・写真10 ・図17
--------	---	---

【美術】聴覚障害

観点	☆音声、音楽、音等を扱った内容がある（オノマトペは含まない）。
対象・方法	音声、音楽、音等を扱った内容がある事例

	第1学年	第2・3学年
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ・該当なし 	<ul style="list-style-type: none"> ☆つくって体感みんなで体験 p82～85 ・木の特徴を知り、表現する。 楽器や音の鳴る作品を取り扱う内容がある。
光村	<ul style="list-style-type: none"> ☆響きあう形と色 p30～31 ・曲のイメージを描こう。 音楽から受ける印象などを手掛かりに、表現をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・該当なし
日文	<ul style="list-style-type: none"> ☆目次 学びの言葉 p5 ・「曲は色彩、歌詞はデッサン」 松任谷由実さんの言葉。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆イメージを形にすると p20～21 ・感覚や感情、音などのイメージを表現する。

【美術】 肢体不自由・病弱

観点	○情報機器の活用等に関わる内容がある。
対象・方法	第1学年における情報機器の活用等に関わる内容が含まれている事例

第1学年「美術1」	
開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○タブレット端末を扱った内容（事例1） <ul style="list-style-type: none"> ・「生き生きとした姿を表す」 針金で作った人体を撮影し、さまざまな方向から動きをとらえる内容がある。 ○PCを扱った内容（事例3） <ul style="list-style-type: none"> ・「自分の思いを表そう」 アニメーションについての内容がある。 ・「構成の美しさ」 模様をデザインし、制作する内容がある。 ・「著作権を知ろう」 著作権について知る内容がある。 ○二次元コードから資料へアクセスできる（事例15） <ul style="list-style-type: none"> ・生徒作品を紹介している。 ・木版画の技法を紹介している。 等
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○タブレット端末を扱った内容（事例4＋別冊資料事例3） <ul style="list-style-type: none"> ・「心ひかれるこの風景」 気になった風景の写真を撮り、記録をする内容がある。 ・「文字で楽しく伝える」 身の回りの文字を撮影して、集める内容がある。 ・「端末を活用する」（別冊資料） 描画機能のあるツールやアプリケーションを使って、マークやピクトグラムをつくることのできる内容がある。 等 ○スマートフォンを扱った内容（事例1） <ul style="list-style-type: none"> ・「写真を撮る楽しさ」 撮影方法を工夫して、写真を撮影する内容がある。 ○二次元コードから資料へアクセスできる（事例30＋別冊資料事例40） <ul style="list-style-type: none"> ・全国の生徒の作品を紹介している。 ・作品のインタビュー動画を紹介している。 等
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○タブレット端末を扱った内容（事例6） <ul style="list-style-type: none"> ・「人間っておもしろい」 友だちにポーズをとってもらい、いろいろな角度から撮影し、構想を練る内容がある。 ・「材料に命を吹き込む」 気になる形を撮影し、写真を加工する内容がある。 ・「文字が生み出すイメージ」 アニメーションアプリで絵文字を動かし、イメージを膨らませる内容がある。 等 ○PCを扱った内容（事例1） <ul style="list-style-type: none"> ・「つなげて広がる模様の世界」 模様をイメージするために、模様のピースを取り込み、つなげる内容がある。 ○スマートフォンを扱った内容（事例1） <ul style="list-style-type: none"> ・「発想・構想の手立て①」 発想・構想の手立てにおいて、アイデアをメモする内容がある。 ○オンラインを活用した内容（事例1） <ul style="list-style-type: none"> ・「美術館へ行こう」 美術館の収蔵作品を題材に、オンラインで誰でも参加可能なプログラムを行っている内容がある。 ○二次元コードから資料へアクセスできる（事例39） <ul style="list-style-type: none"> ・立体作品を360度で見るよう紹介している。 ・版表現の種類について、アニメーションで紹介している。 等

【美術】 肢体不自由・病弱

観点	☆体育的活動や身体表現を含む内容がある。
対象・方法	第1学年における体育的活動や身体表現等に関わる内容が含まれている事例

第1学年「美術1」	
開 隆 堂	☆「その人らしさが大切」 (p14~15) ・身体でポーズをとり、人物の特徴を捉えて絵に表す内容がある。 ☆「生き生きとした姿を表す」 (p24~25) ・身体でポーズをとり、表現につなげる内容がある。
光 村	☆「その人らしさを捉える」 (p22~23) ・身体でポーズをとり、スケッチをする内容がある。
日 文	☆「人間っておもしろい」 (p18~19) ・身体でポーズをとり、表現につなげる内容がある。

【美術】 病弱

観点	☆アレルギー等病気に対する配慮が必要な内容がある。
対象・方法	第1学年におけるアレルギー等病気に対する配慮が必要な内容が含まれている事例

第1学年「美術1」	
開 隆 堂	☆「生き生きとした姿を表す」 (p24～25) ・針金等を使った作品制作が含まれている。 ☆「炎と共に生きる」 (p48～51) ・粘土(陶土)を使った作品制作が含まれている。 ☆「用具を知って使ってみよう」(焼き物の成形のしかた) (p70) ・粘土(陶土)を使った作品制作が含まれている。
光 村	☆「生活の中の焼き物」 (p60～61) ・粘土(陶土)を使った作品制作が含まれている。 ☆別冊資料「粘土でつくる」 (p16～17) ・粘土(陶土)を使った作品制作が含まれている。 ☆別冊資料「金属でつくる」 (p19) ・針金や銅板を使った作品制作が含まれている。
日 文	☆「そのものらしさを形にして」 (p14～15) ・粘土(樹脂等)を使った作品制作が含まれている。 ☆「暮らしを彩る土の造形」 (p50～51) ・粘土(陶土)を使った作品制作が含まれている。 ☆「粘土でつくる」 (p68～69) ・粘土(石粉・軽量・油・クレイアニメーション用・樹脂・陶土・磁土)を使った作品制作が含まれている。

保健体育

表記・表現及び使用上の便宜（各障害種共通）

観点 略称	特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮について	判型 総ページ数	図・表等 の掲載数
2 東書	<ul style="list-style-type: none"> 配色及びデザインについては、専門家に校閲を依頼し、ユニバーサルデザインの観点から全ページの検証を行いました。 学習の流れが一目でわかるレイアウトを心がけ、学習の見通しをもてるようにしました。 文字は読みやすさに優れたユニバーサルデザインフォントを使用し、可読性を高めました。 	A B ・ 198	490
4 大日本	<ul style="list-style-type: none"> 色覚のちがいによって学習に支障が出ることがないようにカラーユニバーサルデザインをふまえた色遣いを工夫し、誰にでも分かりやすい紙面にしました。 専門家の監修のもと、レイアウトや文章の改行位置を工夫したり、ユニバーサルデザインフォントを使用したりして、できるだけ読みやすくなるようにしました。 	B 5 変型 ・ 196	634
50 大修館	<ul style="list-style-type: none"> 特別な支援を必要とする生徒の学習のしづらさや不安を招かないように、イラストや写真の配置、マークや囲みのデザインなどの妥当性について、特別支援教育の専門家が検証しています。 カラーユニバーサルデザインの専門家が全ページの紙面を検証しています。さまざまな色覚の特性に対応することで、すべての生徒にとって見やすくわかりやすい紙面になっています。 	A B ・ 206	751
224 学研	<ul style="list-style-type: none"> 書体は、ユニバーサルデザイン（UD）フォントを使用しています。 配色、表現・レイアウトについて、誰もが見やすく、分かりやすい内容となるように配慮しています。 	A B ・ 206	643

※1 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮：各発行者の編修趣意書より抜粋。

※2 図・表等の掲載数：各発行者の教科書から、内容理解を補完するための図及びグラフ・表を計上。

【保健体育】聴覚障害

観点	○説明に基づく資料が視覚的情報として捉えやすく、具体的、発展的な内容である。
対象・方法	第1学年「心身の機能の発達と心の健康」における性への理解とストレスへの対処について理解を促したり、深めたりすることのできる学習内容及びグラフ等の資料

	性に関する項目	ストレスに関する項目
東書	<p>○性に関する適切な態度や行動の選択</p> <p>①性的関心の高まりとお互いの尊重 資料1：中学生の性についての関心事（グラフ）</p> <p>②性情報への対処 資料2：中学生の性情報の入手先（グラフ） 資料3：コミュニティサイトで犯罪被害に遭った子どもの数（グラフ） 資料4：誤った性情報に惑わされないための注意点（文章）</p> <p>○（章末資料）性の多様性 ・性の構成要素（体の性、心の性、好きになる性、社会的な性）</p>	<p>○ストレスによる健康への影響</p> <p>①ストレスとは 資料1：ストレスによる心身の変化の例（イラスト・文章） 資料2：ストレスの原因の例（文章） 資料3：ストレスのイメージ（イラスト・文章）</p> <p>②ストレスと心の発達 資料4：適度なストレスによる良い影響の例（イラスト・文章）</p> <p>○ストレスへの対処の方法</p> <p>①ストレスへの対処方法 資料1：ストレスへの対処方法の例（イラスト・文章） 資料2：ストレスへの対処の基本（文章）</p> <p>②ストレスへの対処とコミュニケーション 資料3：物事の考え方とストレス（イラスト・文章） 資料4：好ましくない対処方法の例（文章） 資料5：困ったときの相談について（イラスト・文章）</p> <p>○（巻末スキルブック）リラクセーションの方法</p>

<p style="text-align: center;">大 日 本</p>	<p>○思春期の心の変化への対応</p> <p>①思春期の心の変化 資料1：思春期の心の変化（イラスト） 資料2：性について知りたいこと（グラフ）</p> <p>②異性に対する理解と尊重</p> <p>③責任ある行動 資料3：性情報の入手経路（グラフ） 資料4：責任ある行動（文章）</p> <p>○（トピックス）個性や能力を大切にす</p>	<p>○ストレスへの対処</p> <p>①ストレス 資料1：中学生のストレスの例（イラスト・文章）</p> <p>②ストレスへの対処 資料2：ストレスへの対処（イラスト・文章）</p> <p>③心身の発達と欲求やストレス</p> <p>○心と身体の間わり</p> <p>①心と身体の間わり 資料1：心と身体の間わりの例（文章） 資料2：心と体のつながり（図） 資料3：神経のはたらきと体の状態（文章）</p> <p>②心と体の健康 資料④心の健康な人（文章） 資料⑤心と体の調和</p> <p>○（トピックス）笑いの健康効果</p> <p>○（章末資料）リラクゼーション方法を試してみよう 漸進的筋しかん法（イラスト・文章）、体を動かす、呼吸に集中する、笑ってみる、音楽を聴いてみる、今の気持ちを書いてみる</p>
<p style="text-align: center;">大 修 館</p>	<p>○性への関心と性情報への対処</p> <p>①性について意識が芽生える 資料1：異性への関心の高まり（イラスト・文章） 資料2：性的関心をもったことある人の割合（グラフ）</p> <p>②性情報への対処が重要である 資料3：性情報の入手先（グラフ） 資料4：自撮りの被害にあった子どもの数（グラフ・イラスト）と事例</p> <p>○（特集資料）「性」についての固定的な考え方に気づこう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「男性らしく、女性らしく」って何だろう？ ・人間の性はいくつある？ ・「性的マイノリティ」の人たちが抱える不安や悩み ・コラム：制服デザイナーに聞く「性の多様性」 	<p>○心と体のかかわりとストレス</p> <p>①心と体はたがいに影響しあっている 資料1：心身相関のしくみ（イラスト・文章）</p> <p>②ストレスは心と体に影響する 資料2：ストレスとの原因になりうるもの（イラスト・文章） 資料3：ストレスの影響の違い（イラスト・文章） 資料4：ストレスの2つの側面（イラスト・文章） コラム：自律神経の働き（イラスト・文章）</p> <p>○ストレスへの対処のしかた</p> <p>①原因に対処する 資料1：ストレスへのさまざまな対処のしかた</p> <p>②受けとめ方を見直す</p> <p>③信頼できる人や専門家に相談する。 資料2：先生やスクールカウンセラーへの相談</p> <p>④気分転換やリラクゼーションなどをする。</p> <p>○リラクゼーションの方法（実習） 呼吸法、体ほぐしの運動、筋肉をリラックスさせる方法（イラスト・文章）</p> <p>○（特集資料）ストレスと心の健康 ストレスのさまざまな原因、ストレスのサイン、心の病気の例、相談先</p>

<p>学 研</p>	<p>○性とどう向き合うか</p> <p>①性意識の変化 資料1：性的なことに関心を持った経験（グラフ） 資料2：心の距離感・体の距離感（イラスト・文章）</p> <p>②性情報への対処と行動 資料3：自撮り被害にあった子どもの数の推移（グラフ） 資料4：インターネットを通じた被害にあわないために（文章）</p> <p>○学びを生かす 自撮り被害にあった子供の内訳（グラフ）</p> <p>○探求しようよ</p> <p>①性の多様性 体の性、心の性、関心を持つ性、LGBT</p>	<p>○欲求不満やストレスの対処</p> <p>①心と体の関わり 資料1：心と体の関わり（イラスト） 資料2：心の問題が原因で起こる好ましくない反応（表）</p> <p>②欲求の発達 資料3：欲求の種類（表・イラスト）</p> <p>③欲求不満への対処 資料4：欲求不満が起こったときに見られる行動（イラスト）</p> <p>④ストレスとは何か 資料5：ストレスとは（イラスト）</p> <p>⑤ストレスへの対処 資料6：ストレスへの対処の仕方の例（イラスト）</p> <p>○（実習）リラクゼーションの方法 呼吸法、漸進的筋弛緩法</p> <p>○心と体のSOS どんなことがいじめなの 相談先</p> <p>○探求しようよ</p> <p>②ストレス ストレスチェック</p> <p>③コミュニケーション コミュニケーションの方法</p>
----------------	---	--

【保健体育】聴覚障害

観点	○運動やスポーツの学び方及び安全な行い方について写真やイラスト等、視覚教材とともに説明された内容がある。
対象・方法	第2学年「運動やスポーツの効果・学び方・安全」における「運動やスポーツの学び方」及び「運動やスポーツの安全な行い方」の中で、内容理解のための写真やイラスト等の視覚資料

	運動やスポーツの学び方	運動やスポーツの安全なおこない方
東書	<p>【運動やスポーツの学び方】</p> <p>○資料…2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボールにおける技術や技能と体力の関係（イラスト） ・合理的な学び方の例（図・イラスト4） <p>①それぞれの運動やスポーツのよい動き方を見つける。②自分のチームの力、体調、試合日程などに応じて練習の目標を設定し、合理的な練習計画を立て、実行する。</p>	<p>【運動やスポーツの安全な行い方】</p> <p>○資料…4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強度・時間・頻度の決め方（表） ・準備運動の効果（表） ・スポーツ活動中の水分補給と体温（直腸）の関係（折れ線グラフ） ・クーリングダウンの効果（折れ線グラフ）
大日本	<p>【運動やスポーツの学び方】</p> <p>○資料…3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術の例（イラスト3） ・作戦と戦術（図・写真1） ・運動やスポーツの学び方（図・イラスト4） <p>①よい動き方を見つける。②練習の目標や計画を立てる。③実行した技術や戦術、表現がうまくできたかを確認する。</p>	<p>【安全な運動やスポーツの行い方】</p> <p>○資料…4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ障害（イラスト2） ・安全な運動やスポーツの行い方（イラスト4） ・運動やスポーツを行う際の熱中症の予防と対応（表・イラスト2） ・野外活動に潜む危険性（写真3）
大修館	<p>【運動やスポーツの学び方】</p> <p>○資料…4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術の変化（走り高跳びの例で比較）（写真2） ・バレーボールの技術・戦術・作戦の例（図・イラスト4） ・柔道の効果的な学び方の例（図・写真4） <p>①よい動き方の理解 ②目標や練習計画の設定 ③練習効果の確認 ④新たな課題の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・跳び箱運動の段階的な練習の例（イラスト2） 	<p>【運動やスポーツの安全なおこない方】</p> <p>○資料…5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の強度、時間、頻度（表） ・服装、施設、用具の点検の例（イラスト4） ・ウォームアップあり、なしの場合の垂直跳びの結果（棒グラフ） ・運動中の水分補給と体温の関係（折れ線グラフ） ・仲間の安全への配慮の例（イラスト4）
学研	<p>【スポーツの学び方】</p> <p>○資料…4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術・技能と体力との関係（図） ・戦術・作戦の例（バスケットボール）（図・イラスト） ・技能を高める学び方の例（図・イラスト4） <p>①目標や計画を立てる ②計画に沿って練習する ③練習成果を確かめる ④成果に応じて目標や計画を修正する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報機器を活用した学び方の例（写真1） 	<p>【スポーツの安全な行い方】</p> <p>○資料…5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強さ、時間、回数、頻度などのスポーツ活動の条件（表） ・スポーツ活動の日誌の例（写真1） ・活動前、活動中、活動後におけるスポーツ活動の安全への配慮（表） ・野外スポーツでの危険な場面（イラスト4） ・野外スポーツのための自然に関する知識（表）

【保健体育】 肢体不自由・病弱

観点	○肢体不自由「肢体不自由等の障害の理解に関する内容がある。」 ○病弱「健康・医療・病気に関わる内容がある。」
	対象・方法
	第2学年保健「生活習慣病」「生活習慣病の予防」「生活習慣病の起こり方」「生活習慣病とその予防」における、肢体不自由等の障害の理解に関する内容及び、健康・医療・病気に関わる内容の事例

第2学年	
東書：「生活習慣病の起こり方」・大日本：「生活習慣病の予防」 大修館：「生活習慣病」、「生活習慣病の予防」・学研：「生活習慣病とその予防」	
東書	○生活習慣病の種類の記事 【本文中】 「1生活習慣病の起こり方」には、がん、心臓病、脳卒中、糖尿病、COPD（慢性閉塞性肺疾患）、歯周病が太字で示されている。 「2生活習慣病の予防」には、生活習慣病の種類に関する記事はない。 【資料・イラスト・図】 「資料②心臓病、脳卒中などの進み方」、「資料③歯周病の進み方」は、原因となる生活習慣、生活習慣病、重い症状について、イラスト、表、説明文で説明している。 血管や心臓などの図やイラストはない。 資料2及び資料3の図やイラストの数は、9個。
大日本	○生活習慣病の種類の記事 【本文中】 がん、心臓病、脳卒中、高血圧症、糖尿病、脂質異常症、動脈硬化、歯周病、慢性閉塞性肺疾患（COPD）が記載されている。そのうち、がん、心臓病、脳卒中、高血圧症、糖尿病、動脈硬化、歯周病は、太字で示されている。 【資料・イラスト・図】 「資料②心臓病と脳卒中が起こる仕組み」、「資料③糖尿病、歯周病、慢性閉塞性肺疾患の主な特徴」は、心臓病、脳卒中、糖尿病、歯周病、慢性閉塞性肺疾患について、イラスト、図、説明文で説明している。資料は、2/3ページ程度で示されており、色分けをされている。 資料2及び資料3の図やイラストの数は、5個。
大修館	○生活習慣病の種類の記事 【本文中】 「1生活習慣病」には、心臓病、脳卒中、糖尿病、歯周病が太字で示されている。 「2生活習慣病の予防」には、高血圧、高血糖、動脈硬化、歯ぐきのはれが太字で示されている。 【1生活習慣病の資料・イラスト・図】 「資料①さまざまな生活習慣病」は、心臓病、脳卒中、心筋梗塞、狭心症、脳出血、脳梗塞、糖尿病、COPD、歯周病について、図、イラスト、説明文、吹き出しを使用して説明している。資料は1ページ分で示されており、色分けされている。二次元コードによる動画視聴が可能。 資料①の図やイラストの数は、9個。 【2生活習慣病の予防の資料・イラスト・図】 「資料①サイレントキラー」は、高血圧症、脂質異常症、糖尿病について、「資料②生活習慣病の起こり方」は、生活習慣病が発症するまでの流れ、「資料③生活習慣病を予防する8つの健康的な生活習慣」は、イラストで健康的な生活習慣について示されており、「資料④歯間清掃の方法」は、イラストで歯間清掃の仕方を示されており、「資料⑤動脈硬化の進行」は、血管のイラストと二次元コードで動脈硬化について説明されている。 図やイラストの数は、18個。
学研	○生活習慣病の種類の記事 【本文中】 高血圧、糖尿病、がん、心臓病、脳卒中、動脈硬化、狭心症、心筋梗塞、脳梗塞、脳出血が記載されている。そのうち、動脈硬化、高血圧、心臓病、脳卒中は、太字で示されている。 【資料・イラスト・図】 「資料②生活習慣病の進行」は、原因となる生活習慣、生活習慣病、重い症状について、イラストと説明により記載されている。 「資料③循環器の病気の起こり方」は、動脈硬化、心臓病（狭心症、心筋梗塞）、脳卒中（脳梗塞、脳出血）について、図、イラスト、説明文を使用して説明している。資料は2/3ページ程度で示されており、色分けされている。 資料2及び資料3の図やイラストの数は、12個。

【保健体育】肢体不自由・病弱

観点	○体育的活動や身体表現に親しむ内容がある。
対象・方法	第1学年体育理論「スポーツの多様性」「運動やスポーツの多様性」における、体育的活動や身体表現に親しむ内容に関する記載

第1学年 東書「運動やスポーツの多様性」・大日本「運動やスポーツの多様性」 大修館「運動やスポーツの多様性」・学図「スポーツの多様性」			
東書	<p>「運動やスポーツの必要性和楽しさ」</p> <p>資料1：運動やスポーツの多様な楽しさ</p> <p>資料2：運動やスポーツの変化（フットボールの例）</p> <p>資料3：障がいの有無を超えて取り組めるスポーツ</p> <p>資料4：スポーツ基本法（前文）</p> <p>イラスト、図：12 二次元コード：1</p>	<p>「運動やスポーツへの多様な関わり方」</p> <p>資料1：スポーツに関わる人々（北海道マラソン）</p> <p>資料2：パブリックビューイングでスポーツ観戦を楽しむ人々の様子</p> <p>資料3：職業として「支えること」の例</p> <p>資料4：「知ること」の例</p> <p>イラスト、図：5 二次元コード：1</p>	<p>「運動やスポーツの多様な楽しみ方」</p> <p>資料1：多様な楽しみ方</p> <p>資料2：運動やスポーツを楽しむための工夫</p> <p>活用する：あなたはどのように運動やスポーツを楽しんでいきたいか、下のそれぞれの項目を線でつないで、グループで発表してみよう。</p> <p>イラスト、図：7 二次元コード：1</p>
大日本	<p>「運動やスポーツの必要性和楽しさ」</p> <p>資料1：運動やスポーツの必要性和楽しさ</p> <p>資料2：運動やスポーツの変化</p> <p>資料3：スポーツ基本法（前文抜粋）（2011年）</p> <p>トピックス：スポーツの意味</p> <p>イラスト、図：13 二次元コード：0</p>	<p>「運動やスポーツへの多様な関わり方」</p> <p>資料1：運動やスポーツへの多様な関わり方</p> <p>資料2：スポーツに関わる職業</p> <p>トピックス：テレビでのスポーツ観戦</p> <p>イラスト、図：6 二次元コード：0</p>	<p>「運動やスポーツの多様な楽しみ方」</p> <p>資料1：体づくり運動の例</p> <p>資料2：フェアプレイ7か条</p> <p>資料3：目的、年齢、性別などの違いをこえてスポーツを楽しむ</p> <p>資料4：豊かなスポーツライフ～生涯にわたって運動やスポーツを楽しむ～</p> <p>トピックス：健闘をたたえ合う</p> <p>イラスト、図：14 二次元コード：0</p>
大修館	<p>「運動やスポーツの必要性和楽しさ」</p> <p>資料1：古代中国の健康体操</p> <p>資料2：運動やスポーツの移りかわり</p> <p>資料3：スポーツに関する法律におけるスポーツのとらえ方</p> <p>資料4：スポーツのとらえ方の広がり</p> <p>イラスト、図：9 二次元コード：2</p>	<p>「運動やスポーツへのかかわり方」</p> <p>資料1：野球の試合における多様なかかわり方</p> <p>資料2：職業としてのスポーツへのかかわり方</p> <p>事例：運動会でのかかわり方</p> <p>イラスト、図：16 二次元コード：2</p>	<p>「運動やスポーツの多様な楽しみ方」</p> <p>資料1：ラダーやミニハードルを使った運動の楽しみ方</p> <p>資料2：ランニングのいろいろな楽しみ方</p> <p>資料3：仲間と課題を達成する楽しみ方</p> <p>資料4：運動やスポーツを楽しむために必要な能力の例</p> <p>資料5：仲間、空間、時間の確保</p> <p>イラスト、図：6 二次元コード：3</p>

<p style="text-align: center;">学 研</p>	<p>「スポーツの始まりと発展」 資料1：楽しさや必要性から見たスポーツ 資料2：日本の「スポーツ基本法」（前文） エクササイズ：「次のスポーツを例にとると、どんな楽しさや必要性があるでしょうか。」 イラスト、図：9 二次元コード：1</p>	<p>「スポーツへの多様な関わり方」 資料1：スポーツを行うことの例 資料2：スポーツを見ることの例 資料3：スポーツを支えることの例 資料4：スポーツを知ることの例 イラスト、図：12 二次元コード：1</p>	<p>「スポーツの多様な楽しみ方」 資料1：スポーツの三つの間 コラム：挑戦をたたえ合うライバル エクササイズ：スポーツのおもしろさには、「どちらが勝つかの確率が同じぐらいで、結果がわからないこと（イーブン・チャンス）」が欠かせないといわれています。次のようなとき、行い方でどんな工夫をすれば、おもしろくすることができるでしょうか。 イラスト、図：5 二次元コード：1</p>
--	--	---	---

技術・家庭（技術分野）

表記・表現及び使用上の便宜（各障害種共通）

観点 略称	特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮について	判型 総ページ数	図・表等 の掲載数
2 東書	<ul style="list-style-type: none"> ・ふり仮名は、特別支援教育で推奨されている丸ゴシック体を用いています。 ・基本ページでは、「目標」「始めの活動」「学習課題」「まとめの活動」などを全見開きの同じ位置に配置しています。 ・特別支援教育の観点から、内容及びデザインについて検討するとともに、専門家による校閲を受けています。 ・書体は全てUDフォント（ユニバーサルデザイン書体）を使用し、可読性を高めています。 ・カラーバリアフリーの観点から、配色とデザインについて検討し、色覚に関する専門家の校閲を受けています。 	A B ・ 298	743
6 教図	<ul style="list-style-type: none"> ・書体はUD書体（ユニバーサルデザイン書体）を使用しています。 ・カラーバリアフリーの観点から、色覚に関する専門家の校閲を受けています。 	A 4 変型 ・ 304	498
9 開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ・UDフォントを全面的に使用している。また、文の行末を、極力単語の途中で改行しないように調節することで、誰でも読みやすいようになっている。 ・カラーユニバーサルデザインに関して、専門機関から特殊校閲を受けており、誰でも色によって受ける情報に差が出ないように配慮している。 	A B ・ 314	593

※1 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮：各発行者の編修趣意書より抜粋。

※2 図・表等の掲載数：各発行者の教科書（100ページ）から、内容理解を補完するための図及びグラフ・表を計上。

【技術・家庭（技術分野）】聴覚障害

観点	<p>○1 聴覚障害のある生徒にとって分かりやすい写真やイラスト等の視覚的な情報を基に説明された内容がある。</p> <p>○2 言葉の理解に難しさのある聴覚障害のある生徒に分かりやすいよう、簡潔明瞭な表現で示している。</p>
対象・方法	<p>1 「木材の加工」における工具の特徴や使用方法についてのイラストや写真を用いた説明がある。</p> <p>2 各単元において学習課題を簡潔明瞭に示している。</p>

	木材加工	学習課題
東書	<p>「材料と加工の技術」～切断～（p33、p42）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両刃のこぎりの特徴のイラストがある。 ・木材の切断の方法、切断する時の体勢のイラストと写真がある。 ・木材の加工の手順がイラストと写真で示されている。 <p>※文章説明とともに、イラストや写真が掲載されている。</p> <p>※二次元コードの読取りにより、動画での確認ができる。</p> <p>※作業の安全について注意がある。</p>	<p>各単元において「学習課題」を簡潔明瞭に示している。</p> <p>※一つだけ示している。</p>
教図	<p>「技術をいかそう」～木材の加工～（p56）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両刃のこぎりについてのイラストがない。 ・木材加工の手順が写真で示されている。 <p>※両刃のこぎりの特徴についての説明がない。</p> <p>※両刃のこぎりの使用方法については刃の向きについて示されている。</p> <p>※二次元コードはない。</p> <p>※作業の安全について注意がある。</p>	<p>各単元において「めあて」を示している。</p> <p>※複数のめあてを一度に示している。</p>
開隆堂	<p>「材料と加工の技術」～製作のための技能（木材）～（p78～79）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両刃のこぎりの特徴のイラストがある。 ・木材の切断の方法と体勢のイラストと写真がある。 ・木材の加工の手順がイラストと写真で示されている。 <p>※教科書を3段に分けて、加工の手順を示している。</p> <p>※加工の手順がイラストや写真と1から3文章の説明とともに掲載されている。</p> <p>※二次元コードの読取りにより、動画での確認ができる。</p> <p>※作業の安全について注意がある。</p>	<p>各単元において「学習課題」を簡潔明瞭に示している。</p> <p>※複数のめあてを一度に示している。</p>

【技術・家庭（技術分野）】聴覚障害

観点	☆聴覚障害のある生徒にとって分かりにくい音声による情報の表現を扱った内容がある。
対象・方法	情報技術やエネルギー変換の技術を扱う単元において、音声による情報伝達の内容がある。

情報技術・エネルギー変換	
東書	<p>「情報の技術」～双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決～ (p221)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンテンツに利用されるメディアの主な種類と特徴において、音声のプラス面について記載している。
教図	<p>「エネルギー変換の技術」～製作品を完成させよう～ (p154～157)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・閉め忘れ防止オルゴールの製作について材料、工具、製作工程、検査、点検を扱っている。 <p>「情報の技術」～社会の発展と情報の技術～ (p243)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AIを活用した文章を読上げる音声合成ソフトウェアを紹介している。
開隆堂	<p>「情報の技術」～メディアを利用した情報の表現～ (p248～249)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「レタス入りのハンバーガーのおいしさ」を音声だけで伝えようと記載している。 ・音声メディアの長所と配慮が必要な点を記載している。

【技術・家庭（技術分野）】 肢体不自由・病弱

観点	☆上肢や下肢の複雑な動きを必要とする内容がある。
対象・方法	材料と加工の技術における、上肢や下肢の複雑な動きを必要とする学習課題の具体例

		材料の加工	
東 書	<p>☆けがきの写真</p> <p>3.1 cm×4.3 cmの写真が1枚 1.5 cm×2.8 cmの写真が2枚 2.5 cm×3.6 cmの写真が13枚 1.6 cm×3.3 cmの写真が1枚</p> <p>☆切断の写真</p> <p>3.1 cm×4.3 cmの写真が1枚 1.5 cm×2.8 cmの写真が2枚 2.5 cm×2.9 cmの写真が1枚 2.3 cm×3.5 cmの写真が2枚 1.9 cm×2.3 cmの写真が2枚 1.6 cm×2.5 cmの写真が1枚 3.0 cm×2.5 cmの写真が1枚 3.0 cm×1.6 cmの写真が1枚 2.1 cm×3.1 cmの写真が3枚 2.0 cm×2.4 cmの写真が2枚 1.9 cm×2.5 cmの写真が1枚 1.9 cm×2.4 cmの写真が1枚</p>	<p>☆切削の写真</p> <p>3.1 cm×4.3 cmの写真が1枚 1.5 cm×2.8 cmの写真が3枚 2.4 cm×3.8 cmの写真が4枚 2.8 cm×4.2 cmの写真が1枚 2.4 cm×2.8 cmの写真が1枚 1.8 cm×2.4 cmの写真が1枚 4.1 cm×4.0 cmの写真が1枚</p> <p>以上、けがきや切断、切削についての写真が47枚あった。</p>	
教 図	<p>☆けがきの写真</p> <p>2.9 cm×4.2 cmの写真が1枚 3.4 cm×4.2 cmの写真が1枚 2.9 cm×3.3 cmの写真が2枚 直径2.2 cmの写真が1枚</p> <p>☆切断の写真</p> <p>2.9 cm×3.5 cmの写真が1枚 4.4 cm×3.1 cmの写真が1枚 4.4 cm×3.4 cmの写真が1枚 4.5 cm×3.7 cmの写真が1枚</p>	<p>☆切削の写真</p> <p>3.4 cm×2.4 cmの写真が1枚 3.4 cm×4.2 cmの写真が1枚 3.4 cm×2.7 cmの写真が1枚 3.9 cm×2.6 cmの写真が1枚 2.0 cm×2.3 cmの写真が1枚</p> <p>以上、けがきや切断、切削についての写真が14枚あった。</p>	

開 隆 堂	<p>☆けがきの写真</p> <p>3.1 cm×4.5 cmの写真が1枚 3.0 cm×2.1 cmの写真が1枚 3.2 cm×5.1 cmの写真が1枚 3.7 cm×5.1 cmの写真が3枚 4.1 cm×3.9 cmの写真が2枚 4.1 cm×3.6 cmの写真が1枚 2.1 cm×2.8 cmの写真が1枚</p>	<p>☆切削の写真</p> <p>2.1 cm×3.0 cmの写真が3枚 2.1 cm×3.1 cmの写真が1枚 2.2 cm×4.5 cmの写真が2枚 2.3 cm×3.7 cmの写真が2枚 6.9 cm×4.7 cmの写真が1枚 3.9 cm×5.9 cmの写真が3枚 4.6 cm×6.5 cmの写真が1枚 2.1 cm×3.1 cmの写真が1枚 1.6 cm×2.5 cmの写真が3枚 1.6 cm×2.7 cmの写真が1枚 1.2 cm×1.4 cmの写真が1枚 直径1.1 cmの写真が1枚</p> <p>以上、けがきや切断、切削についての写真が48枚あった。</p>
	<p>☆切断の写真</p> <p>3.0 cm×3.1 cmの写真が2枚 3.9 cm×5.4 cmの写真が2枚 5.5 cm×3.0 cmの写真が3枚 2.6 cm×3.3 cmの写真が1枚 2.6 cm×3.2 cmの写真が2枚 2.3 cm×5.6 cmの写真が1枚 3.2 cm×5.6 cmの写真が1枚 2.7 cm×3.6 cmの写真が1枚 3.3 cm×5.5 cmの写真が3枚 2.4 cm×4.4 cmの写真が1枚 5.6 cm×6.4 cmの写真が1枚</p>	

【技術・家庭（技術分野）】 肢体不自由・病弱

観点	○情報機器の活用等に関わる内容がある。
対象・方法	情報の技術における、情報機器の活用に関わる具体例

プログラミング	
東書	<p>○双方向性のあるコンテンツのプログラミングの単元によるアクティビティ図による表現の表記が7枚あった。</p> <p>○双方向性のあるコンテンツのプログラミングの単元によるプログラミング言語による表現の表記が12枚あった。</p>
教図	<p>○双方向性のあるコンテンツのプログラミングの単元によるアクティビティ図による表現の表記が9枚あった。</p> <p>○双方向性のあるコンテンツのプログラミングの単元によるプログラミング言語による表現の表記が7枚あった。</p>
開隆堂	<p>○双方向性のあるコンテンツのプログラミングの単元によるアクティビティ図による表現の表記が17枚あった。</p> <p>○双方向性のあるコンテンツのプログラミングの単元によるプログラミング言語による表現の表記が15枚あった。</p>

技術・家庭（家庭分野）

表記・表現及び使用上の便宜（各障害種共通）

観点 略称	特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮について	判型 総ページ数	図・表等 の掲載数
2 東書	<ul style="list-style-type: none"> ・ふり仮名は、特別支援教育で推奨されている丸ゴシック体を用いています。 ・基本ページでは、「目標」「始めの活動」「学習課題」「まとめの活動」などを全見開きの同じ位置に配置しています。生徒の目線の動きを、全ての内容で統一するようにしました。 ・実習の手順などを横の流れで統一し、見やすく理解しやすいようにしています。 ・生徒の巧緻性に配慮し、作業する手や姿勢の写真などを豊富に掲載するとともに、包丁や手縫いの内容では、左利きの例も取り上げています。 ・特別支援教育の観点から、内容及びデザインについて検討し、専門家による校閲を受けています。 ・書体はUDフォント（ユニバーサルデザイン書体）を使用し、可読性を高めています。 ・カラーバリアフリーの観点から、配色とデザインについて検討し、色覚に関する専門家の校閲を受けています。 	A B ・ 298	609
6 教図	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容を精選して文章は簡潔に、文字量も抑えました。 ・UDフォントを使用し、ルビも大きく読みやすくしました。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮して編修しました。 	A 4 変型 ・ 296	660
9 開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ・書体は視認性の高いユニバーサルフォントを使用しています。 ・多様な色覚を持つさまざまな生徒に対して、カラーユニバーサルデザインの観点からデザイン、配色について色彩の専門家による検証を行っています。 ・紙面は、各内容が「章（節→項目）→学習のまとめ」の構成、調理・製作の実習手順については横流れを基本としていずれも学習、手順の流れをつかみやすいようにしています。 ・「見てわかる」を大切に、「1日にとりたい食品と重量」や「年齢別の幼児の手・足」などを実物大写真で示して大きさの感覚をつかめるようにしています。 	A B ・ 314	378

※1 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮：各発行者の編修趣意書より抜粋。

※2 図・表等の掲載数：各発行者の教科書（100ページ）から、内容理解を補完するための図及びグラフ・表を計上。

【技術・家庭（家庭分野）】聴覚障害

観点	○調理の手順が写真やイラストとともに説明された内容がある。
対象・方法	「豚のしょうが焼き」及び「ハンバーグ」における、写真やイラスト、デジタルコンテンツ等を比較する。

	豚のしょうが焼き	ハンバーグ
東書	<ul style="list-style-type: none"> ・材料の写真がある。 ・調理の手順が写真6枚で示されている。 <ol style="list-style-type: none"> 1 しょうがをすりおろす 2 調味料を混ぜる 3 つけ汁につけ込む 4 ぶた肉を広げて焼く 5 肉を裏返して焼く 6 たれをからめる ・配膳例の写真がある。 ・献立で調理する場合の手順例がある。 ・二次元コードあり。 調理の手順の動画 教科書 (p82～83)	<ul style="list-style-type: none"> ・材料の写真がある。 ・調理の手順が写真6枚で示されている。 <ol style="list-style-type: none"> 1 下ごしらえをする 2 たねを作る 3 空気を抜き、形を整える 4 焼く 5 裏返して焼く 6 ソースを作る ・配膳例の写真がある。 ・献立で調理する場合の手順例がある。 ・二次元コードあり。 調理の手順の動画 教科書 (p84～85)
教図	<ul style="list-style-type: none"> ・材料の写真がある。 ・調理の手順が写真5枚で示されている。 <ol style="list-style-type: none"> 1 計量・下準備 (2枚) 2 焼く (2枚) 3 仕上げ (1枚) ・献立で調理する場合の手順例がない。 ・二次元コードあり。 調理の手順の動画 教科書 (p114～115)	<ul style="list-style-type: none"> ・材料の写真がある。 ・調理の手順が写真7枚で示されている。 <ol style="list-style-type: none"> 1 計量・下準備 (1枚) 2 たねをつくる (2枚) 3 焼く (3枚) 4 仕上げ (2枚) ・ハンバーグの中まで火が入っているか確認方法の補足写真がある。 ・生焼けの失敗例の写真がある。 ・献立で調理する場合の手順例がない。 ・アレンジ例の写真がある。 ・二次元コードあり。 調理の手順の動画 教科書 (p116～117)

<p style="text-align: center;">開 隆 堂</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・材料の写真がある。 ・調理の手順が写真5枚で示されている。 <ol style="list-style-type: none"> 1 しょうが汁をつくる 2 つける 3 焼く 4 裏返して焼く 5 盛りつける ・献立で調理する場合の手順例がある。 ・二次元コードあり。 調理の手順の動画 <p>教科書 (p128～129)</p>	<p>教科書 (p130～131)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料の写真がない。 ・調理の手順が写真7枚で示されている。 <ol style="list-style-type: none"> 1 いためる 2 ひたす 3 まぜる 4 形を整える 5 焼く 6 煮る 7 盛りつける ・ハンバーグの中まで火が入っているか確認方法の補足写真がある。 ・塩を入れて混ぜる理由の比較写真がある。 ・献立で調理する場合の手順例がない。 ・アレンジ例の写真がある。 ・二次元コードあり。 調理の手順の動画 <p>教科書 (p130～131)</p>
--	---	--

【技術・家庭（家庭分野）】聴覚障害

観点	☆語句の説明が、長文で説明された内容がある。
対象・方法	消費生活の「消費生活が社会に与える影響を考えよう」及び住生活「家族の住まいを安全・安心に」における、語句の説明文とその文節数

	消費生活 (消費生活が社会に与える影響を考えよう)	住生活 (家族の住まいを安全・安心に)
東書	<p>☆エシカル消費（8文節） 「人や社会、環境、地域などの側面にも配慮した倫理的な消費」</p> <p>☆消費者市民社会（16文節） 「現在と将来の世代がともに幸せな生活を送ることができる、公正で持続可能な社会を築くことができることを積極的に行う社会」</p> <p>教科書（p215）</p>	<p>☆バリアフリー（9文節） 「高齢者や障害のある人などが安心して暮らせるように、生活するうえでの障壁をなくすこと」</p> <p>☆ユニバーサルデザイン（12文節） 「年齢や障害の有無、文化の相違などにかかわらず、だれもが安全で快適に暮らせるように考えられたデザイン」</p> <p>教科書（p178-179）</p>
教図	<p>☆エシカル消費（7文節） 「人や社会、地域や環境に配慮した消費行動のこと」</p> <p>☆消費者市民社会（20文節） 「公正で持続可能な社会をつくっていかうとする責任ある消費者のことを消費者市民と呼び、こういった消費者の行動によってつくられる社会のこと」</p> <p>教科書（p252-254）</p>	<p>☆バリアフリー（4文節） 「生活上の支障（バリア）を取り除くこと」</p> <p>☆ユニバーサルデザイン（11文節） 「年齢や性別、能力、民族などにかかわりなく、だれにとっても使いやすいように製品や建物、空間などを設計する」</p> <p>教科書（p211）</p>
開隆堂	<p>☆エシカル消費（7文節） 「人や社会、地域や環境に配慮した消費行動のこと」</p> <p>☆消費者市民社会（21文節） 「消費者が、自らの消費生活に関する行動が現在及び将来にわたって社会経済及び地球環境に影響を及ぼし得ることを自覚して、公正かつ持続可能な社会の形成に積極的に参画する社会」</p> <p>教科書（p283）</p>	<p>☆バリアフリー（10文節） 「障がいのある人や高齢な人など社会参加をする上で支障となるバリア（障壁）を取り除くこと」</p> <p>☆ユニバーサルデザイン（13文節） 「障害の有無や文化、言語、国籍、性別、年齢等にかかわらず、誰もが使いやすいように、設計の段階からデザインすること」</p> <p>教科書（p258）</p>

【技術・家庭（家庭分野）】 肢体不自由・病弱

観点	○肢体不自由又は病弱等の障害の理解に関する内容がある。
対象・方法	障害の理解に結び付く説明の具体例

具体例	
東 書	<p>4編「私たちの住生活」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○バリアフリーとユニバーサルデザインの説明と例（p179） 段差の解消、浴室の手すり ○避難所や仮設住宅で、障害のある人も含め様々な人が過ごすときに困ることや解決・改善策の例（p185） <p>6編「私たちの成長と家族・地域」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○おもちゃに付いているマークの紹介（p240） 盲導犬マーク、うさぎマーク <p>巻末資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ユニバーサルデザインの具体例（p288、289） UDフォント、工夫された電気スイッチ、区別するための刻みが付いた洗髪剤の容器、持ちやすいペットボトル、幅の広い改札機、オストメイトのマーク、国際シンボルマーク、ヘルプマーク、ノンステップバス、形状が工夫され点字を併記しているエレベーターのボタン、ピクトグラム、性別・障害・年齢を問わないスカート
教 図	<p>A編「家族・家庭生活」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○おもちゃに付いているマークの紹介（p54） 共遊玩具のマーク（盲導犬マーク、うさぎマーク） <p>B編「衣食住の生活」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家族の生活と住まい方の例として車いすでも使いやすい洗面台の紹介（p204） ○バリアフリーとユニバーサルデザインの説明と例（p211） スペースを取った玄関、床段差のない玄関、転倒防止のための階段、廊下の手すり、手すりのあるトイレ、ユニバーサルデザインのトイレ ○色覚に配慮した防災アプリ開発の工夫の説明（p221） <p>巻末資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ○福祉の関わるマークの紹介（口絵13） 障害者のための国際シンボルマーク、ヘルプマーク、おもちゃに付けられるマーク

開 隆 堂	<p>巻頭資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ○車いすに乗り入力支援機器を使用してPC操作をしている人の写真 (p8) ○精神的自立として車いす介助を依頼する人のイラスト (p10) ○脳性まひのある小児科医の自立と共生の実践例 (p11) <p>A「家族・家庭生活」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○様々な立場の人々とのかかわりで車いすの友だちのイラスト (p19) ○社会保障制度との関連で、生活上の様々な困り事として障害の取り上げや足が不自由な祖父との同居の説明 (p36、37) ○インクルーシブな公園づくりの説明 (p53) ○盲導犬マークやうさぎマークの説明 (p55) ○入院に関わってチャイルドライフスペシャリストの説明 (p70) ○地域に住む多様な人々として障害のある人の取り上げ (p80) ○障害者が働ける環境を作る会社の説明 (p80) ○障害のある人への災害時の地域の取組の説明 (p81) <p>B「衣生活」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ユニバーサルファッションの説明 (p205) <p>B「住生活」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○バリアフリーとユニバーサルデザインの説明と例 (p258) 段差の解消、バスの低くて広い乗降口 ○ユニバーサルデザインのデザイナーの実践例 (p259) <p>巻末資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ○いろいろなマークの紹介 (p306、307) 盲導犬マーク、うさぎマーク、障害者のための国際シンボルマーク、盲人のための国際シンボルマーク、ヘルプマーク、ピクトグラム
-------------	--

【技術・家庭（家庭分野）】 肢体不自由・病弱

観点	☆上肢や下肢の複雑な動きを必要とする内容がある。
対象・方法	「日常食の調理」及び「生活を豊かにするための布を用いた製作」における上肢や下肢の複雑な動きを必要とする学習課題の具体例

	「日常食の調理」	「生活を豊かにするための布を用いた製作」
東 書	<p>☆計量スプーンと計量カップの操作 (p66)</p> <p>☆野菜の洗い方例示：根元を広げて青菜を洗う、泥が付いたものをたわしで洗う (p66)</p> <p>☆野菜の切り方例示：輪切り、皮むき、いちょう切り、半月切り、せん切り、小口切り、くし形切り、乱切り、ささがき、みじん切り (p69)</p> <p>☆魚の下ごしらえ例示：いわしの手開き、あじ1尾の調理 (p89)</p> <p>☆調理操作に、上肢の左右異なる複雑な動きの同時操作（ハンバーグの整形等。但し計量は除く）や食材のミリ単位の切断幅指定（薄切り・せん切り・みじん切り含む）が含まれる調理数／全調理数：33／44 (p73、76～79、82～87、90～97、101、108～109)</p>	<p>☆手縫いの技術例示：玉結び、玉止め、ボタン付け、並縫い、本返し縫い、半返し縫い、かがり縫い、まつり縫い、スナップ付け、鍵ホック付け (p127～129)</p> <p>☆ミシン縫いの技術例示：コントローラ操作、針の取り付け、下糸巻き、下糸装着、上糸かけ、下糸引き出し、縫い始め操作、角縫い、縫い終わり操作、返し縫い、上糸下糸結び、重ね縫い、ジグザグミシン、ロックミシン (p147～150)</p> <p>☆製作に関わる技術例示：しるし付け、裁断、まち針打ち、しつけ縫い、ピンキング、三つ折り縫い、アイロンかけ、縫いしろ割り、縫いしろ倒し、伏せ縫い、袋縫い、二度縫い、額縁仕立て、ポケット付け、まち作り、ひも付け、ひも通し、刺しゅう、ファスナー付け、綿入れ (p146、150～151、155、158～159、161)</p> <p>☆製作操作に、何らかの手縫いの技術、角縫い又は曲線縫いのミシン縫いの技術、しるし付け・裁断・アイロンかけ・二つ又は三つ折り縫い以外の製作に関わる技術（ひも通し等）のどれかの技術が含まれる製作数／全製作数：9／14 (p152～161)</p>
教 図	<p>☆計量スプーンの操作が掲載 (p108)</p> <p>☆野菜の切り方例示：輪切り、半月切り、いちょう切り、乱切り、たんざく切り、拍子木切り、せん切り、さいの目切り、みじん切り、くし形切り、小口切り、斜め切り、ささがき、すりおろし (p106、107)</p> <p>☆魚の下ごしらえ例示：三枚おろし、いわしの手開き (p121、122)</p> <p>☆調理操作に、上肢の左右異なる複雑な動きの同時操作（ハンバーグの整形等。但し計量は除く）や食材のミリ単位の切断幅指定（薄切り・せん切り・みじん切り含む）が含まれる調理数／全調理数：23／43 (p109、114～119、122～127、130～139)</p>	<p>☆手縫いの技術例示：糸通し、玉結び、玉止め、ボタン付け、並縫い、半返し縫い、本返し縫い、まつり縫い、スナップ付け、かがり縫い (p172～173、184)</p> <p>☆ミシン縫いの技術例示：返し縫い、重ね縫い、下糸巻き、下糸装着、上糸かけ、下糸引き上げ、コントローラ操作、縫い始め操作、縫い終わり始末、角縫い、上糸下糸結び、ジグザグミシン、ロックミシン (p173、182～184)</p> <p>☆製作に関わる技術例示：裁断、しるし付け、まち針打ち、三つ折り縫い、袋縫い、ピンキング、しつけ縫い、アイロンかけ、縫いしろ割り、綿入れ、ポケット付け、まち作り、ひも通し、バックル付け、タック付け、ダーツ付け、プリーツ付け (p181、184、187、189、193)</p> <p>☆製作操作に、何らかの手縫いの技術、角縫い又は曲線縫いのミシン縫いの技術、しるし付け・裁断・アイロンかけ・二つ又は三つ折り縫い以外の製作に関わる技術（ひも通し等）のどれかの技術が含まれる製作数／全製作数：6／7 (p185～193)</p>

開 隆 堂	<p>☆計量スプーンの操作が掲載 (p120)</p> <p>☆野菜の洗い方例示：根元を広げて青菜を洗う、泥が付いたものをたわしで洗う、ざるを使って洗う (p120)</p> <p>☆野菜の切り方例示：皮むき、小口切り、くし形切り、せん切り、ささがき、乱切り、みじん切り、半月切り、輪切り、いちょう切り、斜め薄切り、拍子木切り、短冊切り、さいの目切り (p122、123)</p> <p>☆魚の下ごしらえ例示：いわしの手開き、あじ1尾の調理 (p137)</p> <p>☆調理操作に、上肢の左右異なる複雑な動きの同時操作（ハンバーグの整形等。但し計量は除く）や食材のミリ単位の切断幅指定（薄切り・せん切り・みじん切り含む）が含まれる調理数／全調理数：24／51 (p94、p117、p128～135、138～143、p146～151、p156～157、p164～165、p168～169)</p>	<p>☆手縫いの技術例示：玉結び、玉止め、並縫い、本返し縫い、半返し縫い、かがり縫い、ボタン付け (p214)</p> <p>☆ミシン縫いの技術例示：返し縫い、上糸下糸結び、ジグザグミシン、二度縫い、ロックミシン、下糸巻き、下糸装着、コントローラ操作、スタート・ストップボタン操作、針の取り付け、上糸かけ、下糸引き出し、縫い始め操作、縫い終わり始末、角縫い (p215～217)</p> <p>☆製作に関わる技術例示：裁断、しるし付け、まち針打ち、しつけ縫い、アイロンかけ、縫いしろ割り、縫いしろ倒し、ピンキング、三つ折り縫い、スナップ付け、ポケット付け、ひも付け、まち作り、バックル付け、ひも通し、面ファスナー付け (p213、215、218～221、223、225)</p> <p>☆製作操作に、何らかの手縫いの技術、角縫い又は曲線縫いのミシン縫いの技術、しるし付け・裁断・アイロンかけ・二つ又は三つ折り縫い以外の製作に関わる技術（ひも通し等）のどれかの技術が含まれる製作数／全製作数：10／11 (p218～225)</p>
-------------	--	---

【技術・家庭（家庭分野）】病弱

観点	○健康・医療・病気に関わる内容がある。
対象・方法	「住居の機能と安全な住まい方」における健康・医療・病気に関わる内容の説明

	具体例
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○住まいの役割の一つとして、心身を休め健康を維持する。(p168) ○日本の木造住宅について、木にはストレスを和らげる効果を説明。(p172) ○ベッドやソファだと、足や腰が弱い人でも起き上がりやすい。(p173) ○気密性の高い住まいは、汚染された空気が室内にこもりやすく、健康被害が出ることもある。(p176) ○健康で快適な住まいの要素として、空気、日光・明るさ、温度・湿度、音、掃除の5要素の内容を説明。(p176) ○シックハウス症候群などの対策として有効と考えられているため、24時間換気システムの設置義務を説明。(p176) ○シックハウス症候群の原因と症状例の説明。(p177) ○一酸化炭素の発生原因と僅かな量でも命に関わる重大な健康被害をもたらす説明。(p177) ○健康で快適に住まうための解決策を考える課題提示。(p177) ○家庭内事故の死者数や事故死の原因の説明。(p178) ○幼児は空気汚染による影響を受けやすいので、注意が必要である。(p178) ○ヒートショックとその対策の説明。(p179)
教図	<ul style="list-style-type: none"> ○住まいの基本的な働きの一つとして、休息とくつろぎを与え、これがあることで健康な生活を続けることができる。(p200) ○一酸化炭素や二酸化炭素、その他の化学物質などは、健康に悪影響を及ぼすため、室内にためないようにすることが大切である。(p208) ○一酸化炭素及び二酸化炭素の発生原因、性状の説明。(p208) ○結露について、ダニやかびを発生させてアレルギーやぜんそくを起こしたりする原因となる。(p209) ○シックハウス症候群の原因と症状の説明。(p209) ○家庭内事故の死者数や事故死の原因の説明。(p210) ○窒息の事故等、家庭内事故について45例をイラスト付きで提示。(p212、213) ○非常持ち出し袋に準備するものとして、応急手当、持病の対応、感染症予防に、水、救急セット、薬、タオル、ハンカチ、マスクの準備を提示。(p216)
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭内事故の例や事故死の原因の説明。(p242、243) ○ヒートショックとその対策の説明。(p243) ○夏は室内の温度や湿度が高くなり熱中症になりやすくなる。(p243) ○誤嚥の説明。(p243) ○高い湿度はカビが発生しやすく、カビの胞子がアレルギーやぜん息の発症原因になる。(p244) ○住まいの気密化が進み、化学物質を吸って健康を損なうことがある。(p244) ○シックハウス症候群の原因と症状の説明。(p244) ○化学物質過敏症の原因の説明。(p244) ○シックハウス症候群に関連して、24時間換気システムの設置義務の説明。(p244) ○避難所で起きやすいとして、エコノミークラス症候群とその予防法の説明。(p253)

英語

表記・表現及び使用上の便宜（各障害種共通）

観点 略称	特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮について	判型 総ページ数	図・表等 の掲載数
2 東書	<ul style="list-style-type: none"> ・視認性や書きやすさに配慮された書体を1年生のほぼ全体を通して使用しています。また、夏休み前までの小中接続期では、回答欄に4線を使用しており、中学校での文字指導に配慮しています。 ・本文やNew Words、Key Sentencesなど、紙面上の要素のデザインや配置を統一しているので、学習の流れを見通すことができ、安心して学習に取り組めます。 ・Unit、Real Life English、Stage Activityの単元を規則的に配列し、学習のユニバーサルデザイン化を図っています。 	A 4 ・ 486	356
9 開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーユニバーサルデザインの考え方や特別支援教育の視点を取り入れ、紙面を構成しました。識別しづらい色遣いは避ける、文字を極力大きくする、手書き文字に近い欧文フォントを2種類開発する、日本語のフォントはUDフォントを使用するなど、すべての生徒が無理なく学びやすい紙面づくりを目指しました。 	A 4 ・ 514	281
15 三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーユニバーサルデザインの見地より、識別しにくい配色は避け、グラフや地図などの図版、および文字や記号などについて、色の組み合わせや濃淡などに配慮しています。 ・特別支援教育の見地より、形や記号・番号、説明文などの補助的な手がかりを設けたり、罫線などを付したりすることで、だれもが使いやすい教科書となるように意を用いています。 ・大判（A4判）で、イラストや写真を大きく扱って見やすくしています。また、全学年を通して、ユニバーサルデザインに配慮したフォントを使用しています。 	A 4 ・ 532	334
17 教出	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家による校閲を受け、人権を尊重し、全ての人にとっての学びを保障するユニバーサルデザインの観点に立って編修しました。 ・シンプルな紙面構成と単元構成で、学習内容が分かりやすくなるように配慮しました。 ・色覚の個人差を問わず、識別しやすい配色を用い、だれにとっても学習しやすい紙面になるように配慮しました。 	A B ・ 546	308
38 光村	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育やカラーユニバーサルデザインの観点から、全ての生徒に使いやすい教科書をめざしました。教科書の全ページについて、専門家の校閲を受けています。 ・図表は、色だけに頼ることなく線の種類や濃淡・地紋でも識別できること、色覚特性により判別しにくくなる色の組み合わせは行わないことなどに留意して作成しました。 ・生徒が読みやすく書きやすいアルファベットの書体を独自に開発し、主に小中接続期教材で使用しました。 ・日本語の表記は視認しやすく可読性の高いユニバーサルデザイン書体を使用し、見やすさ・読みやすさに配慮しました。 ・中学校以上の配当漢字や常用外漢字には、振り仮名を付けました 	A B ・ 582	220
61 啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ・本文にはUDフォントをメイン書体として使用し、視認性・可読性を高めました。 ・学習のめあてを明記したりするなど、インクルーシブ教育に配慮しました。 ・色覚特性や障害のある生徒などにも分かりやすいよう、判別しにくい配色を避けたり、シンプルなイラストを扱ったりするなどの配慮をしました。メディア・ユニバーサル・デザイン協会（MUD）による検証を受けています。 	A 4 ・ 490	367

※1 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮：各発行者の第1学年編修趣意書より抜粋。

※2 図・表等の掲載数：各発行者の第1学年教科書から、内容理解を補完するための図及びグラフ・表を計上。

【英語】聴覚障害

観点	文法事項の定着に係わり、イラストや単語の囲みを使用して、意味の構造化をして、視覚的に捉えやすくしている。
対象・方法	第1学年の「be 動詞」及び第3学年の「仮定法」において、文法事項の資料や説明が、構造的で聴覚障害を有する生徒にとって視覚的に理解を促すものになっている事例

	第1学年「be 動詞」	第3学年「仮定法」
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○文法事項をまとめたページがある。 ○1ページ全体を用いて be 動詞 is、am、are がまとめて説明されている。 ○「be 動詞」という文法項目がタイトルとして上部にあり、その中で「使い方」・「形」に分けて提示してある。 ○主語と be 動詞等の色の使い分けに規則性がある。 ○意味のまとまりごとに四角で囲んである。 ○文法の説明が文章で書かれており、説明文の中で、重要な箇所は太字で書いてある。 ○肯定文・否定文・疑問文が表になっており、主語・動詞・補語の文構造も視覚的に分かるよう提示してある。 ○疑問文を作るときの be 動詞の移動が説明文だけでなく矢印で視覚的に示されてある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文法事項をまとめたページがある。 ○1ページ全体を用いて仮定法がまとめて説明してある。 ○「仮定法」という文法項目がタイトルとして上部にあり、その中で「使い方」・「形」に分けて提示してある。 ○混同しやすい仮定法と条件節がすべての例文で並べて示されており、違いが対比できる。 ○ポイントとなる語は網掛けがしてある。 ○文法の説明がイラストとともに文章でまとめてあり、説明文の中で重要な箇所は太字で書いてある。 ○ターゲットとなる文にナンバリングがしてあり、その番号と説明文の番号が合わせてある。
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ○文法事項をまとめたページがある。 ○be 動詞の「am と are」と「is」は別ページに掲載されている。 ○be 動詞と他の文法事項が同じページに掲載されている。 ○主語と be 動詞の色分けに規則性がある。 ○肯定文・否定文・疑問文は分けて提示してある。 ○疑問文を作るときの be 動詞の移動等が矢印で視覚的に示されてある。 ○二次元コードで字幕付きの文法解説を見ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文法事項をまとめたページがある。 ○1ページ全体を用いて仮定法がまとめて説明してある。 ○「仮定法」というタイトルがページの上部に示されている。 ○仮定法の基本の形（〈If+主語+be 動詞〉等）が示されており、続いて例文が提示されている。 ○ポイントとなる語にマーカーが引いてある。 ○二次元コードで字幕付きの文法解説を見ることができる。
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ○文法事項をまとめたページがある。 ○ページ上部のタイトルに「be 動詞」と示されている。 ○be 動詞と一般動詞が1ページにまとめて提示してある。 ○be 動詞に色が付けてある。 ○二次元コードで文法解説動画を見ることが出来るが字幕はついていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文法事項をまとめたページがある。 ○「仮定法」というタイトルがページの上部に表示されている。 ○1ページ全体を用いて仮定法がまとめて説明してある。 ○ターゲットとなる文法の使場面が1コマ漫画と文で「Scene」に書かれており、実際の文が「Form」に書かれている。 ○ポイントとなる語に色が付けてある。 ○仮定法が使える状況がイラストとともに説明してある。 ○二次元コードで文法解説動画を見ることが出来るが字幕はない。

<p>教出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○文法事項をまとめたページがある。 ○ページ上部のタイトルに「be 動詞」と示されていない。 「be 動詞を使った文」というタイトルにあたる部分は大きくはない。 ○1ページを使って掲載してある。 ○be 動詞に色が付けてあるが、その色は同ページに掲載の「日本語と英語の語順」との関連性はない。 ○疑問文を作るときの be 動詞の移動等が矢印で視覚的に示されてある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文法事項をまとめたページがある。 ○1ページ全体を用いて仮定法がまとめて説明してある。 ○1文を If 節と主節に分けて四角で囲い、「～なら」の部分と、「～するだろう」の部分が視覚的に捉えられるようになっている。 ○二次元コードで活動用動画を見ることができる。 動画の中の説明部分には字幕はない。 英語のやり取りの部分には字幕がついている。
<p>光村</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○be 動詞の「am と are」と「is」が別ページに掲載されている。 ○ページの上部に文法事項のタイトルがあり、「場面と意味」「文の形」に分かれてまとめている。 ○主語と be 動詞等の色の使い分けに規則性がある。 ○文の形は、肯定文、疑問文、否定文で表になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文法事項をまとめたページがある。 ○1ページ全体を用いて仮定法がまとめて説明してある。 ○「仮定法」というタイトルがページの上部に示されている。 ○「場面と意味」「文の形」「比べてみよう」という構成になっている。 ○主語、動詞、ポイントとなる語は色分けがしてあり、色の使い分けは3年間を通して統一されている。 ○混同しやすい条件節と仮定法について、イラスト付きで対比させ提示されている。
<p>啓林館</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○文法事項をまとめたページがある。 ○ページ上部のタイトルに「be 動詞」と示されている。 ○be 動詞・一般動詞・can が2ページにわたりまとめて掲載されている。 ○場面や状況に応じた様々な言い回しについて、英文の例が表で示されている。 ○be 動詞の部分の色を変えて示してある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文法事項をまとめたページがある。 ○「仮定法」というタイトルがページの上部に示されている。 ○他の文法事項と同ページに掲載されており、仮定法は2/3ページでの掲載になっている。 ○場面や状況に応じた様々な言い回しについて、英文の例が表で示されている。 ○ポイントとなる動詞や助動詞の過去形は色を変えて示している。 ○イラストや図で視覚的に示されてはいない。

【英語】聴覚障害

観点	☆音声のみによるコミュニケーションを扱った内容がある。
対象・方法	第1学年の「自己紹介」及び第3学年の最後の単元(Lesson、Unit または Program)において、音声のみの課題や学習活動が取り上げられている事例

	第1学年「自己紹介」	第3学年最後の単元
東書	Unit 0 ☆音声を聞いて、内容に合う絵を選ぶ問題がある。	Unit 6 ☆Before You Read の箇所ですピーチを聞いて、内容に合うものを選ぶ問題がある。
開隆堂	Program 1 ☆単元の導入部分 Scenes において、音声のみを聞いて正しいものに○をつけたり、正しいものを選んだりする問題がある。 ☆Part 2 の Action で自己紹介を音声で聞いて内容に合うものを選ぶ問題がある。	Program 6 ☆単元の導入部分 Scenes において音声のみを聞いて、内容に合うものを選んだり、並び変えたりする問題がある。 ☆Part1 の導入部分において2人の会話を聞いて、内容に合うものを選ぶ問題がある。
三省堂	Lesson 1 ☆Part 1 の Scene1 や Part 2 の Scene 1 において、音声のみを聞いて内容に合うものにチェックを入れる問題がある。	Lesson 8 ☆Part 1 の Scene 1 や Part 2 の Scene 1 において、音声のみを聞いて答える問題がある。
教出	Lesson 1 ☆Part 1、2、3において、音声のみを聞いて正しく線で結んだり、内容に当てはまる絵を選んだりする問題がある。	Lesson 7 ☆Lesson の導入部分において音声を聞いて答える問題がある。
光村	Unit 1 ☆Part 1、2、3において、音声のみを聞いて内容に合うように正しく線で結んだり、○あるいは×をつけたりする問題がある。 ☆Goal において、音声を聞いて、○あるいは×をつけたり、正しいものを選んだりする問題がある。	Unit 8 ☆Unit の導入部分でUnit の本文を聞いて、内容を想像して、答える問題や、適切な順番に並び替える問題がある。
啓林館	Unit1 ☆Part 1、2、3において、音声のみを聞いて、正しいものを線で結んだり、内容に合うものを選んだりする問題がある。	Unit 6 ☆Part 1、2、3のそれぞれに、会話やスピーチを聞いて適切なものを選ぶ問題がそれぞれ2問ある。

【英語】 肢体不自由・病弱

観点	○肢体不自由等の障害の理解に関する内容がある。
対象・方法	全学年における、肢体不自由等の障害の理解に関する内容を扱った単元の数と内容（イラスト、写真、注釈等を含む）

	第1学年	第2学年	第3学年
東書	・該当なし	○Unit 5 <ul style="list-style-type: none"> ・車いすに乗っている女性が図書館で読書している写真 ・道路にあるスロープに関する本文や写真 ・ユニバーサルデザインを考え出した教授の写真、多目的トイレや自動ドアに関する本文や写真 ○資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインについて 	○Unit 6 <ul style="list-style-type: none"> ・車いすに乗っている学生のイラスト
開隆堂	・該当なし	・該当なし	○PROGRAM 3 <ul style="list-style-type: none"> ・車いすバスケットの内容と試合の写真、ルール説明に関する本文 ・パラリンピックの競技写真 ・パラスポーツのルール、写真 ○PROGRAM 4 <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインの紹介、多目的トイレの説明、写真 ○PROGRAM 7 <ul style="list-style-type: none"> ・ALS患者に関する内容、注釈、分身ロボット OriHime について、入院しているベッドで操作している生徒のイラスト
三省堂	○Starter <ul style="list-style-type: none"> ・車いすバスケットボールの英単語とイラスト ○Lesson 1 <ul style="list-style-type: none"> ・車いすバスケットボールのイラスト ○Lesson 7 <ul style="list-style-type: none"> ・車いすバスケットボールに関する本文、写真 	○Lesson 1 <ul style="list-style-type: none"> ・車いすバスケットボールをする少女のイラスト 	・該当なし
教出	・該当なし	○Lesson 3 <ul style="list-style-type: none"> ・お金の入れる所とボタンが近くにあり、誰でも簡単に買えることのできる自動販売機、多目的トイレ、駅のホームと電車の入口の写真 	○Lesson 4（水原さん記載のため差替の可能性大） <ul style="list-style-type: none"> ・車いすテニスの国枝選手の写真

光村	<p>○Unit 5</p> <ul style="list-style-type: none"> 車いすテニスの選手に関する本文、イラスト 	<ul style="list-style-type: none"> 該当なし 	<p>○Unit 4</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護ロボットに関する本文、写真
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> 該当なし 	<ul style="list-style-type: none"> 該当なし 	<p>○Unit 4</p> <ul style="list-style-type: none"> パラスポーツ（シッティングバレーボール、車いすバスケットボール、車いすアーチェリー、車いす卓球）のピクトグラム 車いすで自走しながらスロープを降りている女性のイラスト ALS の内容、注釈 ユニバーサルデザインの遊具 乗務員が低床バスへ乗るために男性の車いすを押している写真

【英語】 肢体不自由・病弱

観点	○情報機器の活用等に関わる内容がある。
対象・方法	全学年における、情報機器の活用等に関わる内容具体例（情報ツール、スイッチ等操作で作動できる機器、家電、ロボット等）

	第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○Unit 3 ・ビデオ撮影のイラスト ○Unit 4 ・オンライン通話のイラスト ○Unit 7 ・オンラインツアーの参加についての本文、イラスト、注釈 ・チャットメッセージの内容 ○Unit 8 ・ビデオレターについて写真 	<ul style="list-style-type: none"> ○Unit 3 ・様々な場所で活躍するロボットについての写真、用途について記載 	<ul style="list-style-type: none"> ○Unit 2 ・メッセージのやりとりについて記載
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ・該当なし 	<ul style="list-style-type: none"> ○PROGRAM 6 ・メールの書き方に関する本文 	<ul style="list-style-type: none"> ○PROGRAM 7 ・ロボットの写真、ロボット掃除機、配膳ロボットの写真 ・災害時に活躍するロボットについて記載 ・実際に接客している分身ロボット OriHime の様子や制作会社についての内容や写真
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ○Lesson 2 ・タブレット端末を活用した発表に関する本文、イラスト ○Lesson 8 ・ブログの投稿文に関する本文、イラスト 	<ul style="list-style-type: none"> ○Lesson 3 ・ボイスメッセージに関する音声 ○Lesson 5 ・オンラインツアーに関する本文、イラスト ・地域の紹介動画づくりに関する動画、活動、写真 ○Lesson 6 ・メールの本文 	<ul style="list-style-type: none"> ○Lesson 1 ・趣味に関する動画、SNS 記事作成の本文、イラスト ○Lesson 4 ・SNS への投稿記事に関する本文 ○Project 3 ・動画作成に関する動画、活動、イラスト
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○Lesson 4 ・ペットに関する SNS への投稿文に関する本文 ○Lesson 5 ・ビデオ通話に関する本文 ○Tips for Writing 2 ・メールに関する本文、活動、書き方 	<ul style="list-style-type: none"> ○Lesson 1 ・メールについての本文 	<ul style="list-style-type: none"> ○Lesson 1 ・メールの返信に関する本文 ・オンライン通話に関する本文

<p>光村</p>	<p>○付録 World Tour①、World Tour② ・世界中の中学生の動画、写真 ○Unit 5 ・ビデオ通話をしている内容の本文、イラスト ○You can do it!② ・動画チャンネル開設に関する本文 ○You can do it!③ ・学校紹介動画づくりに関する内容</p>	<p>○Unit 3 ・メールの書き方に関する本文 ○Unit 6 ・オンラインツアーの案内に関する本文</p>	<p>○Unit 4 ・音声認識、掃除ロボット、介護ロボット、接客ロボット、ごみを運ぶロボットに関する本文、写真 ○巻末付録 ・SNS の活用事例の紹介、イラスト</p>
<p>啓林館</p>	<p>○Unit 5 ・ビデオ通話のイラスト ○Unit 7 ・メールの書き方に関する本文</p>	<p>○Unit 1 ・二次元コードを読み取り、動画より情報を収集するという本文 ・オンラインゲームで他者と繋がりをもつという本文</p>	<p>Unit 4 ・ALS の患者が使用することがある介助用ロボットの写真と説明</p>

道徳

表記・表現及び使用上の便宜（各障害種共通）

観点 略称	特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮について	判型 総ページ数	図・表等 の掲載数
2 東書	<ul style="list-style-type: none"> ・設問や吹き出しなどには文節改行を施し、読みやすさに配慮しています。 ・色覚特性の観点から、配色とデザインの検証を行っています。 	A B ・ 622	152
17 教出	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家による校閲を受け、すべての生徒の学びを保障するユニバーサルデザインの観点に立って編修しています。 ・色調のバランスだけでなく形の上でも区別しやすいように配慮したり、色による指示を含んだ設問や色に基づく活動を避けたりして、色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。 ・紙面でもデジタル画面でも視認性の高い、ユニバーサルデザインフォントを使用しています。 	B 5 ・ 611	148
38 光村	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書全体において、色覚特性や特別支援教育の専門家による校閲を受け、全ての人が使いやすいユニバーサルデザインの観点に立った編修とデザインを心がけました。 	B 5 変型 ・ 589	116
116 日文	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての生徒が等しく学べるよう、カラーバリアフリー、ユニバーサルデザインなどを採用し、特別支援教育の観点に配慮しました。 	B 5 ・ 684	155
224 学研	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が読み違いを起こしにくいユニバーサルデザインフォントを使用しています。 ・AB判で、視覚的に捉えやすく、ゆったりした紙面構成です。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮しています。 	A B ・ 582	199
232 あか図	<ul style="list-style-type: none"> ・色覚の違いにより学習に支障をきたすことのないよう、色に識別のみならず、文字情報をはじめマークの形状やデザインの違いなどで必要な情報が読み取れるように配慮しました。 ・文字はユニバーサルデザインフォントを使用し、視認性を高くしました。 ・特別支援教育とカラーユニバーサルデザインは、専門の先生の校閲を受けています。 	B 5 ・ 582	133
233 日科	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーユニバーサルデザインの観点から、全ページにわたり配色とデザインに十分な配慮を施しています。 ・本文の主体文字にはUDフォントを用い、視認性と読みやすさの向上を図っています。 	A B ・ 501	83

※1 特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する配慮：各発行者の第1学年編修趣意書より抜粋。

※2 図・表等の掲載数：各発行者の第1学年教科書から、内容理解を補完するための図及びグラフ・表を計上。

【道徳】 聴覚障害

観点	○写真やイラストとともに説明された内容がある。
対象・方法	第1・2学年 2 主として人との関わりに関すること (1) 礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとる。 写真やイラストの説明部分を比較する。

	第1学年	第2学年
東書	「朝市の「おはようございます」」 ・文章から想起されるイラストはあるが、イラストに場面や状況の説明はない。	「あいさつ」 ・文章から想起されるイラストはあるが、イラストに場面や状況の説明はない。
教出	「おはよう」 ・文章から想起されるイラストはあるが、イラストに場面や状況の説明はない。	「あんパンとお礼状」 ・文章から想起されるイラストはあるが、イラストに場面や状況の説明はない。
光村	「学習机」 ・文章から想起されるイラストはあるが、イラストに場面や状況の説明はない。	「礼儀は何のため」 ○吹き出し付きのイラストがあり、「挨拶ってなんのためにするの？」と礼儀についての問題提起となっている。
日文	「「愛情預金」をはじめませんか」 ・文章から想起されるイラストはあるが、イラストに場面や状況の説明はない。 ○イラストが4つあり、本文の内容を理解する助けとなる。	「挨拶は言葉のスキンシップ」 ・文章から想起されるイラストはあるが、イラストに場面や状況の説明はない。 ○イラストが4つあり、本文の内容を理解する助けとなる。
学研	「挨拶しますか、しませんか」 ・文章から想起されるイラストはあるが、イラストに場面や状況の説明はない。 ○「クローズアップ」世界の挨拶 世界の挨拶がイラスト付きで紹介され、その下に挨拶の方法及び意義が文章で紹介されている。	「お通夜のこと」 ・文章から想起されるイラストはあるが、イラストに場面や状況の説明はない。 ・「深めよう」時と場に応じた礼儀について考えようとイラストが3つ掲載されているが、イラストについての説明はない。
あか図	「おかしな礼儀」 ○4コマ漫画が掲載されている。 ○「マイ・プラス」礼儀について考えてみよう 前ページの漫画の2コマを提示し、具体的に考えさせる発問が記載されている。 (発問例) 遅刻した男性は、どのようなことを思っていたのだろう。 こんなに誤り続けられたら、相手の女性はと思うだろう。 謝る男性に求められるのは、どんな考え方だろう。	「いつでも・どこでも・SNS」 ・文章から想起されるイラストはあるが、イラストに場面や状況の説明はない。 ○「マイ・プラス」 ステップ1 前ページのイラストを再提示し、具体的に考えさせる発問が記載されている。 ・ステップ2・3 イラストが掲載されているが、説明はない。
日科	「行為に込められた思い」 ○写真の下に、写真の場所及び状況の説明がある ・男性1名のみが写された、状況が違う写真が並んでいる。写真に場面や状況の説明は文章中にしかない。	「あいさつの意味」 ・文章から想起されるイラストはあるが、イラストに場面や状況の説明はない。

【道徳】 聴覚障害

観点	☆長文や難解な語句で表現されている内容がある。
対象・方法	<p>第2・3学年</p> <p>3 主として集団や社会とのかかわりに関すること</p> <p>(3) 正義を重んじ、だれに対しても公正、公平にし、差別や偏見のない社会の実現に努める。</p> <p>記述及び内容の理解を促す補足を比較する。</p>

	第2学年	第3学年
東書	<p>「私のせいじゃない」</p> <p>☆語句についての注釈はない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章最大 38 文字。 ・10 の説明文に 10 のイラストが対となっている。 <p>「女子教育の夜明けー津田梅子」</p> <p>☆文章最大 93 文字。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語句についての注釈がある。(3 箇所) ・写真がある。 	<p>「伝えたいことがある」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語句についての注釈がある。(1 箇所) <p>☆文章最大 83 文字。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラストと写真がある。 <p>「卒業文集最後の二行」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語句についての注釈がある。(4 箇所) <p>☆文章最大 85 文字。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラストがある。 <p>「女子昔ばなし」</p> <p>☆語句についての注釈はない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章最大 60 文字。 ・イラストが 4 つの事例すべてにある。 ・棒グラフで項目内容の理解を促している。
教出	<p>「あなたの声、心に届け」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語句についての注釈がある。(2 箇所) ・文章最大 71 文字。 <p>「わたしのせいじゃない」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章最大 38 文字。 ・10 の説明文に 10 のイラストが対となっている。 ・語句についての注釈はないが、写真があり、内容の理解を促す補足をしている。 	<p>「卒業文集最後の二行」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語句についての注釈がある。 <p>☆文章最大 111 文字。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラストがある。 <p>「抗議する選手たち」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語句についての注釈がある。 <p>☆文章最大 92 文字。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラストがある。
光村	<p>「明日、みんなで着よう」</p> <p>☆語句についての注釈はない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章最大 79 文字。 ・写真がある。 ・学びを深めるため、「いじり」について補足している。 <p>「カメルーン生まれ、日本育ち」</p> <p>☆語句についての注釈はない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章最大 53 文字。 ・漫画で内容の補足をしている。 <p>「「尊重」の本質を探ろう」</p> <p>☆語句についての注釈はない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章最大 65 文字。 ・イラストがある。 ・グループワークで内容の理解を促している。 	<p>「小さな出来事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語句についての注釈がある。(8 箇所) ・文章最大 74 文字。 ・イラストがある。 <p>☆時代背景の補足がない。</p> <p>「ぼくの物語 あなたの物語」</p> <p>☆語句についての注釈はない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章最大 64 文字。 ・イラストがある。 ・内容の理解を促すグループワークにつなげている。 <p>「あってはならない違い」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語句についての注釈がある。(2 箇所) ・文章最大 50 文字。 ・イラストが 9 の事例すべてにある。 ・グループワークで内容の理解を促している。

日文	<p>「リスペクト アザース」 ☆語句についての注釈はない。 ☆文章最大 125 文字。 ・イラストがある。</p> <p>「ヨシト」 ☆語句についての注釈はない。 ・文章最大 59 文字 ・イラストがある。 ・フィッシュボーンを使った例など、学びを深めるヒントや図がある。</p>	<p>「卒業文集最後の二行」 ・語句についての注釈がある（11 箇所）。 ☆文章最大 109 文字。 ・イラストがある。 ・ノートやタブレット端末を使った整理の仕方を補足している。</p> <p>「命の大切さ」 ☆語句についての注釈はない。 ☆文章最大 83 文字 ・イラストがある。</p>
学研	<p>「ソムチャイの笑顔」 ・人物像とその補足がある。 ・文章最大 63 文字。 ・語句についての注釈がある（1 箇所）。 ・イラストがある。</p>	<p>「百年たっても」 ・文章最大 69 文字。 ☆語句についての注釈はない。 ・スペイン風邪について当時の町の状況がイラストで説明されている。 ・イラストには、吹き出しが付けられている。 ・吹き出しは、その人が言っていること・思っていることに区別されている。 ・事例が 4 つ紹介されている。 事例 1) ステッカー 事例 2) 漫画 語句説明あり 事例 3) 文章と漫画 事例 4) メッセージカード</p> <p>「卒業文集最後の二行」 ☆文章最大 108 文字 ・語句についての注釈がある。（8 箇所） ・イラストがある。</p>
あか図	<p>「君、想像したことある？」 ☆文章最大 76 文字。 ・語句についての注釈がある。（1 箇所） ・イラストがある。</p> <p>「迷惑とは何ぞ」 ☆文章最大 129 文字。 ・語句についての注釈がある。 ・イラストがある。 ・「Thinking」共に生きるために、共に考える 文中で紹介された車椅子利用者について、現在の状況が紹介されている。 国や文化の異なる人々、さまざまな障がいのある人々についても触れられている。</p>	<p>「卒業文集最後の二行」 ☆文章最大 120 文字 ・語句についての注釈がある。（10 箇所） ・イラストがある。</p> <p>「ネルソン・マンデラ」 ・文章最大 66 文字。 ・語句についての注釈がある。（3 箇所） ・写真と地図がある。</p>
日科	<p>「“生きづらさ”と向きあう」 ☆文章最大 87 文字。 ☆語句についての注釈はない。 ・イラストと写真がある。</p> <p>「心を育んだ遠友夜学校 ～新渡戸稲造の作った学び舎～」 ☆文章最大 104 文字。 ・語句についての注釈がある。（4 箇所） ・写真がある。</p>	<p>「豊かなれ阿賀の流れよ」 ☆文章最大 104 文字。 ☆語句についての注釈はない。 ・写真がある。</p> <p>「「わたしたち」として ウェルビーイングをつくりあう」 ☆文章最大 138 文字。 ☆語句について注釈はある。（1 箇所） ・イラストがある。</p>

【道徳】 肢体不自由・病弱

観点	○肢体不自由等の障害の理解に関する内容がある。
対象・方法	第1学年の自分自身に関する項目、人との関わりに関する項目の単元における障害特性等の理解が含まれている内容の具体例を比較する。

	自分自身に関する項目	人との関わりに関する項目	その他の項目
東書	・詩画にあしたをたくして一星 野富弘	・私はここにいる一倉橋香衣 ・思いやりの日々	・決断！骨髄バンク移植第一号 (生命の尊さ)
教出	・該当なし	・不自然な独り言 ・ショートパンツ初体験 in ア メリカ	・僕の応援歌 (集団や社会との関わりに関する項目) ・私に宇宙のプレゼント (生命や自然などの関わりに関する項目)
光村	・該当なし	・父の言葉 ・私の話を聞いてね	・該当なし
日文	・葉っぱの切り絵で見た道	・該当なし	・該当なし
学研	・該当なし	・該当なし	・たとえばくに明日はなくとも (生命や自然・崇高なものとの関わりに関する項目) ・いっぱい生きる全盲の中学校教師 (生命や自然などの関わりに関する項目) ・公平とは何だろう (公正・公平・社会正義)
あか図	・該当なし	・パラリンピックを駆け抜けた 「きずな」 一道下美里	・三六五×十四回分のありがとう (集団や社会との関わりに関する項目)
日科	・オレは最強だ！	・該当なし	・該当なし

【道徳】 肢体不自由・病弱

観点	○校内や学校周辺以外で経験でき、生活経験を深められる内容がある。
対象・方法	全学年の集団や社会との関わりに関する項目に関して、生活経験が深められる内容が取り上げられている単元の具体例を比較する。

	第1学年	第2学年	第3学年
東書	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいプライド (勤労) ・山岳民族の文化を守る (国際理解・国際貢献) ・ごみ箱をもっと増やして (遵法精神・公德心) ・震災の中で (社会参画・公共の精神) 	<ul style="list-style-type: none"> ・六千人の命のビザ (国際理解・国際貢献) ・人生でだいじなことは、みんなゴリラから教わった (社会参画・公共の精神) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を愛するプロサッカーリーグ (郷土の伝統と文化の尊重・郷土を愛する態度) ・たんぼぼ作業所 (勤労) ・外国から来た転校生 (国際理解・国際貢献)
教出	<ul style="list-style-type: none"> ・難民とともに～緒方貞子～ (国際理解・国際貢献) 	<ul style="list-style-type: none"> ・六千人の命のビザ (国際理解・国際貢献) 	<ul style="list-style-type: none"> ・あふれる愛 (国際理解・国際貢献) ・抗議する選手たち (公正・公平・社会主義) ・憧れの消防団 (社会参画・公共の精神)
光村	<ul style="list-style-type: none"> ・僕の家族、地球の家族 (家族愛、家庭生活の充実) ・初めてのボランティア (社会参画・公共の精神) ・私が働く理由 (勤労) ・むこう岸には (国際理解・国際貢献) ・自分の地域の「宝」って (郷土の伝統と文化の尊重・郷土を愛する態度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・我が町の消防団 (社会参画・公共の精神) ・木桶仕込みのしょうゆを伝える (我が国の伝統と文化の尊重・国を愛する態度) ・私の町 (郷土の伝統と文化の尊重・郷土を愛する態度) ・境界線を溶かすチョコレート (国際理解・国際貢献) ・カメルーン生まれ、日本育ち (公正、公平、社会主義) 	<ul style="list-style-type: none"> ・働く姿から見えるのは？ (勤労) ・好いとっちゃん、博多 (郷土の伝統と文化の尊重・郷土を愛する態度) ・障子のあかり (我が国の伝統と文化の尊重・国を愛する態度) ・希望の義足 (国際理解・国際貢献)
日文	<ul style="list-style-type: none"> ・違いを乗り越えて (国際理解・国際貢献) ・ふれあい直売所 (遵法精神、公德心) ・私は清掃のプロになる (勤労) ・「肝心」のバスガイド (郷土の伝統と文化の尊重・郷土を愛する態度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・小さな工場の大仕事 (勤労) ・美しい鳥取砂丘 (遵法精神、公德心) ・行動する建築家 坂 茂 (社会参画・公共の精神) 	<ul style="list-style-type: none"> ・あるレジ打ちの女性 (勤労) ・使い手を驚かせて魅了する (我が国の伝統と文化の尊重・国を愛する態度) ・命のトランジットビザ (国際理解・国際貢献) ・No Charity, but a chance! (社会参画・公共の精神) ・稲むらの火 (郷土の伝統と文化の尊重・郷土を愛する態度) ・海のごみは「まちなか」で生まれる (社会参画・公共の精神) ・本とペンで世界を変えよう (国際理解・国際貢献)

<p>学 研</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・岩泉を守る (郷土の伝統と文化の尊重・郷土を愛する態度) ・日本の心と技 (我が国の伝統と文化の尊重・国を愛する態度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨコスカネイビーパーカー (社会参画・公共の精神) ・初めてのアルバイト (勤労) ・共に未来を (国際理解・国際貢献) ・五色桜 (郷土の伝統と文化の尊重・郷土を愛する態度) ・金閣再建黄金天井に挑む(我が国の伝統と文化の尊重・国を愛する態度) ・OriHime がつなぐ世界 (社会参画・公共の精神) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ねぶたを夢見て (郷土の伝統と文化の尊重・郷土を愛する態度) ・白川郷に魅せられて (我が国の伝統と文化の尊重・国を愛する態度) ・「血の通った義足を」作りたい (勤労) ・杉原千畝の選択 (国際理解・国際貢献)
<p>あ か 図</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アップルロード作戦 (郷土の伝統と文化の尊重・郷土を愛する態度) ・時速二八五キロ、千三百人を乗せて。 (勤労) ・日本探しの旅 (我が国の伝統と文化の尊重・国を愛する態度) ・国際協力ってどういうこと? (国際理解・国際貢献) 	<ul style="list-style-type: none"> ・相馬 野馬追の季節 (郷土の伝統と文化の尊重・郷土を愛する態度) ・迷惑とは何ぞ (公正・公平・社会主義) ・真珠の水ー中村哲 (国際理解・国際貢献) 	<ul style="list-style-type: none"> ・海と空ー檜野の人々 (国際理解・国際貢献) ・ベビーカー論争 (遵法精神・公德心) ・ゼロ・ウェイストの町ー徳島県上勝町 (社会参画・公共の精神) ・ネルソン・マンデラ (公正・公平・社会主義) ・運命の木ー姫路城の大柱 (我が国の伝統と文化の尊重・国を愛する態度) ・千年先のふるさとー宮城県女川町 (郷土の伝統と文化の尊重・郷土を愛する態度)
<p>日 科</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・未来を創るために ～マララ・ユスフザイ「国連スピーチ」～ (公正・公平・社会主義) ・中央市場は働いている (勤労) ・分け火 (郷土の伝統と文化の尊重・郷土を愛する態度) ・マダム・バタフライ ～森英恵～ (我が国の伝統と文化の尊重・国を愛する態度) ・百の診療所より、一本の用水路を ～中村哲という人間の生き方～ (国際理解、国際貢献) 	<ul style="list-style-type: none"> ・劔岳に魅せられて (勤労) ・脈々と受け継がれる錦帯橋 (郷土の伝統と文化の尊重・郷土を愛する態度) ・伝統のケーキ (我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度) ・小さな巨人 (国際理解、国際貢献) ・「普通」の生活の向こう側 (国際理解、国際貢献) 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな阿賀の流れよ (公正・公平・社会主義) ・震災を乗り越えて (社会参画、公共の精神) ・迷わず選ぶ (家族愛、家庭生活の充実) ・三度の涙～現代の「結」～ (郷土の伝統と文化の尊重・郷土を愛する態度) ・筑前琵琶修復師 ～ドリアーノ・スリス～ (我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度) ・問題を解決するために必要なこと (国際理解、国際貢献)